

図研アルファテック製品

2025

インストールガイド

本書は ACAD-DENKI 等、図研アルファテックが開発・提供する製品（下記製品）のインストールガイドです。

ACAD-DENKI

ACAD-Parts

電子回路オプション

チューブマーカリンク

ACAD-IO

図面 DENKI 化ツール

電キャビ / マイデータベース

Reprise License Manager オプション

3D 盤図

ハード回路シミュレーター

キュービクルプラン

Wiring PLAN 2D（布線）

Wiring PLAN 2D 測長処理

CSV データ変換モジュール 2D

Wiring PLAN 3D（布線）

Wiring PLAN 3D 測長処理

CSV データ変換モジュール 3D

KODERA 電線加エプログラム

BJ サーバー連続印刷

朱書奉行

検索奉行 EX

ACAD-KIKAI

ご購入製品をご確認の上、インストール作業前の確認とインストールを行ってください。



図研アルファテック製品 インストールガイドについて

図研アルファテック製品インストールガイド（以下、本書）の全部または一部を無断で転載することは禁止します。

本書の内容に関しては将来予告なく変更することがあります。

本書の操作は クライアント PC では Windows10、11 を、ライセンスサーバー PC では Windows Server 2022 を例として説明しています。

最新のインストールガイドは、弊社ホームページからダウンロードすることができます。

運用した結果の影響につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

Autodesk、Autodesk ロゴ、及び AutoCAD は米国 Autodesk 社の登録商標です。

Autodesk, the Autodesk logo, and AutoCAD are registered trademarks of Autodesk, Inc.

BricsCAD やそのロゴは Bricsys nv の商標または登録商標です。

図研アルファテック製品 インストールガイド 目次

1. 概要	1
1. インストール製品について.....	2
1. インストーラー (ISO ファイル).....	2
2. クライアント用インストーラー対象製品.....	2
3. サーバー用インストーラー対象製品.....	2
4. 製品動作環境.....	3
5. 一元管理における動作環境.....	4
2. ライセンスファイル.....	5
1. ライセンスファイル.....	5
2. ライセンスファイルの種類.....	5
3. バージョンアップ製品のライセンスファイル.....	5
4. 製品インストール時のライセンスファイルの使用用途.....	5
3. インストーラーの入手と起動方法.....	6
1. インストーラーの入手.....	6
2. インストーラー (ISO ファイル) の仮想ディスク化.....	6
4. インストールの前に.....	7
1. チェック項目 クライアント用.....	7
2. チェック項目 サーバー用.....	9
2. クライアントインストール	11
1. 新規インストール.....	12
1. インストールの前に.....	12
2. 新規インストール.....	12
3. ACAD-KIKAI のインストール.....	17
4. ライセンス形式の設定の表示.....	22
5. ライセンス形式の設定 / スタンドアロン版 (アクティベート).....	23
6. スタンドアロン版 (アクティベート) / プロキシ設定.....	25
7. ライセンス形式の設定 / ネットワーク版 (サーバー接続設定).....	26
2. バージョンアップインストール.....	30
1. インストールの前に.....	30

2. バージョンアップインストール.....	30
3. ライセンス形式の設定の更新 / スタンドアロン版.....	34
4. ライセンス形式の設定の更新 / ネットワーク版（サーバー接続設定）.....	35
3. 製品の追加インストール.....	36
1. インストールの前に.....	36
2. インストール.....	36
3. ライセンス形式の設定の更新 / スタンドアロン版.....	40
4. ライセンス形式の設定の更新 / ネットワーク版（サーバー設定）.....	42
4. 上級者向けインストール.....	43
1. インストール製品の選択.....	43
5. ライセンスタイプの変更と設定.....	46
1. ライセンスタイプの変更とライセンス形式の設定.....	46
6. CAD の選択.....	48
1. CAD の選択.....	48
2. インストール後に CAD を選択する.....	49
7. 製品のアンインストール.....	50
1. ライセンスアクティベート解除 / スタンドアロン版.....	50
2. アクティベート解除 / プロキシ設定.....	52
3. ライセンス解除 / ネットワーク版.....	53
4. アンインストール.....	53
5. プログラム名一覧.....	54
8. 製品アイコン一覧.....	55
1. 2D 製品デスクトップアイコンと起動（実行）方法.....	55
2. 3D 製品デスクトップアイコンと起動（実行）方法.....	56
3. その他製品デスクトップアイコンと起動（実行）方法.....	57
3. サーバー製品インストール.....	59
1. サーバーへのインストール製品と設定.....	60
1. インストール対象 PC の動作環境.....	60
2. インストール製品の確認.....	60
3. Windows ファイアウォール.....	60
2. 電キャビ、ACAD-Parts 用データベース.....	61
1. SQL Server Express インストールと構築.....	61

2. 電キャビ、ACAD-Parts 用テーブルの構築.....	68
3.SQL Server 構成マネージャの設定.....	73
4. 対応データベース.....	74
5. インストールされるデータベース.....	74
3.Reprise ライセンス管理サービス.....	75
1. アルファテック Reprise ライセンス管理サービスのインストール.....	75
2.RepriseNW ライセンスアクティベート.....	79
3.RLM_NW_license.lic ファイル.....	81
4.RepriseNW ライセンスサーバー Windows サービス登録.....	81
5.RepriseNW ライセンスサーバー管理.....	83
4.Windows ファイアウォール除外設定.....	85
1. 電キャビ、ACAD-Parts データベース.....	85
2.Reprise ライセンス管理サービス.....	88
5. サーバー用製品インストール.....	92
1. 新規インストール.....	92
2. サーバー設定用製品の設定.....	96
6. ライセンスの借用と返却.....	97
1.Alfatech 製品 ライセンスの借用.....	97
2. ライセンスの借用期限の確認と返却.....	99
3. エラーメッセージ.....	100
7.Reprise オプション構文.....	101
1. オプションファイルの作成.....	101
2. オプションファイルのキーワード.....	101
3. 製品ライセンスコード（フィーチャー名）.....	102
4. 識別.....	102
4. ネットワークでの一元管理.....	103
1. 一元管理の概要.....	104
1. 共有フォルダの作成.....	104
2. 共有先の設定.....	105
2. 電キャビ、ACAD-Parts 接続設定.....	109
1. 電キャビの接続設定.....	109
2.ACAD-Parts（部品マスタデータベース）の接続設定.....	114

3. 構成の一括書き出し	119
1. 構成の一括書き出しの実行	119
2. NetSetup_DENKI インストール構成の確認	122
3. NetSetup_DENKI.exe の実行	123

1.概要

図研アルファテック製品の推奨環境、インストーラー（*.iso）ごとのインストール製品、事前確認事項（チェックシート）について説明します。

1. インストール製品について

図研アルファテック製品のインストーラーについて説明します。

1. インストーラー (ISO ファイル)

クライアント用インストーラー (MEDIA_A_1041.iso、ACAD-KIKAI_1041.iso)

サーバー用インストーラー (MEDIA_S_1041.iso)

2. クライアント用インストーラー対象製品

図研アルファテック製品 2025 クライアント用インストーラー (MEDIA_A_1041.iso、ACAD-KIKAI_1041.iso) 対象製品です。

■ 2D 回路図作成用アプリケーション

ACAD-DENKI
ACAD-Parts
電子回路オプション
チューブマーカリンク
ACAD-IO
図面 DENKI 化ツール
Wiring PLAN 2D (布線)
Wiring PLAN 2D 測長処理
CSV データ変換モジュール 2D
KODERA 電線加エプログラム
ハード回路シミュレーター

■ 図研アルファテック製品用図面管理

電キャビ / マイデータベース

■ 3D 盤・配線用アプリケーション

3D 盤図
Wiring PLAN 3D
Wiring PLAN 3D 測長処理
CSV データ変換モジュール 3D
キュービクルプラン

■ その他製品

BJ サーバー連続印刷
朱書奉行
検索奉行 EX

■ クライアント PC 用ライセンス管理

Reprise License Manager オプション

■ 2D 機械図作成用アプリケーション

ACAD-KIKAI

各製品の詳細は、図研アルファテックホームページにて紹介しております。

3. サーバー用インストーラー対象製品

ACAD-DENKI 2025 のサーバー用インストーラー (MEDIA_S_1041.iso) 対象製品です。

■ データベース

Microsoft SQL Server 2022 Express Edition
その他使用可能なデータベース
OS 対応の Microsoft SQL Server 2022 以下のバージョン
電キャビ、ACAD-Parts 用データベース構築

■ 図研アルファテック ライセンス管理

アルファテック Reprise ライセンス管理サービス

■ 図研アルファテック製品サーバー用

検索奉行 EX (サーバー設定用)
BJ サーバー連続印刷 (サーバー設定用)

4. 製品動作環境

製品には主となる製品とその同一環境で動作するオプション製品があります。

オプション製品の動作環境は主製品が快適に動作する環境となります。

主製品	オプション製品	ベース CAD
2D		
ACAD-DENKI	ACAD-Parts ACAD-IO 電子回路オプション チューブマーカリンク	※1 ※2 ※3
	図面 DENKI 化ツール	※1 ※3
Wiring PLAN 2D	測長処理 CSV データ変換モジュール 2D	※1 ※2 ※3
KODERA 電線加工プログラム	-	
ハード回路シミュレーター	-	※1 ※3
キュービクルプラン	-	※1 ※2 ※3
図面管理		
電キャビ		図面を開くためには主製品 / ベース CAD が必要
3D		
3D 盤図	-	BricsCAD ※3
Wiring PLAN 3D	3D 測長処理 CSV データ変換モジュール 3D	BricsCAD ※3
その他		
BJ サーバー連続印刷	-	※1 ※3
朱書奉行	-	※4
検索奉行 EX	-	BricsCAD/AutoCAD
ACAD-KIKAI	-	※1 ※3
ライセンス管理		
Reprise License Manager オプション	図研アルファテック製品クライアント用製品 NW ライセンス用	
図研アルファテックライセンス管理	図研アルファテック製品 NW ライセンス用サーバーライセンス管理	
データベース		
電キャビ、ACAD-Parts 用データベース SQL Server****	Microsoft SQL Server の各バージョンの推奨環境に準拠します	

※1 対応 BricsCAD : V24、V25

※2 対応 AutoCAD : 2024、2025

※3 対応 OS : ベース CAD の対応 OS

※4 CAD が不要な製品 (図面の確認には DWG を開くことのできる CAD 等が必要です)

5. 一元管理における動作環境

図研アルファテック製品の一元管理とは、ネットワーク（社内 LAN、またはアクティブディレクトリ構成による WAN）上の共有フォルダに各種ファイルを補完することを指します。

また、プロトコル TCP/IP 通信を行います。

クラウドサーバーによる共有、ライセンス管理を前提とはしておりませんのでご注意ください。

1. ファイル/データベース PC の動作環境

OS:Microsoft 社サポートバージョンの以下の Windows OS

Windows 10、Windows 11

Windows Server 2019、Windows Server 2022

対応する SQL Server は、SQL Server 2022 以下の OS 対応バージョンとなります。

（注：対応 OS のサービスパックは別途、ご確認ください）

（図研アルファテック製品 バージョン 2025 リリース時 2024 年 12 月現在）

ネットワーク インターフェース カード (NIC) 必須

プロトコル TCP/IP(※2)

（※2）OS が Server Edition でない場合はネットワークの接続数が制限されています。

1 台のサーバーにアクセスするコンピュータの数が多い場合はご注意ください。

なお、Server Edition の OS にはこの制限はありません。

2. ライセンス管理 PC の動作環境

ライセンスを管理する PC には、アルファテック Reprise ライセンス管理サービスをインストールします。

（ネットワークライセンス管理として Reprise ライセンス方式を採用しています。）

OS:Microsoft 社サポートバージョンの以下の Windows OS

OS : Windows Server Edition 環境のみサポートします。

Windows Server 2019、Windows Server 2022

プロトコル : TCP/IP IPv4 ネットワークインターフェース カード (NIC) 必須

※ NW 用ライセンスファイル作成で Ethernet address を 1 つ固定して取得します。

2. ライセンスファイル

ライセンスファイルはアクティベート時に使用するファイルです。クライアント PC、またはサーバー PC にて使用します。また、クライアント PC ではアクティベートファイルを利用してインストールする製品を自動判断させてインストールすることができます。

1. ライセンスファイル

ライセンスファイルは納品メールに記載のあります URL からダウンロードしてください。インストールの作業を行う前に、ライセンスファイルの準備をお願いいたします。

2. ライセンスファイルの種類

図研アルファテック製品のライセンスの形式はスタンドアロン版とネットワーク版の 2 つがあります。それぞれの形式のライセンスファイルの拡張子は下記となります。

- スタンドアロンライセンスファイル : *.acf
- ネットワークライセンスファイル : *.acnf

ご注意 :

ネットワーク版の冗長構成の場合、*.acnf ファイルではなく *.lic ファイルでの納品となります。

3. バージョンアップ製品のライセンスファイル

バージョンアップ製品をご購入された場合、ライセンスファイルはありません。

ライセンスファイルが必要な場合、新規購入時に発行されたライセンスファイルをご準備ください。(ネットワーク版の冗長構成の場合バージョンアップ用の *.lic ファイルが必要となります。)

2019 以前のバージョンは初回ご購入時に納品されておりますライセンスメディアのライセンスファイルをご準備ください。

ライセンスファイルがお手元に無い場合は、新規購入時、ライセンス増設時の納品メールに URL を記載しておりますので、そちらから再ダウンロードが可能です。

納品メール紛失の場合は、再度 URL をメールにてご案内させていただきます。弊社サポートまでご連絡ください。

4. 製品インストール時のライセンスファイルの使用用途

インストール作業中のウィザードではインストール製品を判別するためにライセンスファイルを使用いたします。

ライセンスファイルを選択することによって、ご購入の製品を自動的に判別し必要な製品のみをインストールする仕組みとなっております。

ライセンスファイルに記載のある製品が既に PC にインストールされている場合は、自動的に判別しインストールされていない製品のみを追加でインストールします。

インストール対象の製品の判別のみを行いますので、インストール中には、スタンドアロン版のライセンスアクティベート、ネットワーク版のサーバー接続設定は行いません。

インストールする製品をライセンスファイルで自動認識せず、手動で行うことも可能です。(手動選択 [上級者向])

3.インストーラーの入手と起動方法

図研アルファテック製品 はバージョン 2021 からダウンロード納品に変更となりました。

1. インストーラーの入手

製品購入時別案内された弊社ホームページの URL からインストーラーのダウンロードをお願いいたします。

インストーラーは ISO ファイル（ディスクイメージ）で提供しています。

2. インストーラー（ISO ファイル）の仮想ディスク化

ダウンロード済みのインストーラーを準備します。

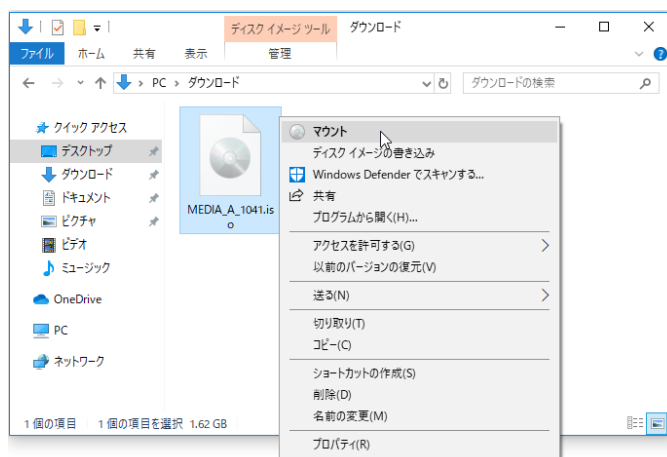
Windows エクスプローラーで、インストーラー（ISO ファイル）を右クリックします。

ショートカットメニューから「マウント」を選択します。

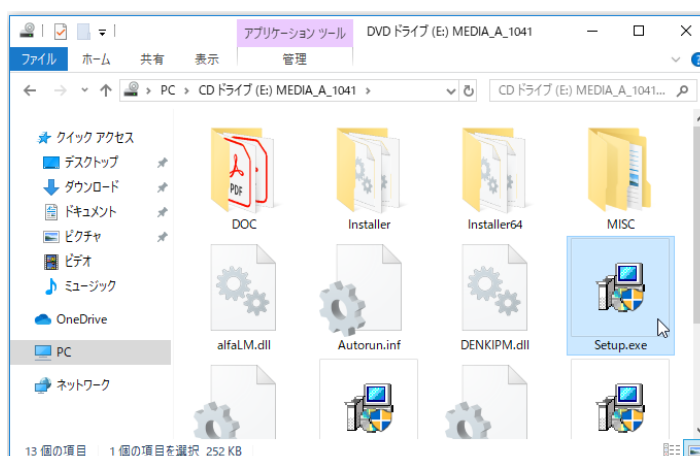
仮想ディスク内が表示されます。

■ Windows10

インストーラー（ISO ファイル）を右クリックし、「マウント」を選択します。



仮想ドライブディスク（E:）にセットされた例



インストール終了後、仮想ドライブを右クリックし、ショートカットメニューから「取り出し」を選択します。

4.インストールの前に

インストールの前に、インストール要件を満たしているか、必要なファイル等が手元にあるかのチェックをお願いします。
必要に応じて本ページ（チェックシート）をコピーしてご活用ください。

1. チェック項目 クライアント用

インストール情報に該当するものにチェックを入力して事前確認にご活用ください。

■インストール環境の確認

OS	ベース CAD
<input type="checkbox"/> Windows10	<input type="checkbox"/> BricsCAD V24
<input type="checkbox"/> Windows11	<input type="checkbox"/> BricsCAD V25
<input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> AutoCAD 2024
	<input type="checkbox"/> AutoCAD 2025
	<input type="checkbox"/> その他 ()

各製品が使用するベース CAD が動作保証している OS に限ります。

■インストーラー、ライセンスファイルの確認

<input type="checkbox"/> 図研アルファテッククライアント用インストーラー (ISO ファイル)
<input type="checkbox"/> ライセンスファイル (*.acf ファイル)

■ライセンス形式種類の確認

<input type="checkbox"/> スタンドアロン版 (ライセンスファイル *.acf)	<input type="checkbox"/> ネットワーク版 (ライセンスファイル *.acnf)
<input type="checkbox"/> web 接続が可能	<input type="checkbox"/> クライアント・サーバー間の接続が可能
プロキシ設定	プロキシ設定
<input type="checkbox"/> 無し	<input type="checkbox"/> 無し
<input type="checkbox"/> 有り ()	<input type="checkbox"/> 有り ()

■インストール対象製品(ライセンスファイルが無い場合対象製品にチェックを付けてご確認ください)

<input type="checkbox"/> ACAD-DENKI	<input type="checkbox"/> 3D 盤配線支援
<input type="checkbox"/> ACAD-Parts	<input type="checkbox"/> 3D 測長処理
<input type="checkbox"/> 電子回路オプション	<input type="checkbox"/> 3DCSV データ変換処理
<input type="checkbox"/> チューブマーカーリンク	<input type="checkbox"/> 盤配線支援小寺キャストイング
<input type="checkbox"/> ACAD-IO	<input type="checkbox"/> BJ サーバー連続印刷
<input type="checkbox"/> 図面 DENKI 化ツール	<input type="checkbox"/> 朱書奉行
<input type="checkbox"/> 電キャビ	<input type="checkbox"/> 検索奉行 EX
<input type="checkbox"/> マイデータベース	<input type="checkbox"/> ACAD-KIKAI
<input type="checkbox"/> Reprise License Manage オプション	
<input type="checkbox"/> 3D 盤図	
<input type="checkbox"/> ハード回路シミュレーター	
<input type="checkbox"/> キュービクルプラン	
<input type="checkbox"/> 盤配線支援	
<input type="checkbox"/> 測長処理	
<input type="checkbox"/> CSV データ変換処理	

■ WEB 接続制限の確認

<input type="checkbox"/> プロキシ設定がされている	<input type="checkbox"/> web アクセスが制限されている
<input type="checkbox"/> ホスト名 ()	<input type="checkbox"/> 一時的に制限解除ができる
<input type="checkbox"/> ポート番号 ()	<input type="checkbox"/> ポート番号 80 への制限解除
<input type="checkbox"/> ユーザー名 ()	<input type="checkbox"/> web サイト (送受信) 制限解除
<input type="checkbox"/> パスワード ()	

ライセンスのアクティベートでは、図研アルファテック株式会社のライセンスサーバーとの通信を行います。

その為、アクティベート時、またはスタンドアロン版のアクティベート解除時のみ一時的に web 接続 (送受信) が必要です。

インストールされる PC の web 接続が制限されている場合、アクティベート、アクティベート解除実行時のみ一時的な制限解除が必要です。

- ・プロキシ設定を行っている場合、アクティベート時にプロキシサーバ情報が必要です。
- ・クライアント PC のポート 80 への接続が制限されている場合、一時的な制限解除が必要です。
- ・web アクセスに制限がある場合、一時的に下記サイトに対しての接続 (送受信) 制限の解除が必要です。

図研アルファテックライセンスサーバーサイト : URL は別途お問い合わせください。

セキュリティ上一時的にでも制限解除ができない場合はオフラインアクティベートの実行が必要です。

事前に、下記 URL のオフラインアクティベートのページをご参照ください。

<https://www.alfatech.jp/support/Activation/>

2. チェック項目 サーバー用

インストール情報に該当するものにチェックを入力して事前確認にご活用ください。

■インストール環境の確認

OS	ベース CAD
<input type="checkbox"/> Windows Server 2022	<input type="checkbox"/> BricsCAD V24
<input type="checkbox"/> Windows Server 2019	<input type="checkbox"/> BricsCAD V25
<input type="checkbox"/> Windows11	<input type="checkbox"/> AutoCAD 2024
<input type="checkbox"/> Windows10	<input type="checkbox"/> AutoCAD 2025
<input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> その他 ()

■ライセンスファイル、インストーラー

<input type="checkbox"/> 図研アルファテック サーバ製品・ライセンス管理・共有 DB 用インストーラー
<input type="checkbox"/> ライセンスファイル シングル構成 *.acnf ファイル / 冗長構成 *.lic ファイル (2つ)

■インストール対象製品

<input type="checkbox"/> 電キャビ・ACAD-Parts 用データベース	<input type="checkbox"/> 検索奉行 (サーバー用)
<input type="checkbox"/> SQL Server 2022	<input type="checkbox"/> BJ サーバ連続印刷 (サーバー用)
<input type="checkbox"/> SQL Server ()	
<input type="checkbox"/> Reprise ライセンス管理サービス	

■通信状態

<input type="checkbox"/> クライアント・サーバ間の TCP/IP 通信が可能
--

<< このページは白紙です。 >>

2.クライアントインストール

本章ではクライアントインストールについて説明します。

準備するもの：

図研アルファテック製品クライアントインストーラー
インストール対象製品のライセンスファイル

1.新規インストール

図研アルファテック製品を使用する PC に製品を新規インストールする方法について説明します。

スタンドアロン版、ネットワーク版共に、同じクライアントインストールメディアを使用してインストールを実行します。

1. インストールの前に

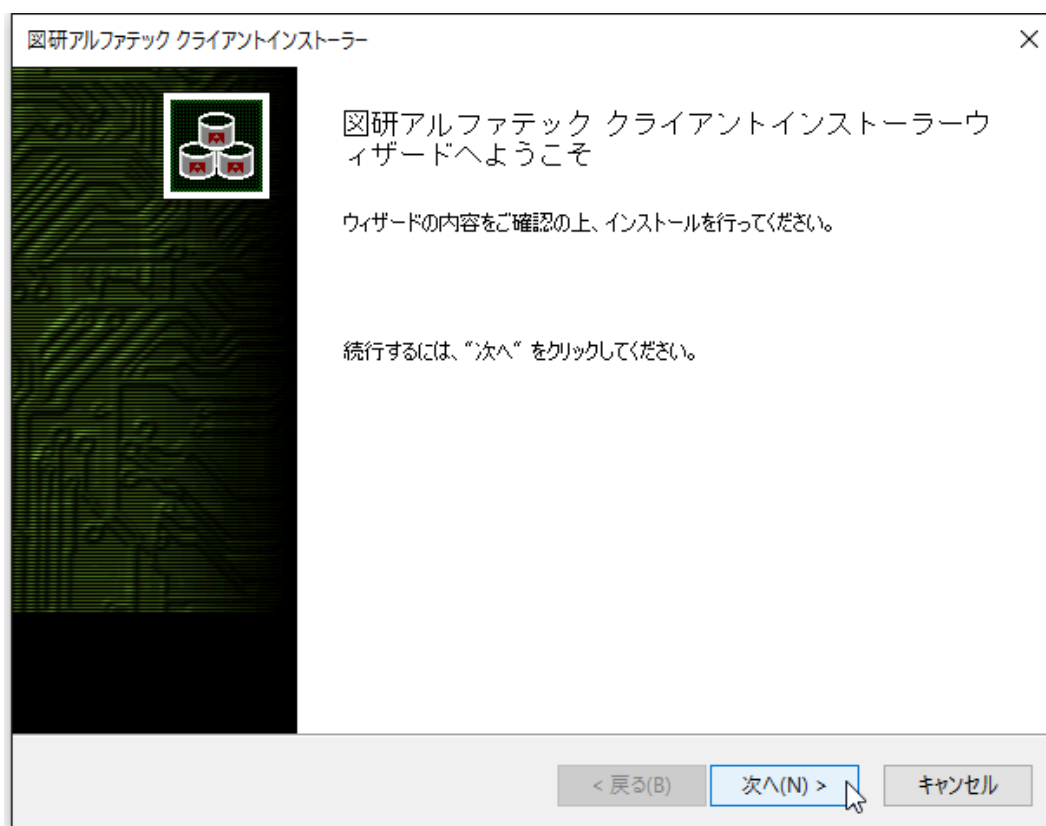
事前にインストール対象 PC の動作環境、インストールに必要なインストーラー（ISO ファイル）、ライセンスファイルが揃っておりますかご確認ください。ご確認には前章のチェックシートなどを使用されますことをお勧めします。

インストール対象 PC に Administrator、または管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。使用中のアプリケーション、プログラムをすべて終了させてください。また、ウイルス チェック プログラムなどの常駐プログラムが稼働している場合は、一時的に終了していただくことを推奨いたします。

2. 新規インストール

ライセンスタイプ、スタンドアロン版 / ネットワーク版のクライアント PC への新規インストール手順について説明します。

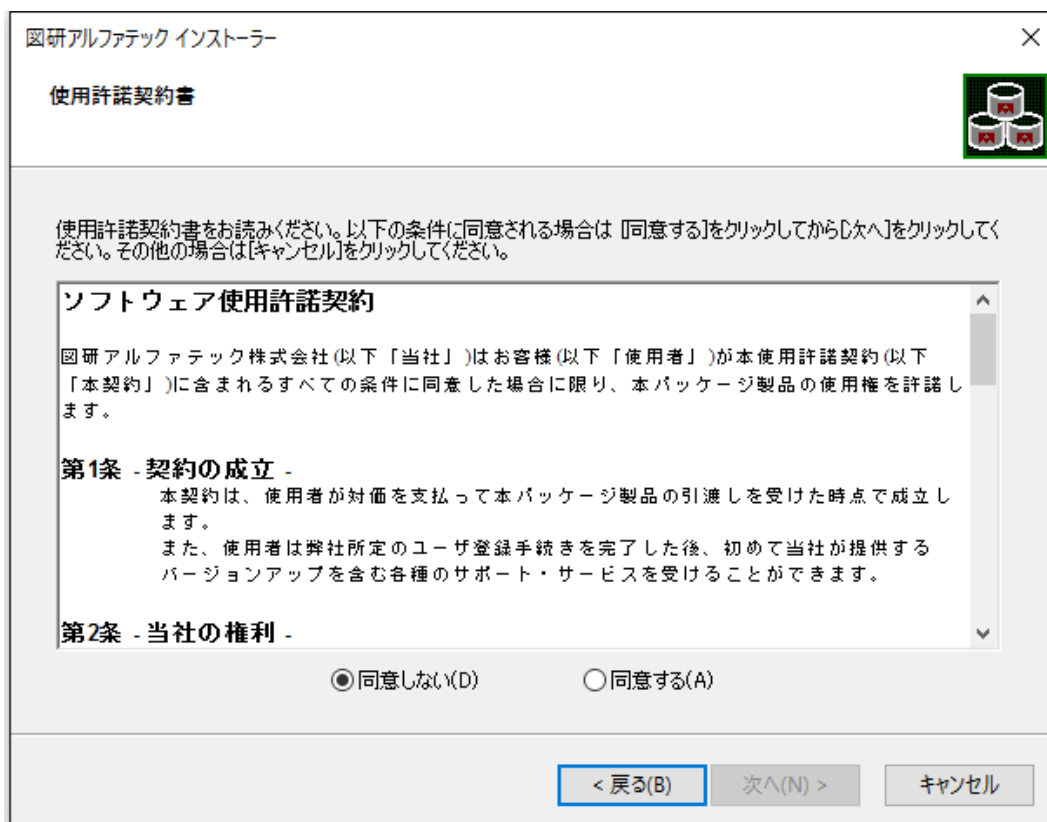
1. インストーラー（ISO ファイル）をマウントし、仮想ディスクから Setup.exe をダブルクリックして起動してください。



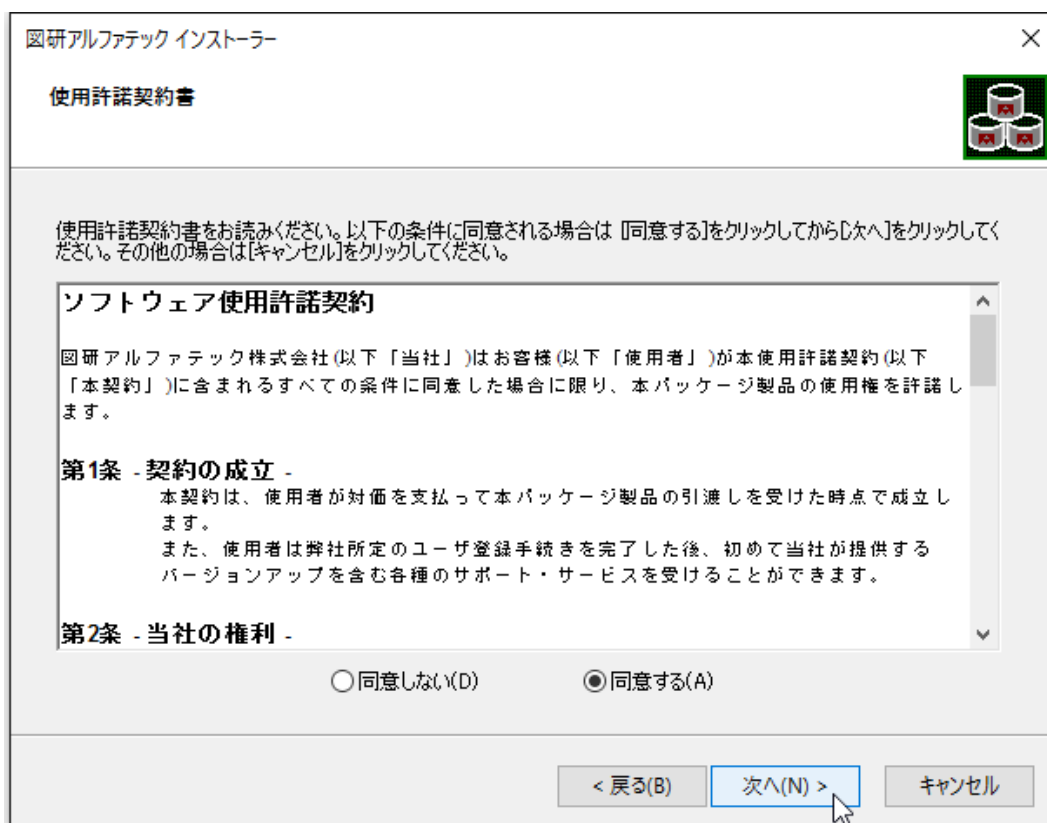
2. クライアントインストーラーのウィザードが表示します。[次へ] をクリックします。

3. 使用許諾契約書が表示されます。

図研アルファテック製品をご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。

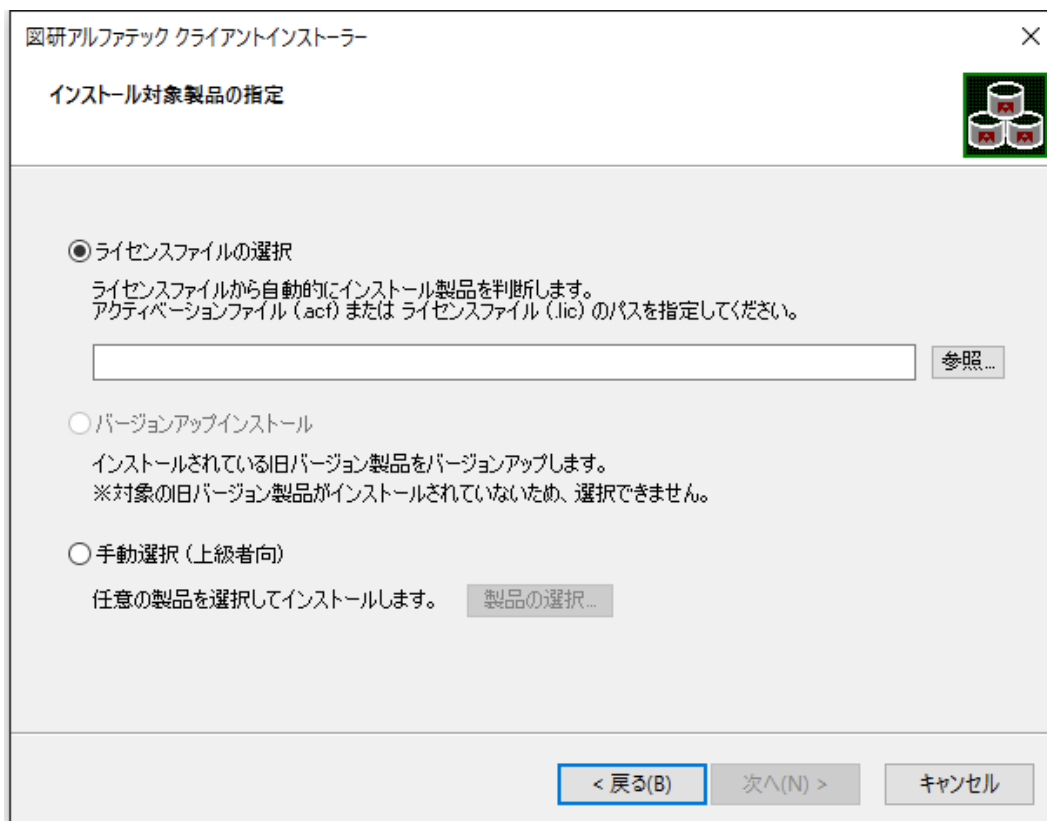


4. すべての条項に同意いただける場合は [同意する (A)] を選択します。[次へ] をクリックします。

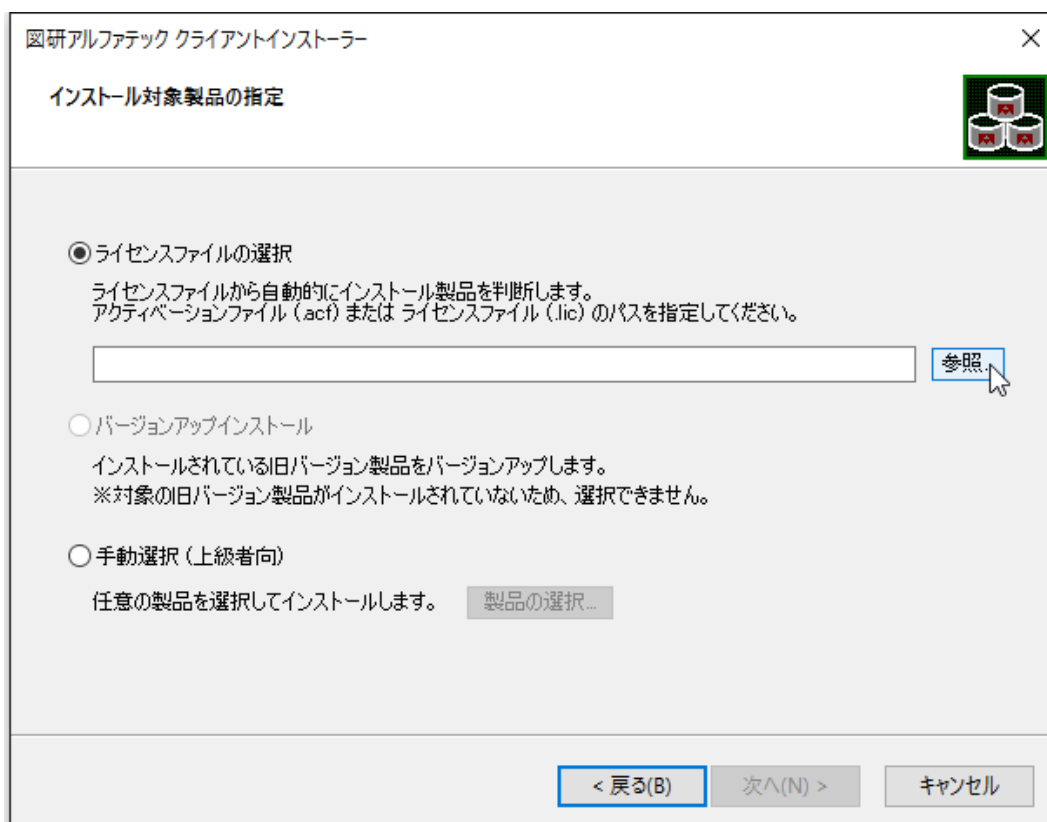


使用許諾契約書に同意されない場合は [キャンセル] をクリックし終了してください。

5. インストール製品の指定が表示されます。「ライセンスファイルの選択」を選択します。

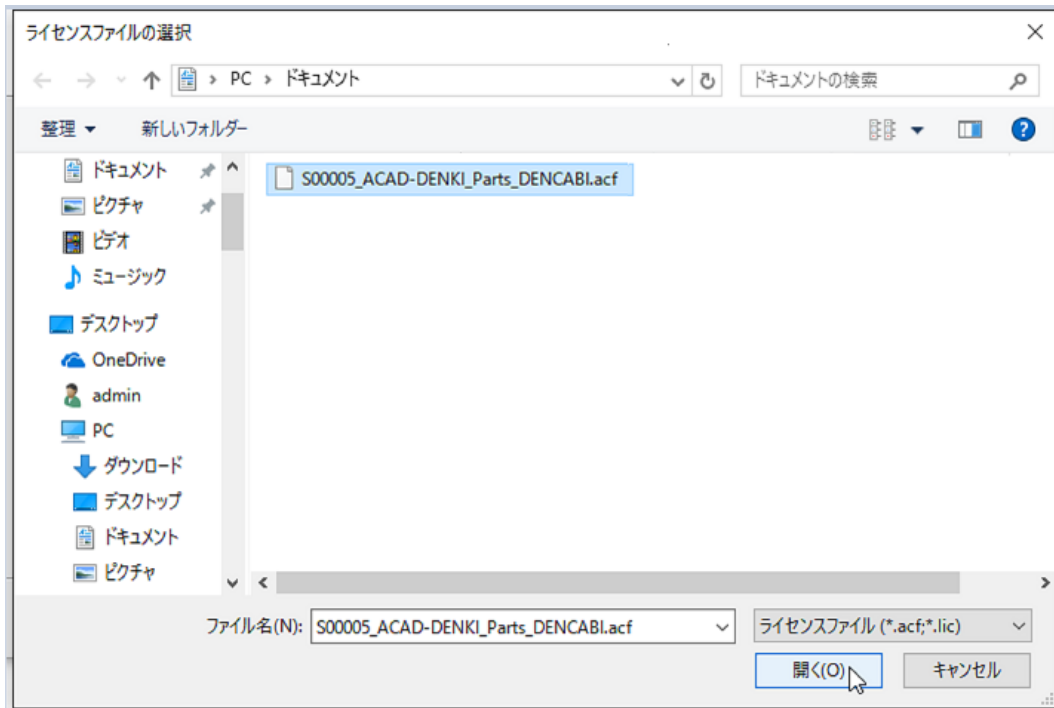


6. [参照] をクリックします。



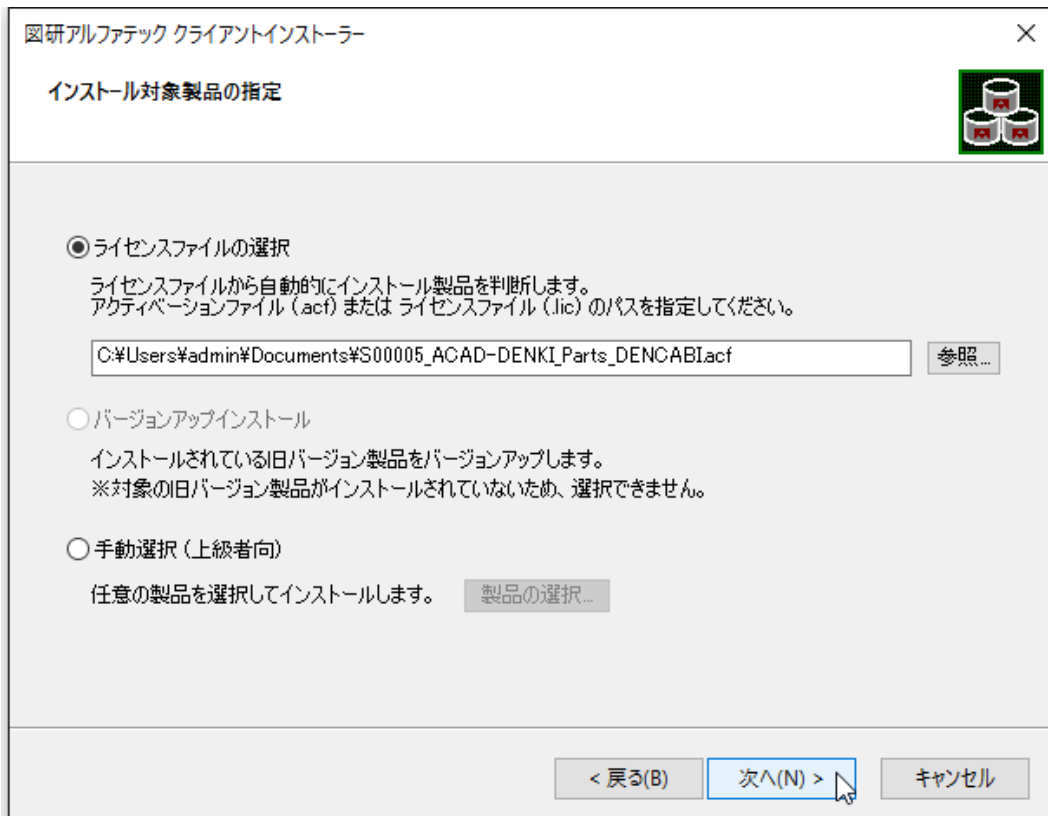
7. ライセンスファイルを選択し、[開く] をクリックします。

本例ではスタンドアロン版の *.acf ファイルを選択しています。

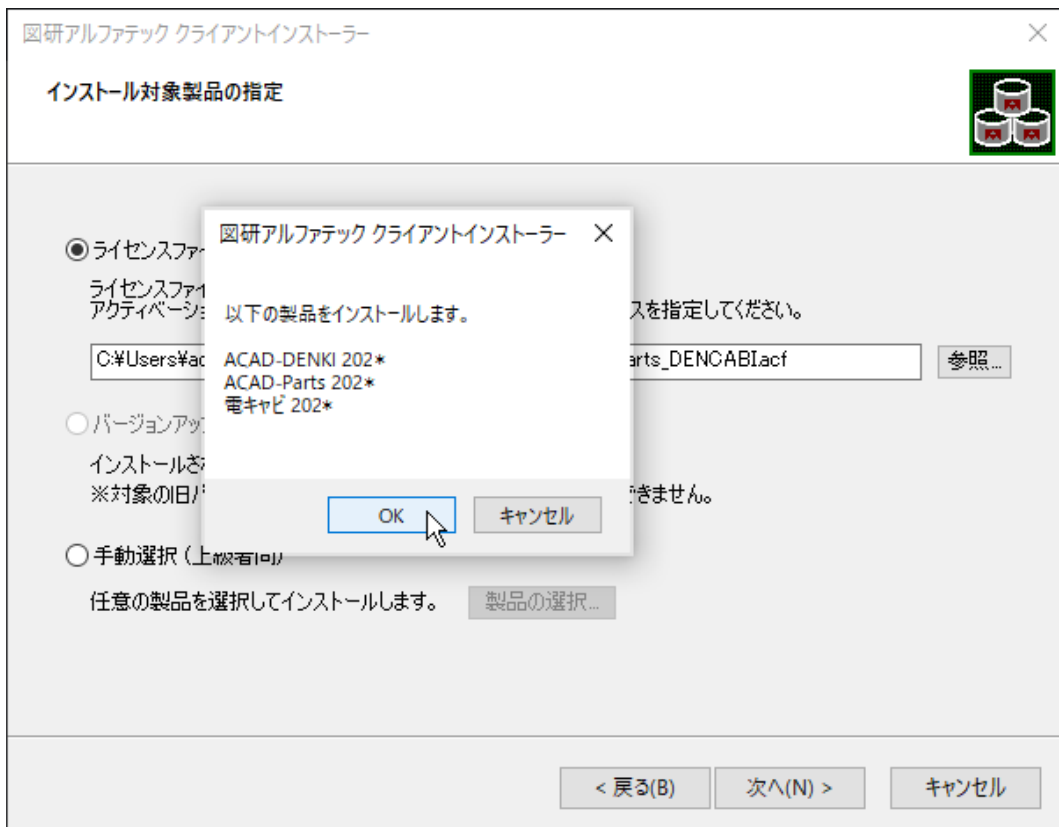


ネットワークライセンスは、サーバー構成後、インストール先 (C:\Program Files\Alfatech\AlfatechRLM) に作成されます「RLM_NW_license.lic」をコピーして選択してください。

8. [次へ] をクリックします。

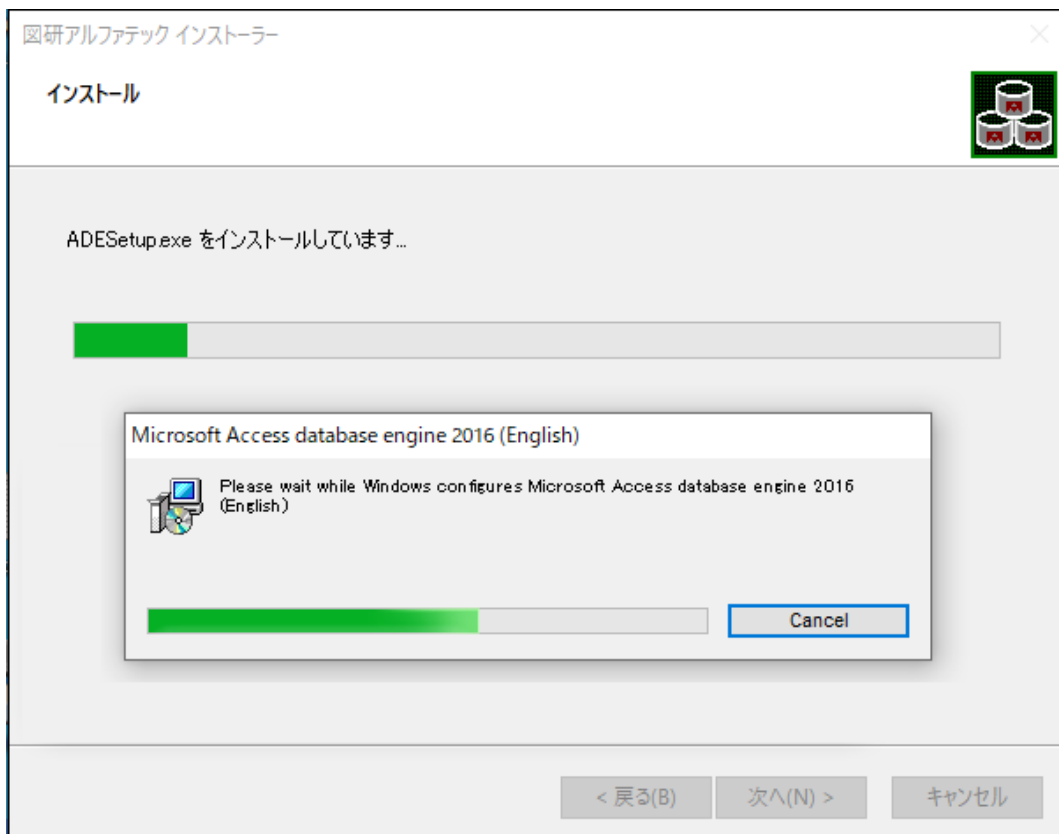


9. インストール対象製品が表示されます。本例は ACAD-DENKI フルパック製品ご購入時の表示例です。[OK] をクリックします。



ネットワーク版ライセンスファイルを選択された場合は、Reprise オプション（貸出し / 借用機能）も同時にインストールされます。

10. インストールが始まります。完了画面が表示されるまでお待ちください。



ベースとなる CAD が複数インストールされている PC の場合「CAD の選択」が表示されます。その場合は使用する CAD を選択し、インストールを継続してください。選択イメージにつきましては

後の章の「CAD の選択」をご参照ください。

11. [完了] をクリックします。



インストールが終了します。

本インストーラーでは、ACAD-DENKI、電キャビの以下の機能はインストールされません。インストール後に、別途インストールが必要です。

ACAD-DENKI：管理者ツール

再度、インストーラーを起動し、インストール対象製品の指定画面で「手動選択」の [製品の選択] から「管理者ツール」を選択し、実行します。

電キャビ：マイデータベース

インストールメディア内にある「¥MISC¥MYDB¥MSDESetup.exe」を実行します。

3. ACAD-KIKAI のインストール

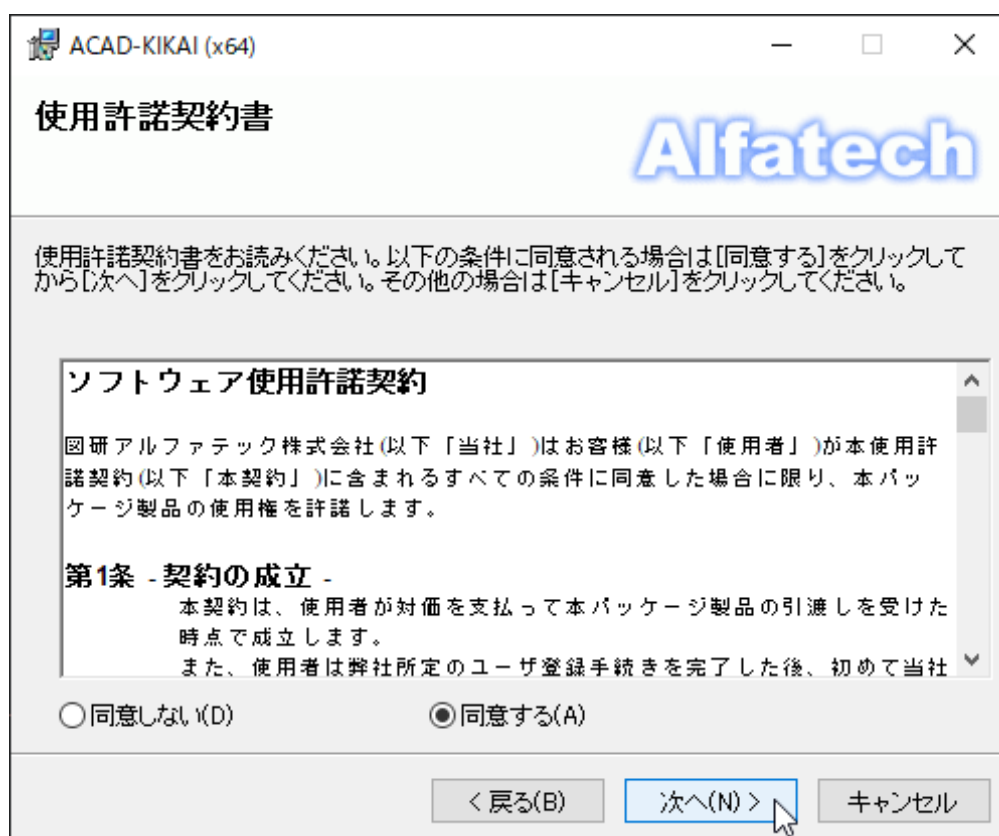
- 1.ACAD-KIKAI インストーラー (ISO ファイル) をマウントし、仮想ディスクから Setup.exe をダブルクリックして起動してください。

ACAD-KIKAI のインストール時にはライセンスファイルを指定する選択肢はありません。

- 2.「ACAD-KIKAI セットアップウィザードへようこそ」が表示されますので、[次へ] ボタンをクリックします。



- 3.「使用許諾契約書」が表示されますので内容の確認、「同意する」を選択後、[次へ] をクリックします。



4. ユーザー情報を入力して、[次へ] ボタンをクリックします。

ACAD-KIKAI (x64)

ユーザー情報

Alfatech

次のボックスに名前を入力してください。インストーラはこの情報を今後のインストールに使用します。

名前(A):
user

所属(O):

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

5. 「インストールフォルダの選択」が表示されますので、インストールフォルダ指定後、[次へ] をクリックします。

ACAD-KIKAI (x64)

インストール フォルダの選択

Alfatech

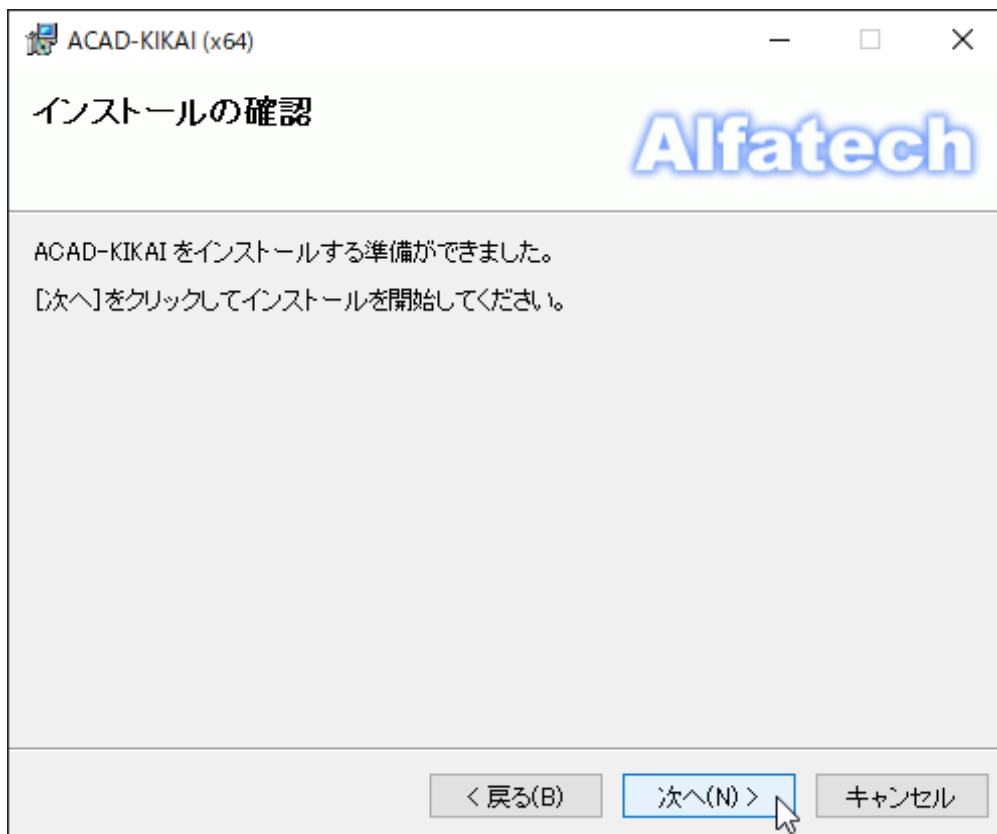
インストーラは次のフォルダへ ACAD-KIKAI をインストールします。
このフォルダにインストールするには[次へ]をクリックしてください。別のフォルダにインストールするには、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてください。

フォルダ(F):
C:\Program Files\Alfatech\

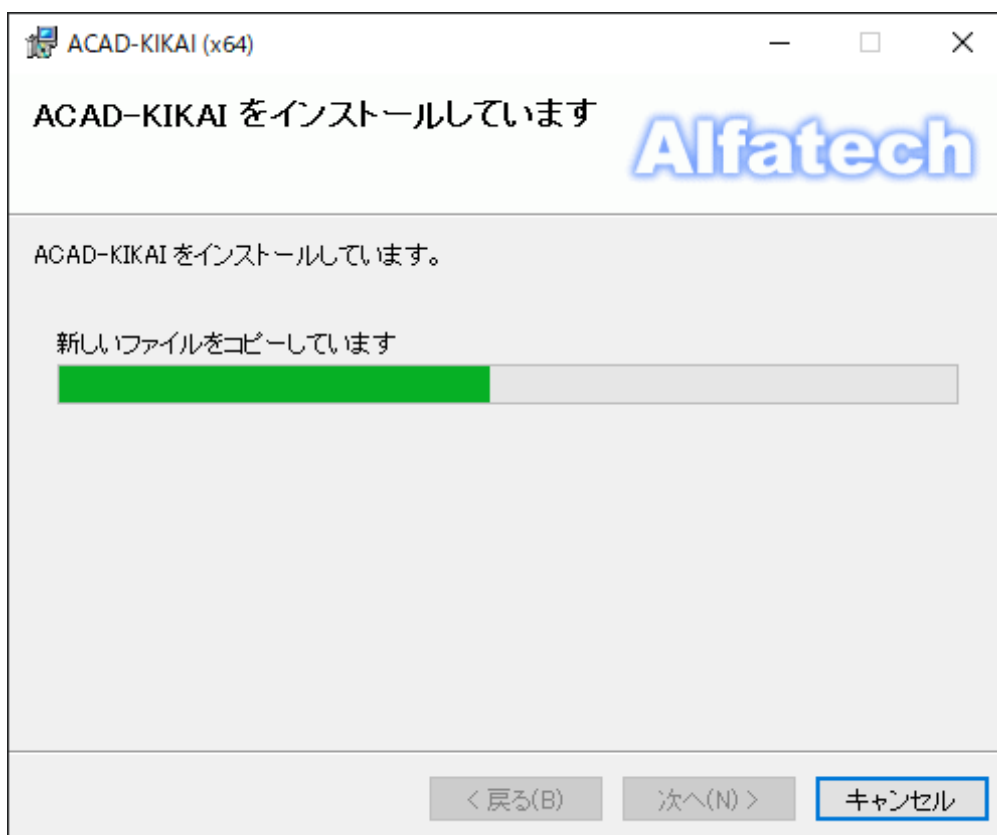
参照(R)...
ディスク領域(D)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

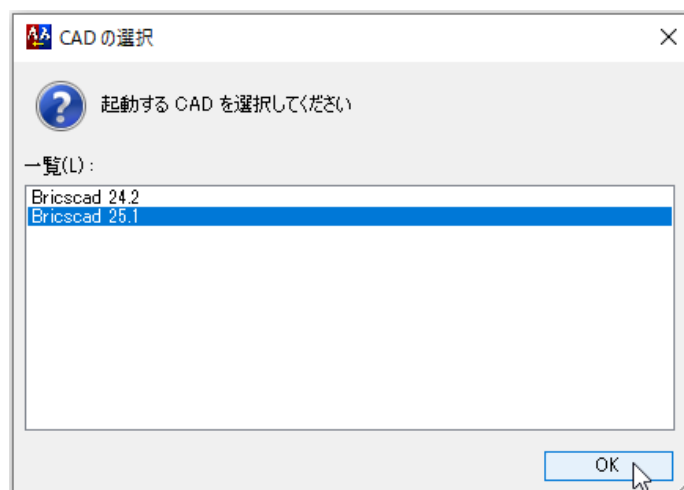
6. 「インストールの確認」が表示されますので、[次へ] をクリックします。



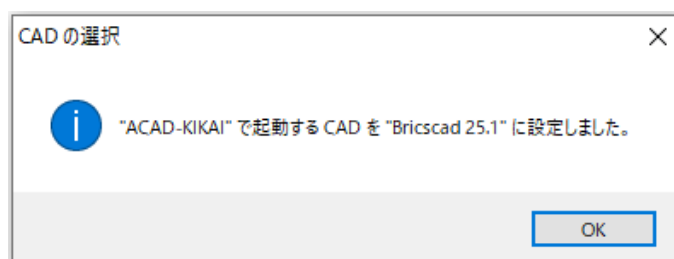
7. インストールが実行されます。



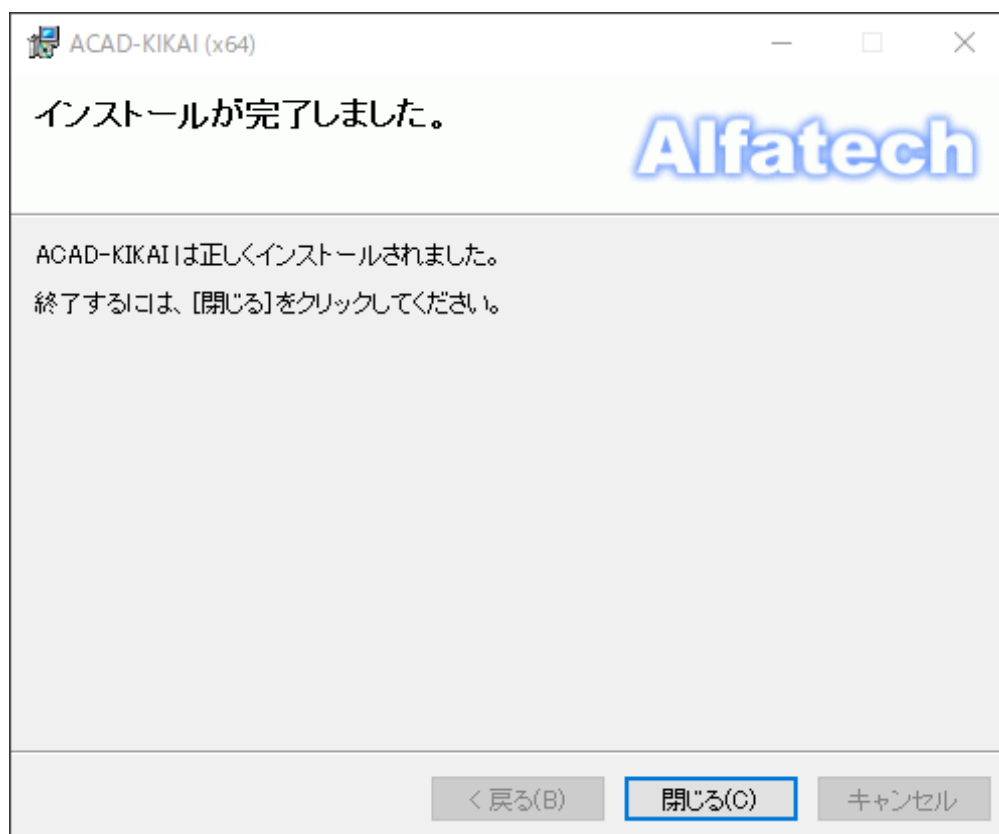
8. BricsCAD が複数インストールされている場合、使用する CAD の選択を行い、[OK] をクリックします。



9. 使用する CAD が設定されます。



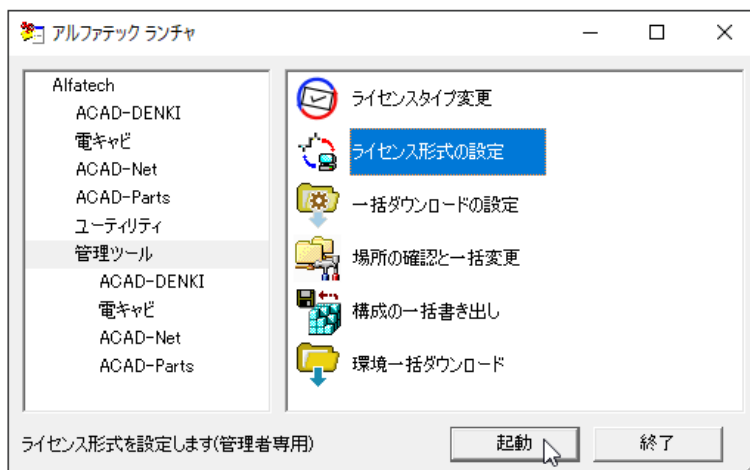
10. インストールが完了します。



4. ライセンス形式の設定の表示

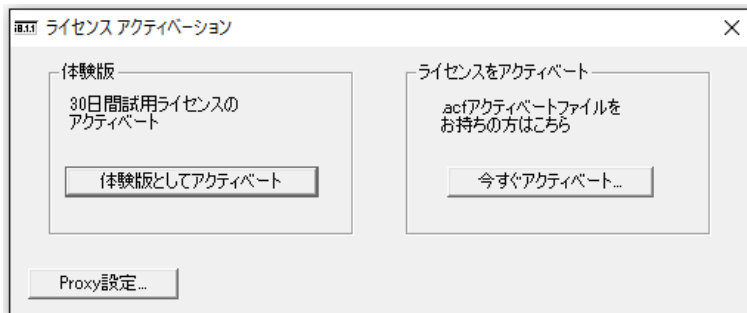
製品のアクティベート、またはサーバー情報の設定を行うために、ライセンス形式の設定を表示します。

1. スタートアイコンから、[A]の「Alfatech」 - 「アルファテックランチャー」をクリックします。
2. アルファテックランチャーが表示されます。「管理ツール」の「ライセンス形式の設定」を選択し、[起動]をクリックします。



■ スタンドアロン版のライセンス形式の設定ダイアログの表示

選択されたライセンスファイルの拡張子が *.acf の場合、ライセンスアクティベーションが表示されます。



アクティベートの実行を行いますので、次章の「ライセンス形式の設定 / スタンドアロン版（アクティベート）」にお進みください。

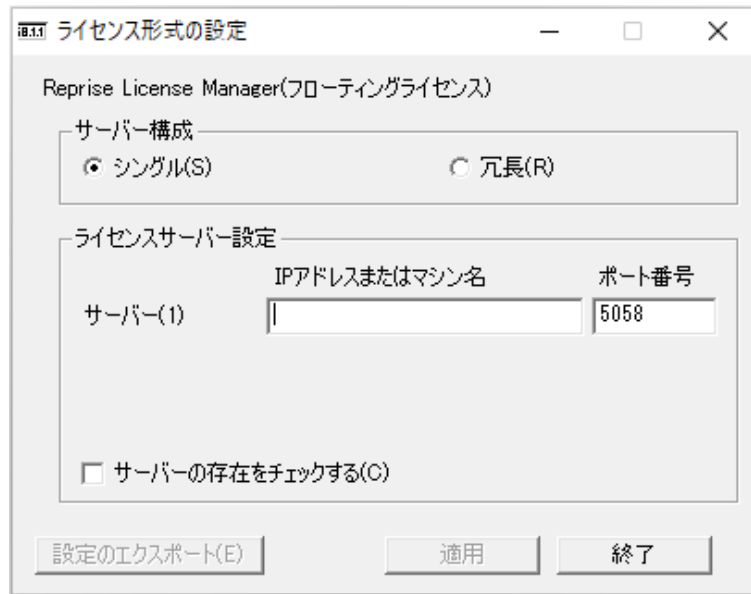
アクティベートでは、図研アルファテックのライセンスサーバーへ web 接続を行います。

web 接続が制限されており、アクティベートの実行がエラーとなる場合は、プロキシ設定が必要です。一時的にでも制限の解除ができない場合はオフラインアクティベートの実行が必要です。

インストールメディア内の「¥DOC¥ACAD-DENKI2025 スタンドアロン版ライセンスアクティベート説明書.pdf」をご参照ください。

■ ネットワーク版のライセンス形式の設定のダイアログの表示

ネットワーク版の場合、先にライセンスタイプの変更が必要です。その後に下記のライセンス形式の設定が表示されます。

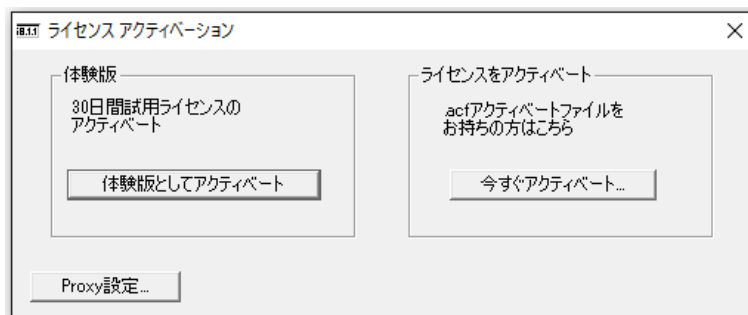


サーバー設定を行いますので、後の章の「ライセンス形式の設定 / ネットワーク版（サーバー設定）」にお進みください。

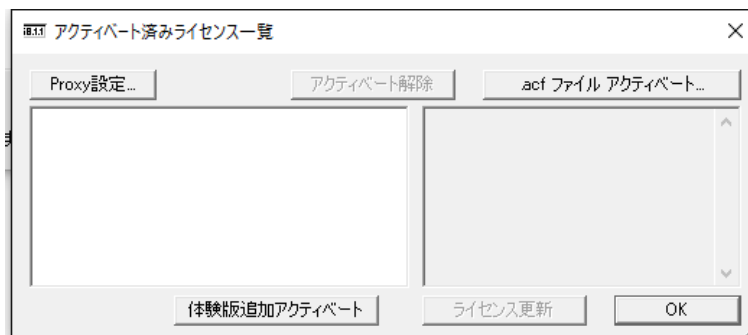
5. ライセンス形式の設定 / スタンドアロン版（アクティベート）

図研アルファテック製品のスタンドアロン版のアクティベート方法について説明します。

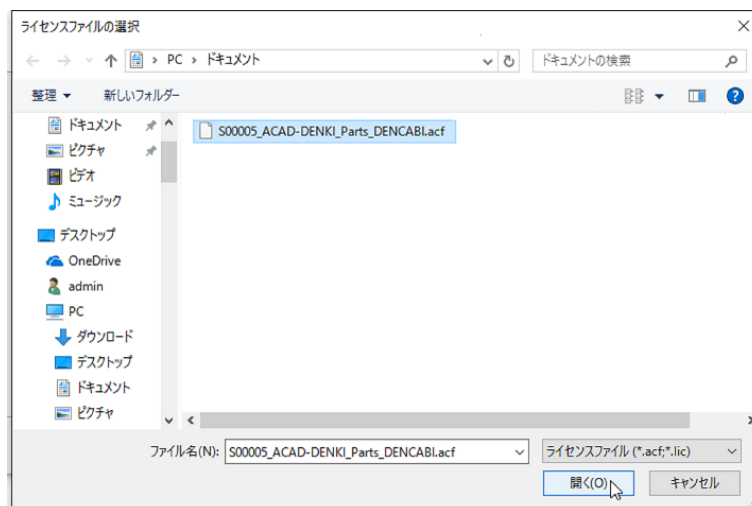
1. ライセンス形式の設定を起動します。[今すぐアクティベート]をクリックします。



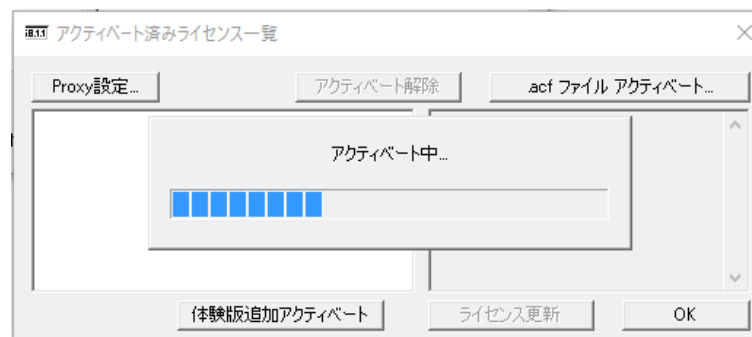
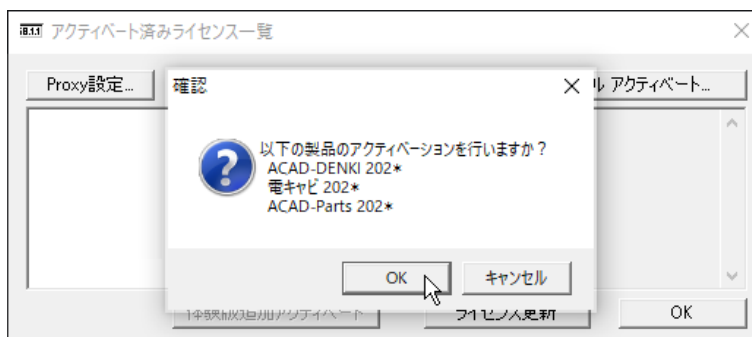
2.[acf ファイルアクティベート]をクリックします。



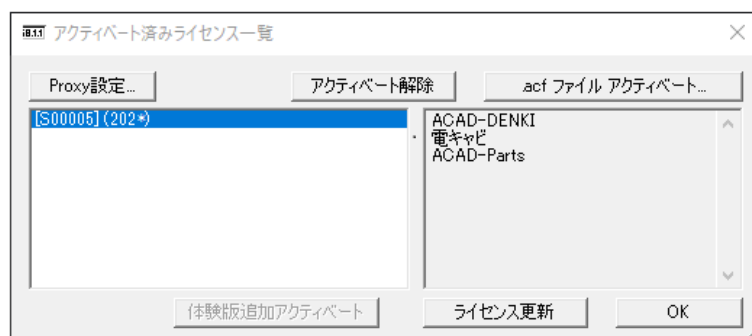
3. 製品インストール時に使用したライセンスファイル（acf）を選択し、[開く] をクリックします。



4. アクティベート対象製品名が表示されます。[OK] をクリックします。



5. アクティベートが終了します。[OK] をクリックします。



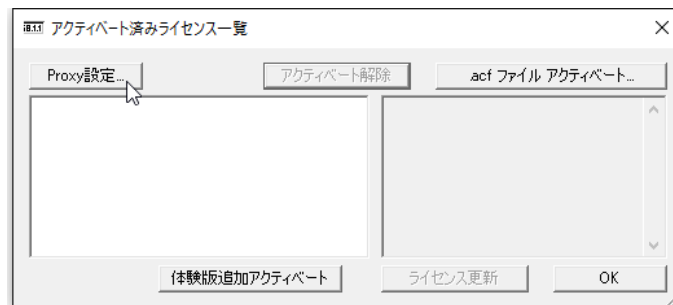
6. ライセンス形式の設定の [終了] をクリックします。アクティベートの完了です。

6. スタンドアロン版（アクティベート） / プロキシ設定

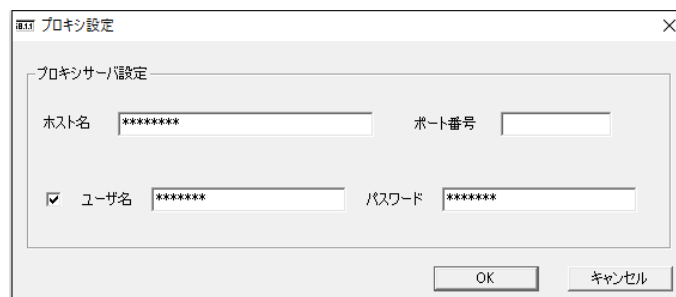
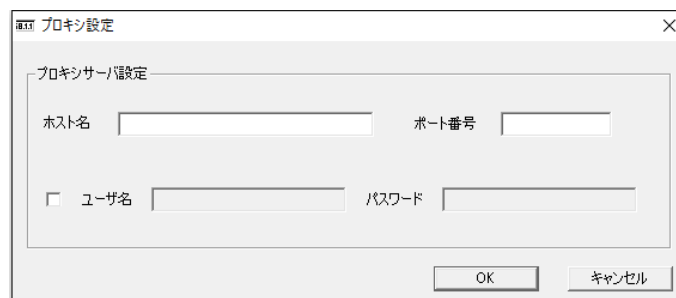
WEB 接続にプロキシ設定が行われている場合、アクティベート時にプロキシ設定を行う必要があります。プロキシ設定をされているか不明な場合でも、アクティベートを実行すると（エラーコード -132）または、（エラーコード -136）等が表示され、アクティベートができない場合、プロキシの設定を行ってください。

プロキシ設定は、各社様ごとの独自設定となります。ソフトウェアによる共通の設定ではございません。御社のシステム、またはネットワーク管理者の方に設定内容のご確認をお願いします。

1. アクティベート済みライセンス一覧にて [Proxy 設定] をクリックします。



2. プロキシ設定ダイアログが表示されます。プロキシサーバー設定を入力し、[OK] をクリックします。



本設定後に、アクティベートの操作を実行してください。

プロキシ設定の情報は、アクティベート時に一時的に使用されます。前回値の保持はされませんのでご注意ください。

アクティベート、アクティベート解除を実行する都度、設定が必要となります。

プロキシ設定を行っても（エラーコード -136）等が表示する場合は、web 通信時に HTTP トランザクションでエラーが発生している可能性があります。

このエラーは多くの場合にアクセスする URL が制御されている場合に発生いたします。

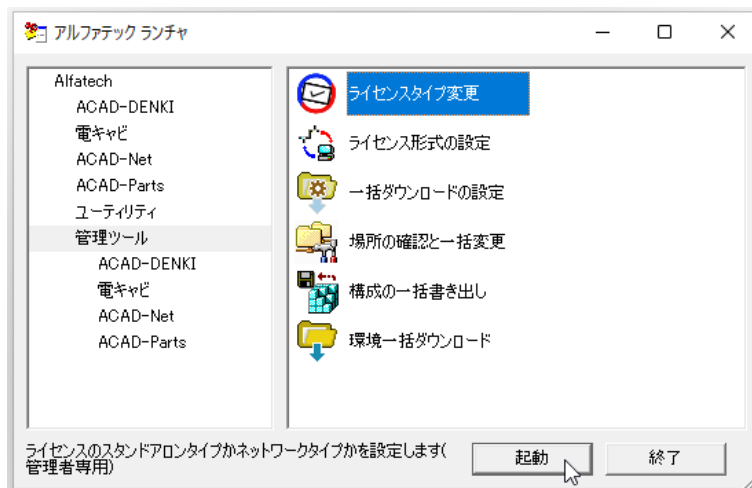
以下の図研アルファテックライセンスサーバーサイトの URL に対しましてアクセス許可を与えてください。

<http://activation.alfatech.co.jp/>

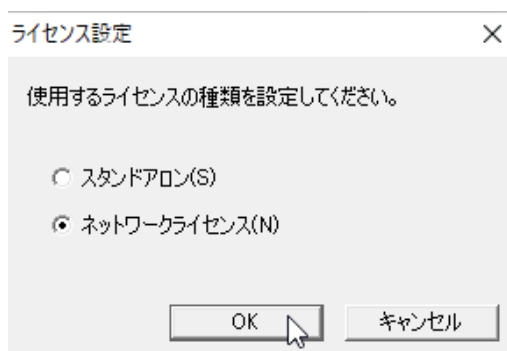
7. ライセンス形式の設定 / ネットワーク版（サーバー接続設定）

図研アルファテック製品のネットワーク版のサーバー設定方法について説明します。

1. アルファテックランチャの「管理ツール」から「ライセンスタイプの変更」を選択し、[起動] をクリックします。



2. ライセンス設定ダイアログが表示します。「スタンドアロン」（デフォルト）から「ネットワークライセンス」に変更し、[OK] をクリックします。



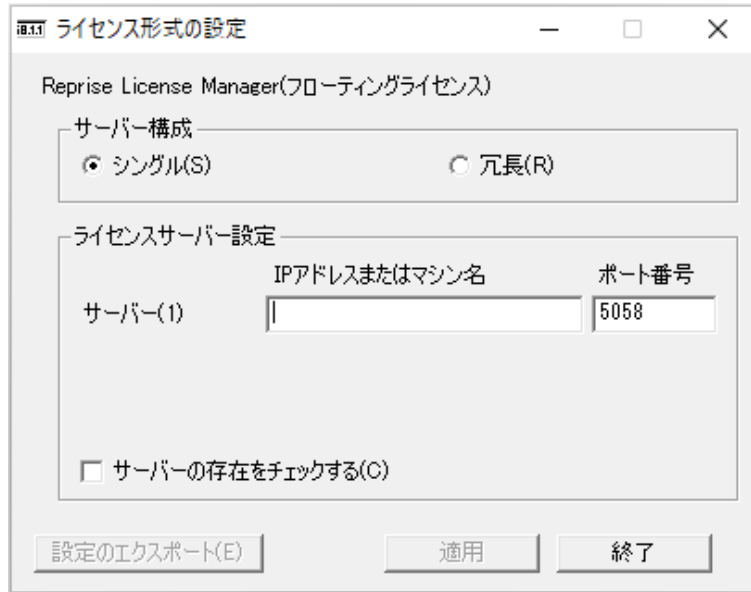
3. メッセージが表示します。[OK] をクリックします。



続いてライセンス形式の設定を変更します。

1. アルファテックランチャーから「管理ツール」の「ライセンス形式の設定」を選択し、[起動] をクリックします。

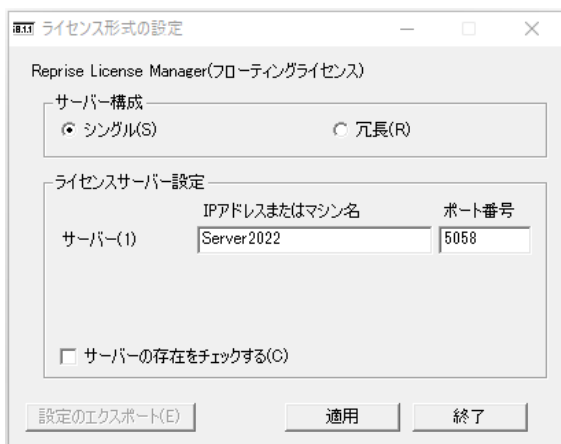
2. ライセンス形式の設定を起動します。サーバー構成、ライセンスサーバー設定を設定します。



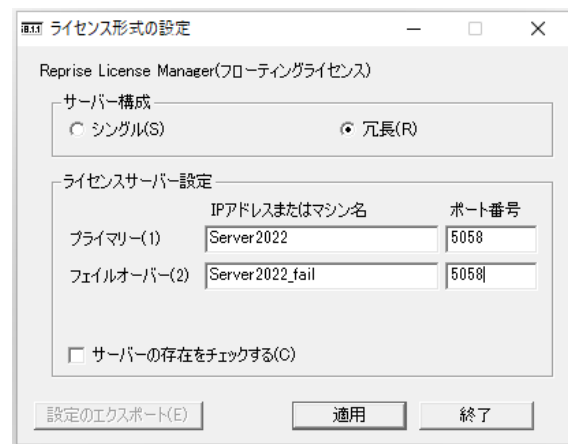
サーバーの構成、ライセンスサーバーのサーバー名、または IP アドレス、ポート番号をデフォルトから変更されている場合はポート番号を事前に確認してください。

3. サーバー構成、ライセンスサーバー設定、ポート番号などを入力し、サーバーの存在をチェックするにチェックを入力し、[適用] をクリックします。

シングルの場合

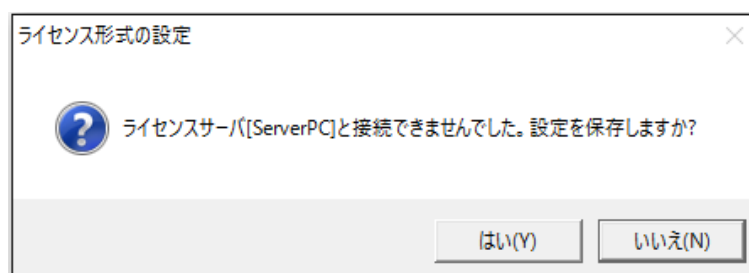


冗長の場合



サーバーのライセンス管理サービスインストール作業を後で行われる場合は、「サーバーの存在をチェックする」のチェックは未入力としてください。

チェックしたまま [適用] をクリックすると、サーバーとの通信に失敗し下記のようなメッセージが表示されます。この場合は [はい] をクリックして終了してください。



後からサーバーにライセンス管理サービスのインストール作業が行われた場合、サーバーとクライアント PC 間での TCP/IP 通信に問題が無い場合は再設定を行う必要はありません。

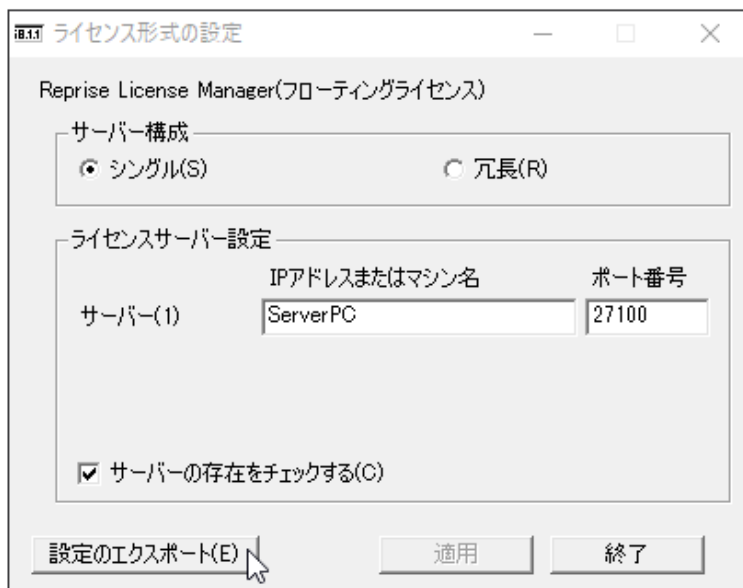
4. [適用] をクリックします。

「ライセンス形式の設定」ダイアログを表示せずに [設定のエクスポート] で設定内容を *.reg ファイルに保存することが可能です。

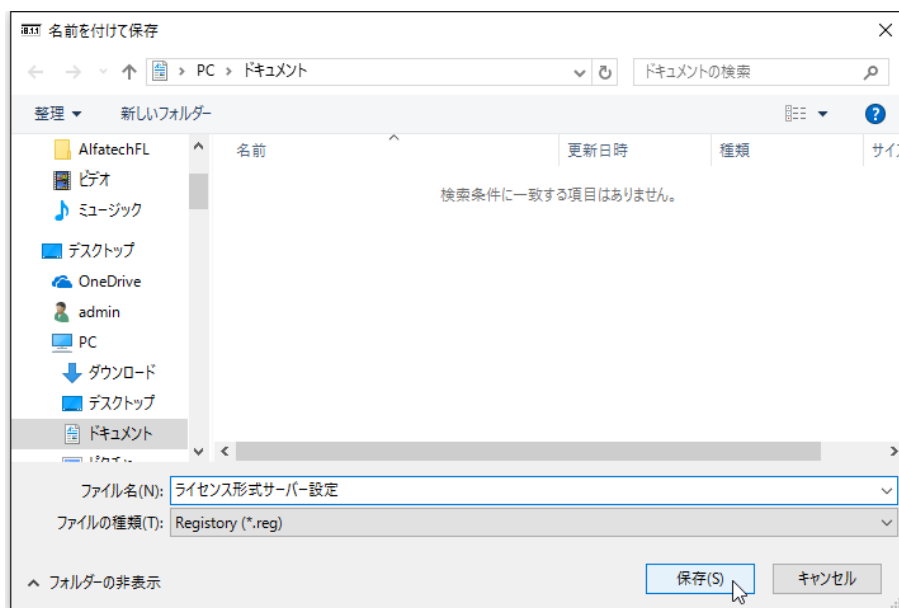
他 PC にもネットワーク版のクライアントインストーラーを実行する場合、次の手順に進みます。

設定のエクスポートを行わない場合は、[終了] をクリックして終了します。

5. [設定のエクスポート] をクリックします。



6. 名前を付けて保存ダイアログが表示されます。保存場所を任意の場所に変更し、「ファイル名」を入力します。(例：ライセンス形式サーバー設定)



7. [保存] をクリックします。

指定場所に reg ファイル（レジストリファイル）が保存されます。

reg ファイルを実行することで「ライセンス形式の設定」をダイアログを表示せずに設定することが可能です。

8. 保存したファイル（例：ライセンス形式サーバー設定 .reg）を他 PC からアクセスできる共有場所に移動します。

2 台目以降のインストール PC にて、本章「ライセンス形式の設定 / ネットワーク版（サーバー設定）」の手順の代わりに、保存したファイル（例：ライセンス形式サーバー設定 .reg）を実行してください。同じ設定（サーバー構成、ライセンスサーバー設定、ポート番号）が登録されます。

2.バージョンアップインストール

図研アルファテック製品の過去バージョン（V16、2016～2024）を既にインストールされている PC に対してのバージョンアップインストールについて説明します。

1. インストールの前に

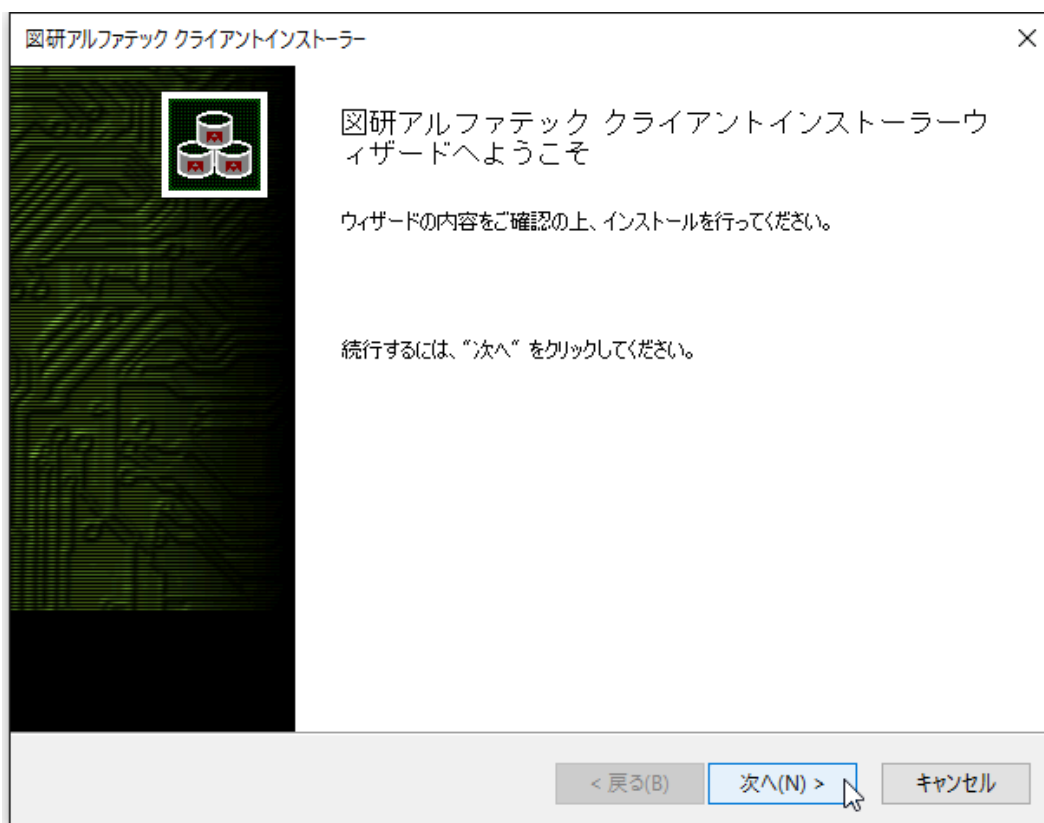
事前にインストール対象 PC の動作環境、インストーラー（ISO ファイル）が揃っておりますか、前章のチェックシートなどを使用して確認して頂くことをお勧めします。

インストール対象 PC に Administrator、または管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。使用中のアプリケーション、プログラムをすべて終了させてください。また、ウイルスチェックプログラムなどの常駐プログラムが稼働している場合は、終了していただくことを推奨いたします。

2. バージョンアップインストール

スタンドアロン版 / ネットワーク版のクライアント PC へのバージョンアップインストール手順について説明します。

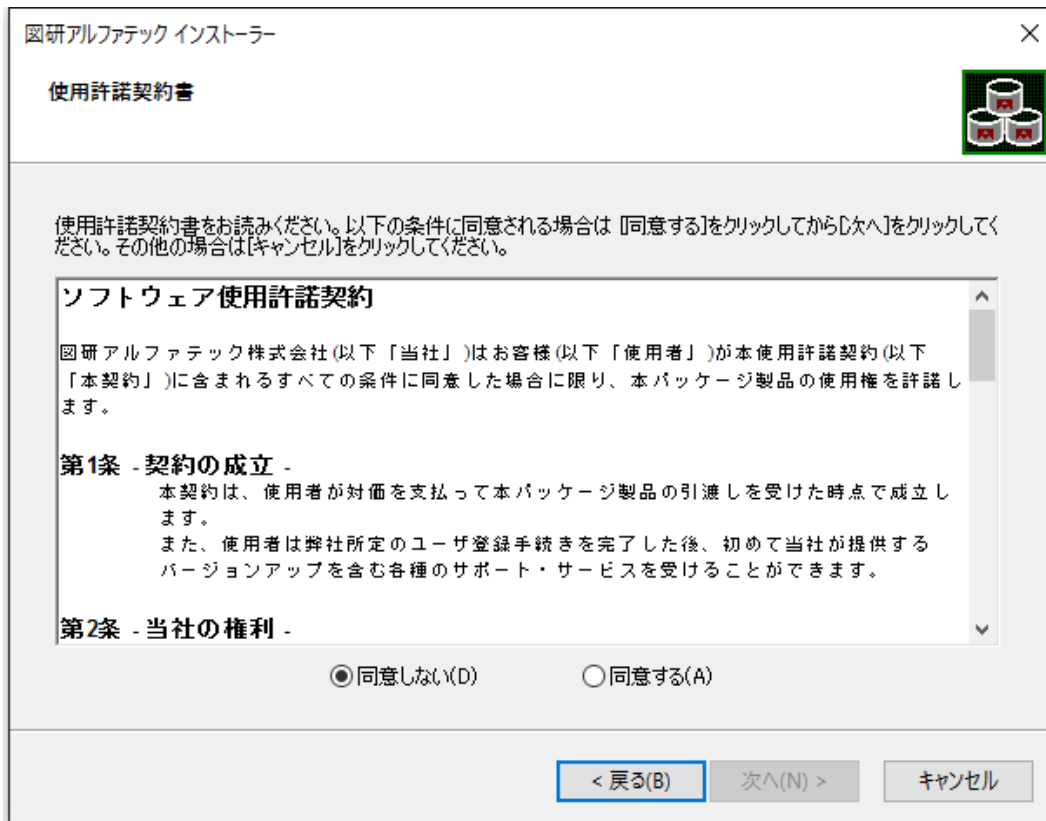
1. インストーラー（ISO ファイル）をマウントし、仮想ディスクから Setup.exe をダブルクリックして起動してください。



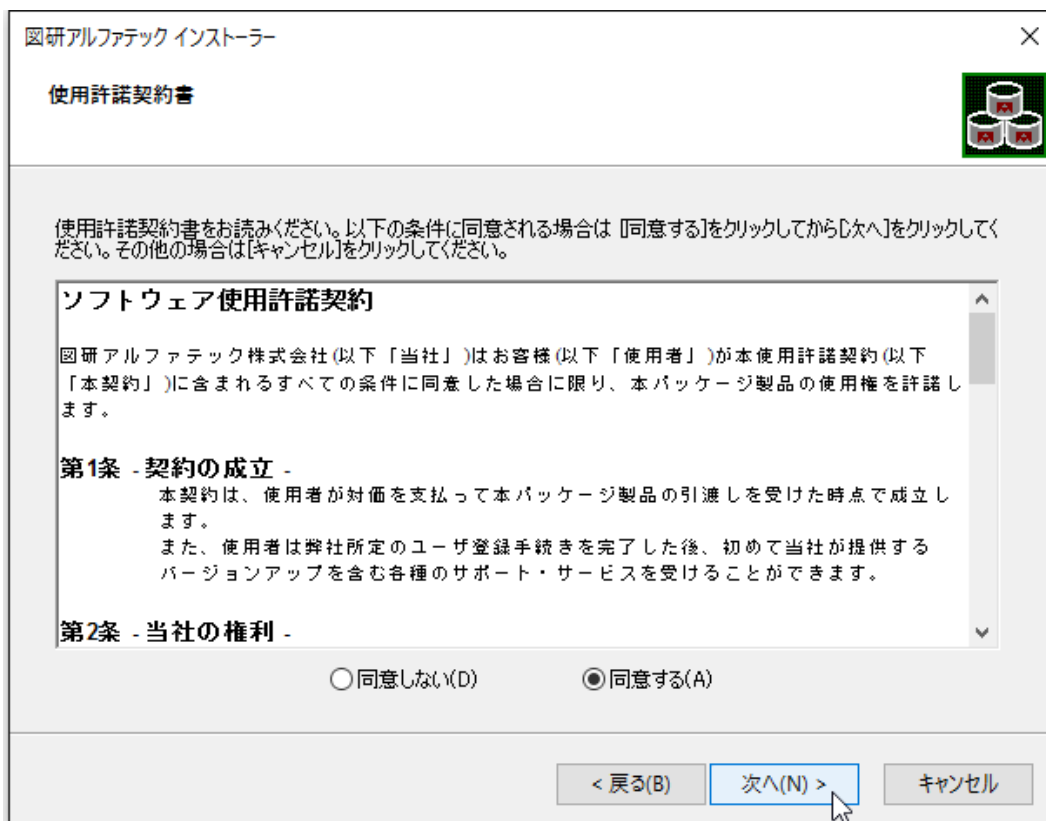
2. クライアントインストーラーのウィザードが表示します。[次へ] をクリックします。

3. 使用許諾契約書が表示されます。

図研アルファテック製品をご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。



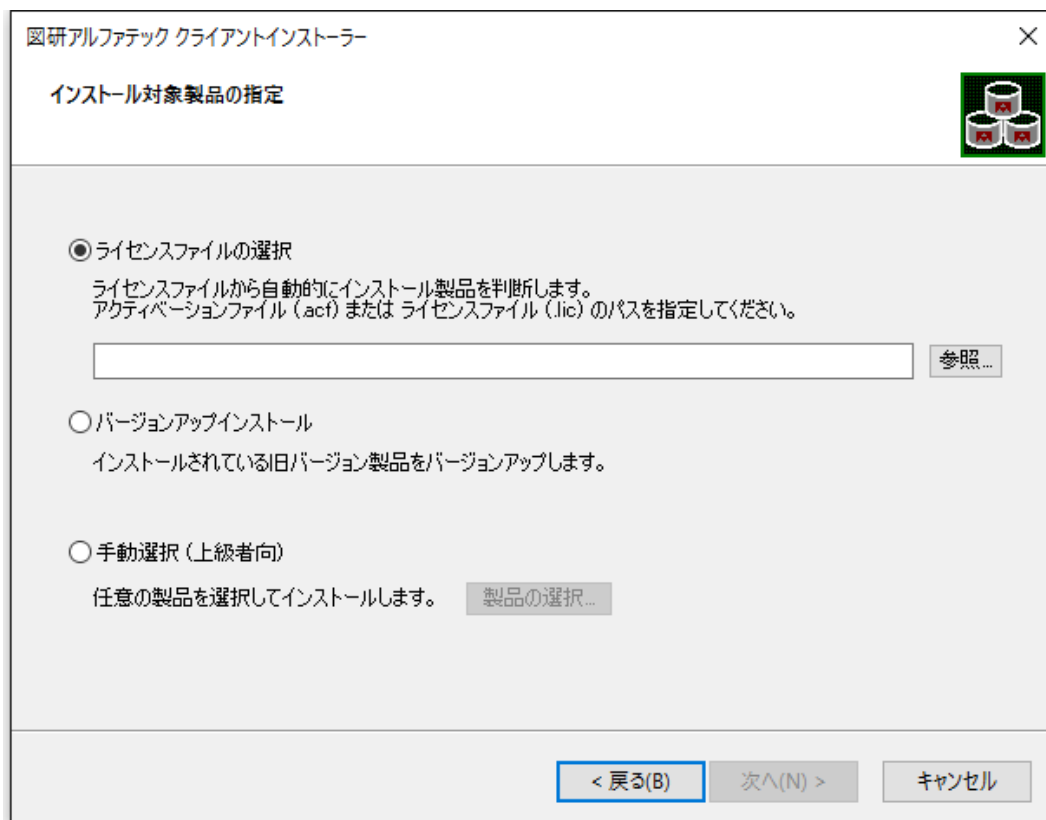
4. すべての条項に同意いただける場合は [同意する (A)] を選択します。[次へ] をクリックします。



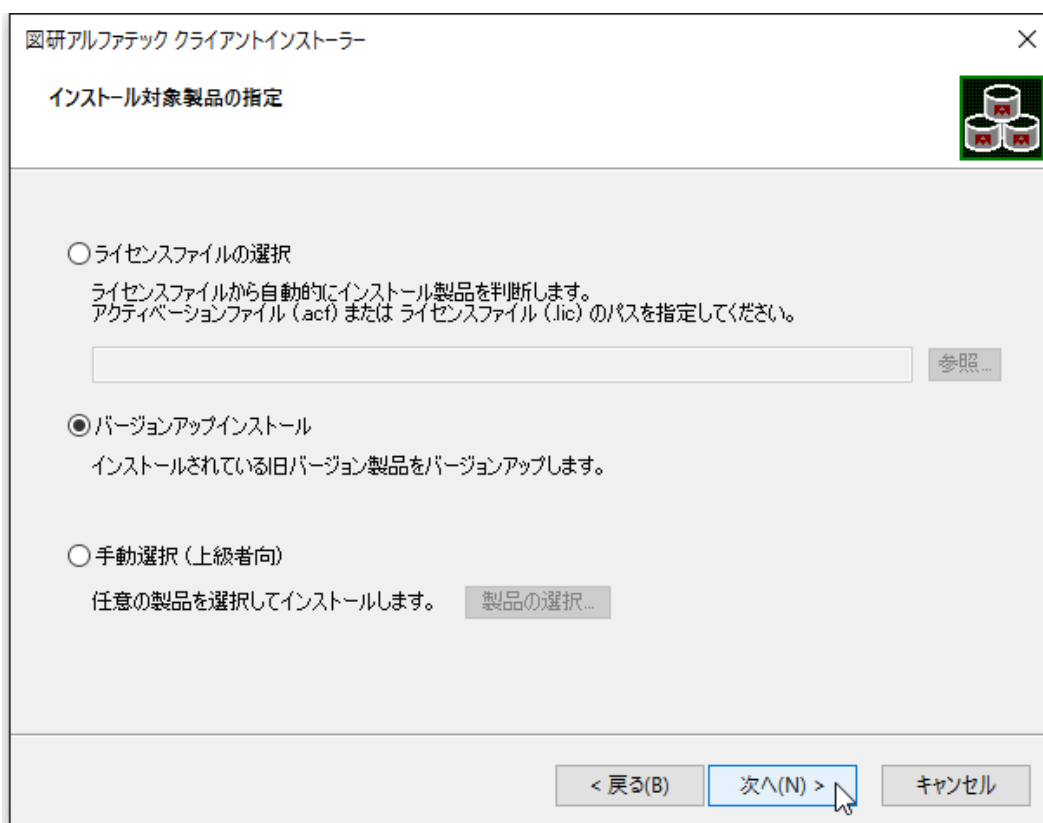
使用許諾契約書に同意されない場合は [キャンセル] をクリックし終了してください。

5. インストール製品の指定が表示されます。「バージョンアップインストール」を選択します。

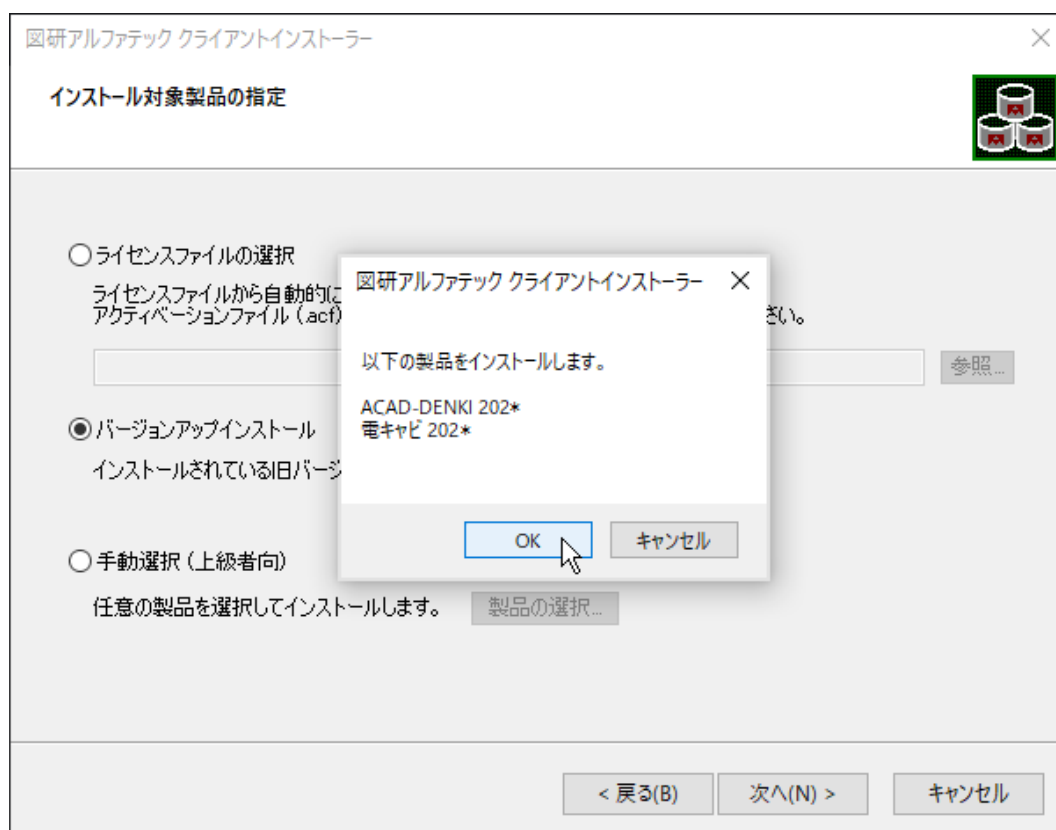
インストール対象 PC に過去バージョンがインストールされている場合のみ、「バージョンアップインストール」がアクティブとなり、選択できます。



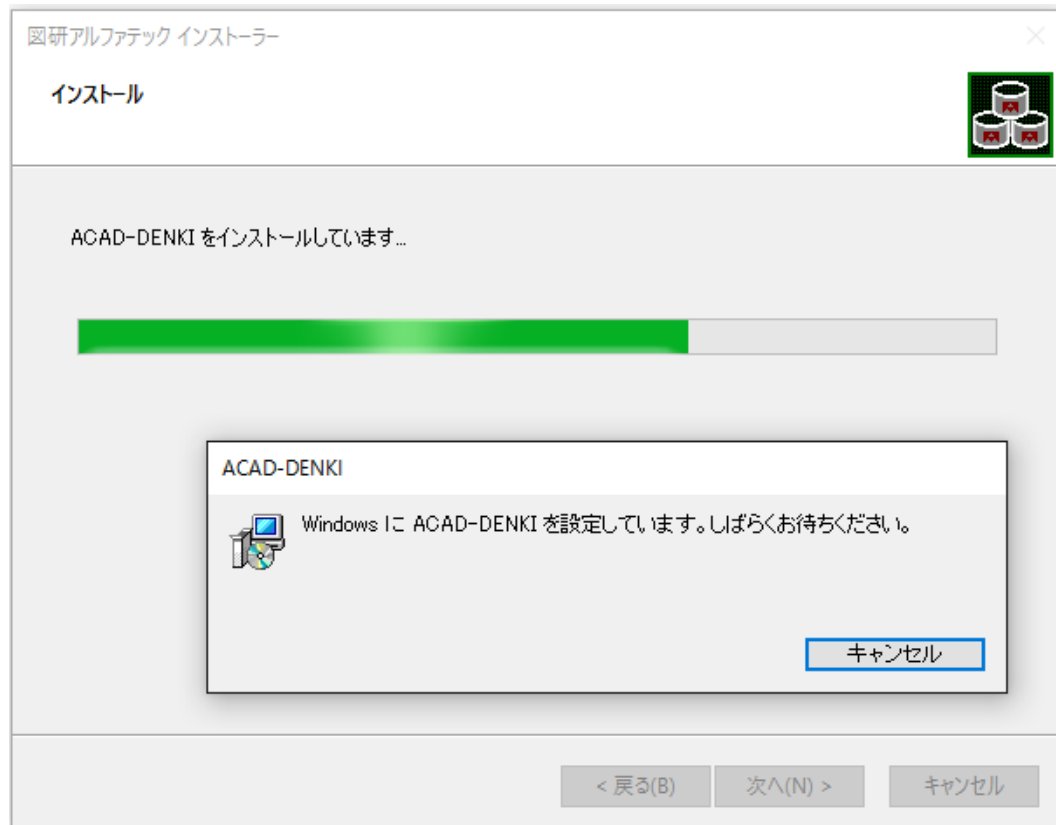
6. [次へ] をクリックします。



7. 既にインストールされている過去バージョンと同じ製品がインストール製品として表示されます。[OK] をクリックします。



インストールが開始されます。



ベースとなる CAD が複数インストールされている PC の場合「CAD の選択」が表示されます。その場合は後の章の「CAD の選択」をご参照いただきまして使用する CAD を選択し、インストールを継続してください。

8. [完了] をクリックします。

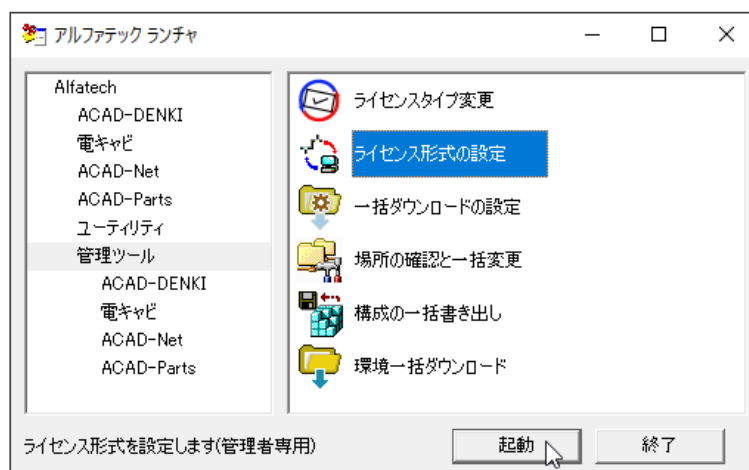


インストールが終了します。

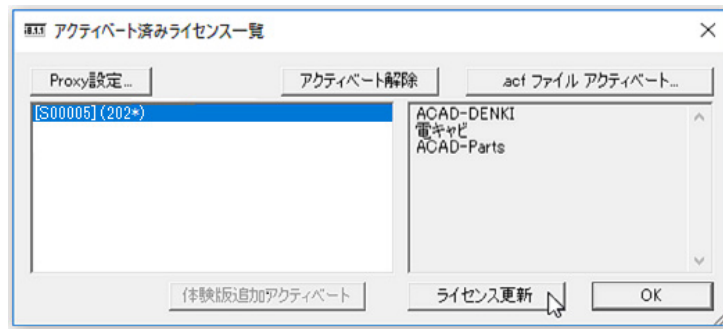
3. ライセンス形式の設定の更新 / スタンドアロン版

製品のアクティベートバージョンの更新を行うために、ライセンス形式の設定を表示します。

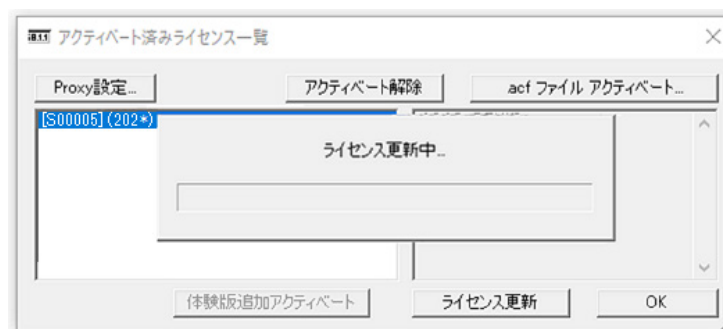
1. スタートアイコンから、[A] の「Alfatech」 - 「アルファテックランチャー」 をクリックします。
2. アルファテックランチャーが表示されます。「管理ツール」の「ライセンス形式の設定」を選択し、[起動] をクリックします。



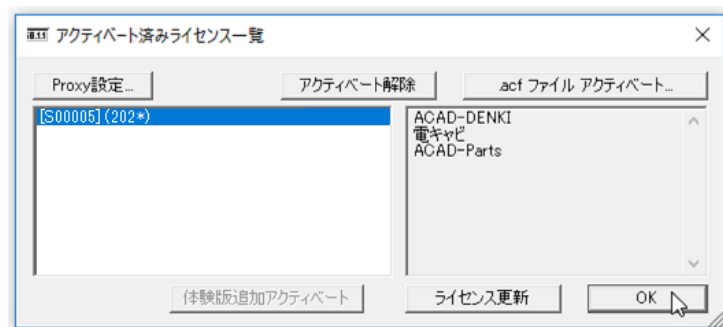
3. アクティベート済みライセンス一覧が表示されます。左ペインで更新する「シリアル番号（バージョン）」を選択し、[ライセンス更新]をクリックします。



ライセンス情報が更新されます。図研アルファテックライセンスサーバーとの送受信が行われます。



4. ライセンス情報が更新されます。左ペインの()内のバージョン表示が最新のバージョンになったことが確認できます。[OK]をクリックします。



4. ライセンス形式の設定の更新 / ネットワーク版（サーバー接続設定）

図研アルファテック製品のネットワーク版のサーバー設定を変更する必要はありません。

サーバーの変更があった場合、ライセンス形式の設定にてサーバー名 / ポート番号の変更を行ってください。

3.製品の追加インストール

インストール済みの製品に新しい製品を追加インストールする手順について説明します。
本例では、ACAD-DENKI2025 フルパックに ACAD-IO を追加した例となります。

1. インストールの前に

ACAD-DENKI オプションなどを追加していただきました場合、同じシリアル番号のライセンスファイルが発行されます。

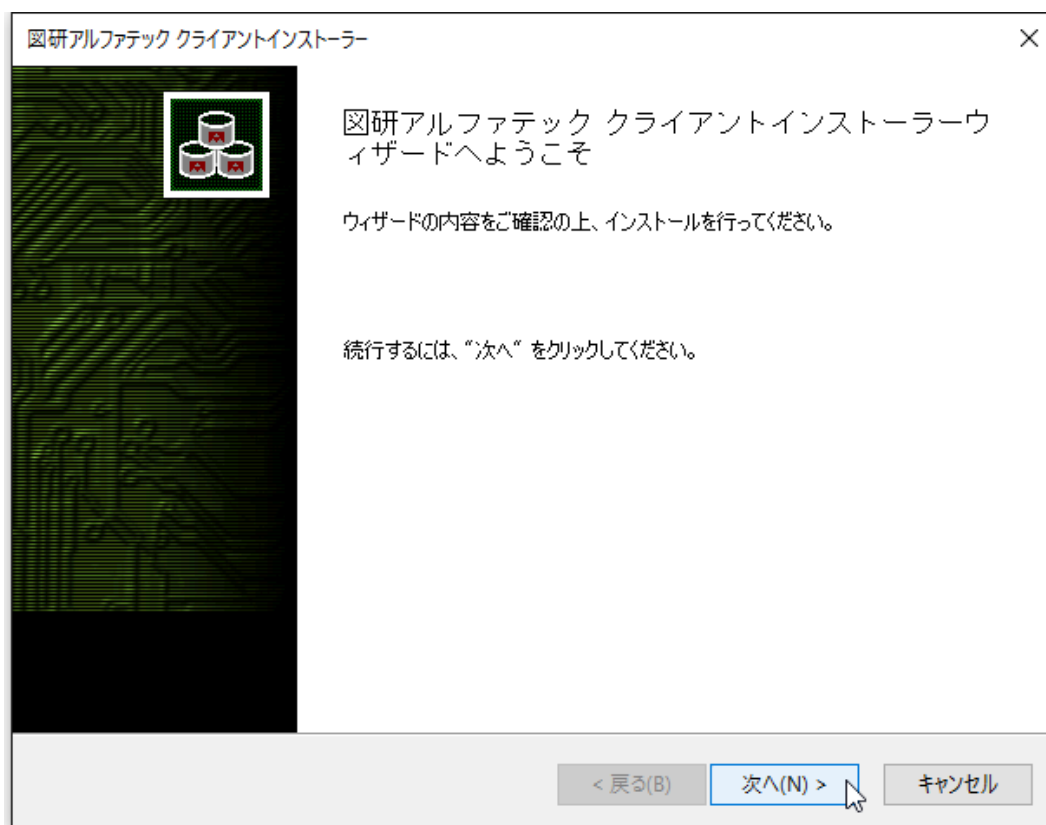
新しく入手されましたライセンスファイルをご準備ください。

インストール対象 PC に Administrator、または管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。
使用中のアプリケーション、プログラムをすべて終了させてください。また、ウイルス チェック プログラムなどの常駐プログラムが稼働している場合は、終了していただくことを推奨いたします。

2. インストール

インストールの手順は新規インストール時と同じです。

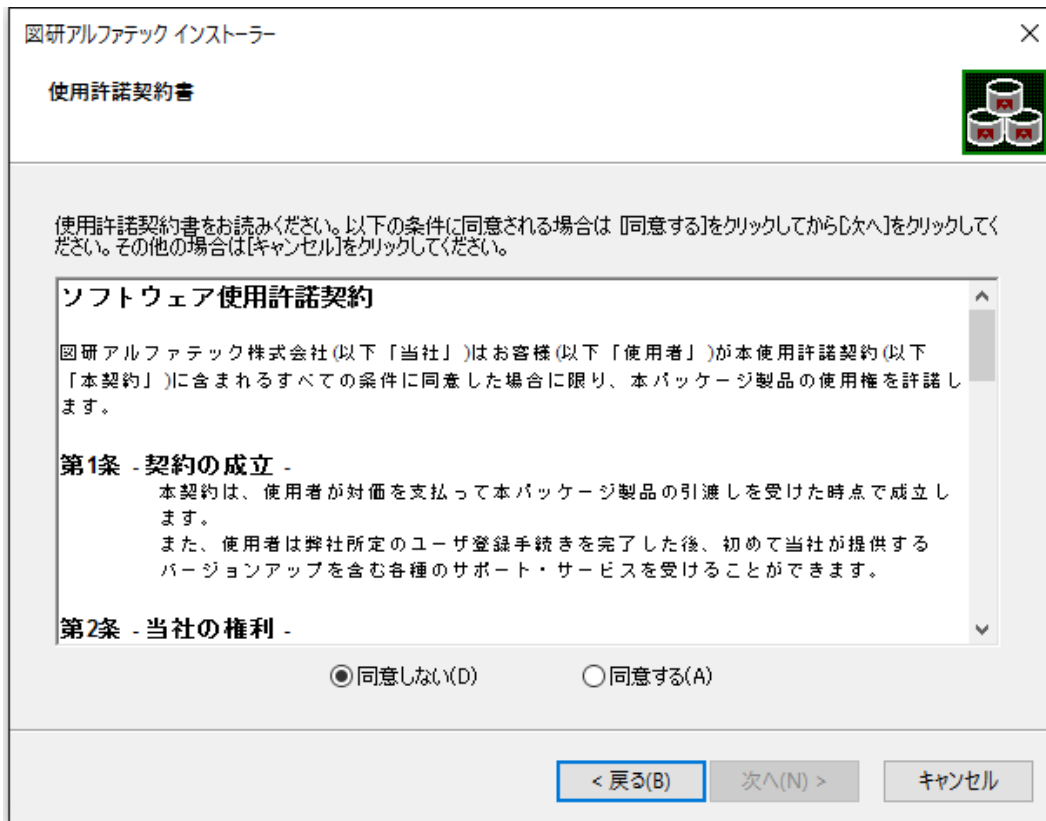
1. インストーラー (ISO ファイル) をマウントし、仮想ディスクから Setup.exe をダブルクリックして起動してください。



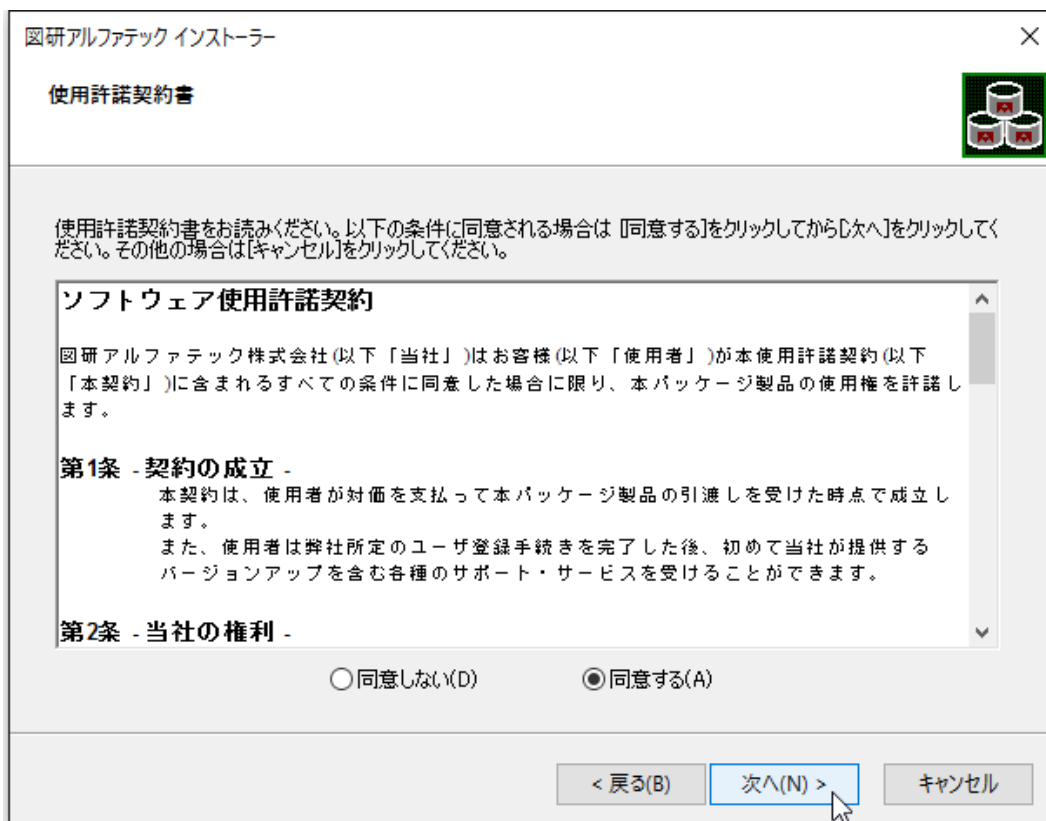
2. クライアントインストーラーのウィザードが表示します。[次へ] をクリックします。

3. 使用許諾契約書が表示されます。

図研アルファテック製品をご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。

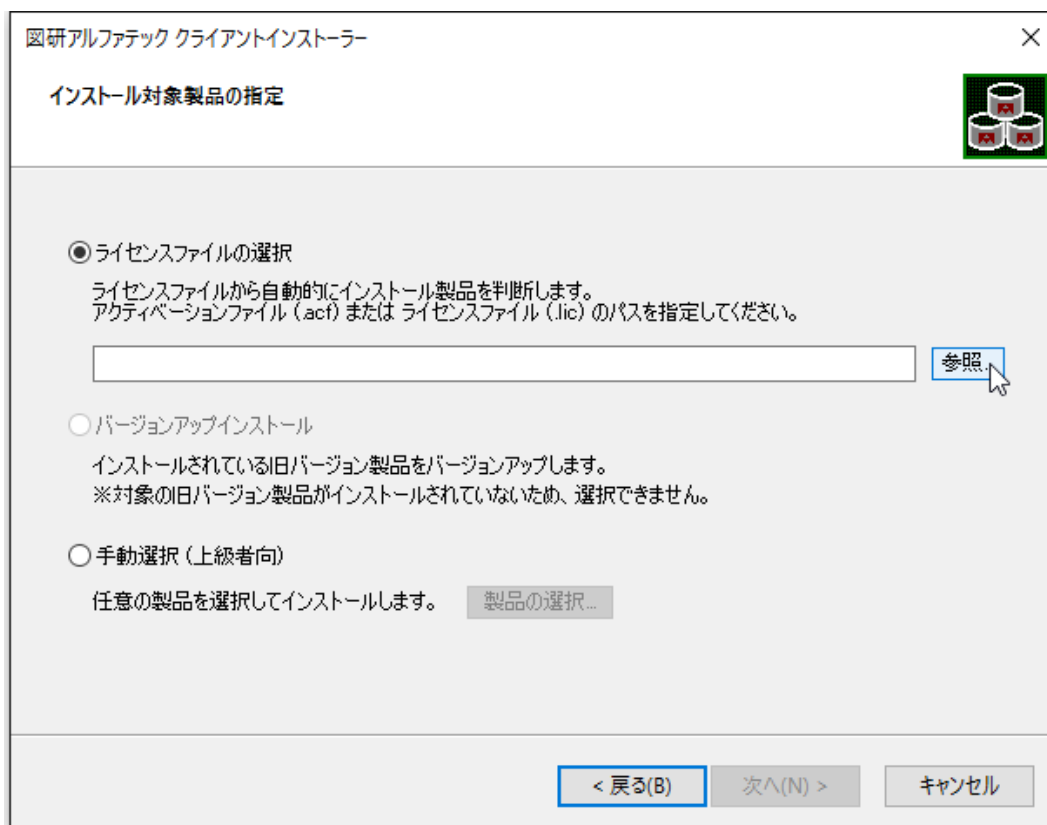


4. すべての条項に同意いただける場合は [同意する (A)] を選択します。[次へ] をクリックします。

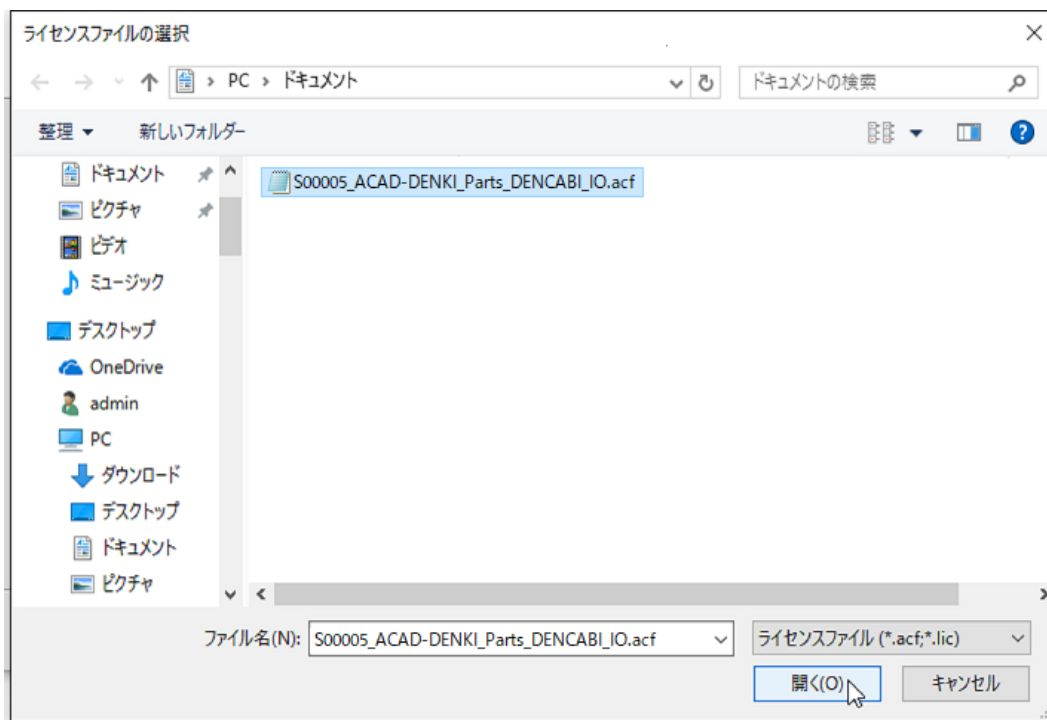


使用許諾契約書に同意されない場合は [キャンセル] をクリックし終了してください。

5. インストール製品の指定が表示されます。「ライセンスファイルの選択」を選択し、[参照] をクリックします。

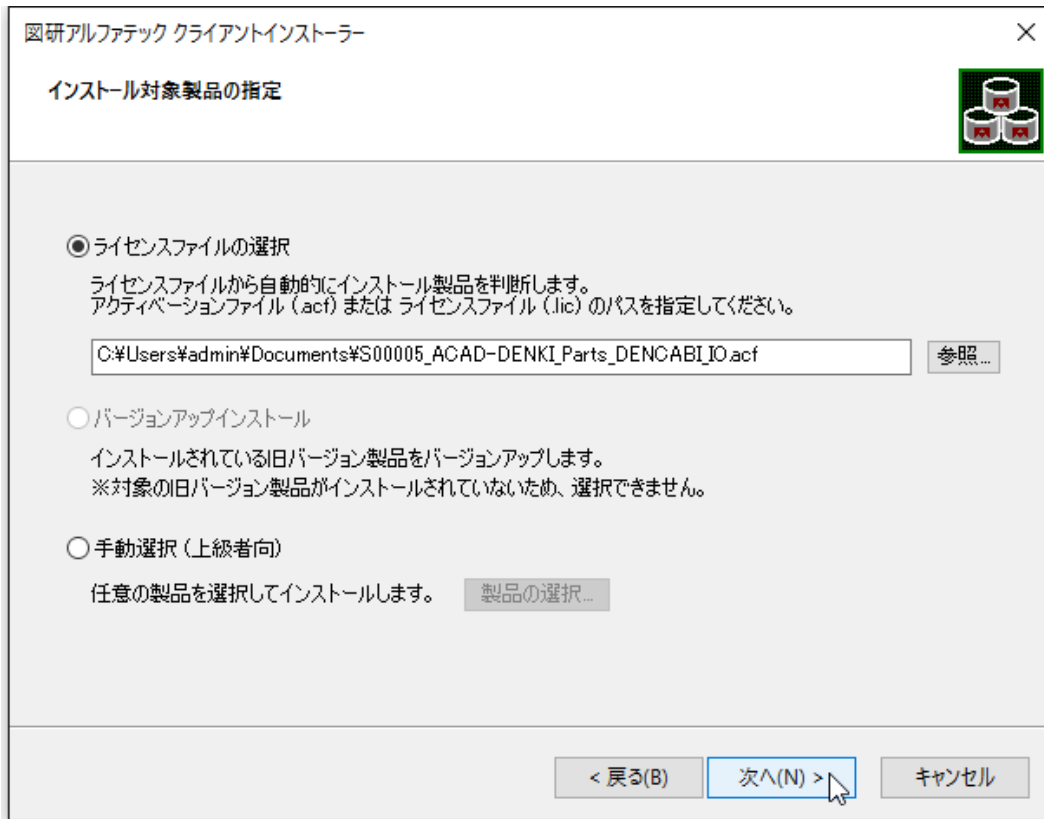


6. ライセンスファイルを選択し、[開く] をクリックします。
本例ではスタンドアロン版の *.acf ファイルを選択しています。



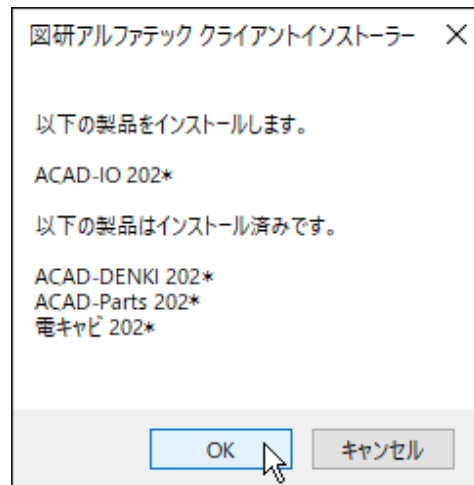
ネットワーク版の場合 acf ファイルはありません。サーバー構成後にインストール先 (C:\Program Files\Alfatech\AlfatechRLM) に作成されます「RLM_NW_license.lic」をコピーして選択してください。
ネットワーク版 (*.lic) ライセンスファイルが指定された場合は、Reprise オプション (貸出し / 借用機能) も同時にインストールされます。

7. [次へ] をクリックします。



8. インストール対象製品が表示されます。既にインストール済みの製品はインストールされません。インストールされていない製品のみがインストール製品として表示されます。

[OK] をクリックします。



9. インストールが実行されます。 [完了] をクリックします。



インストールが終了します。

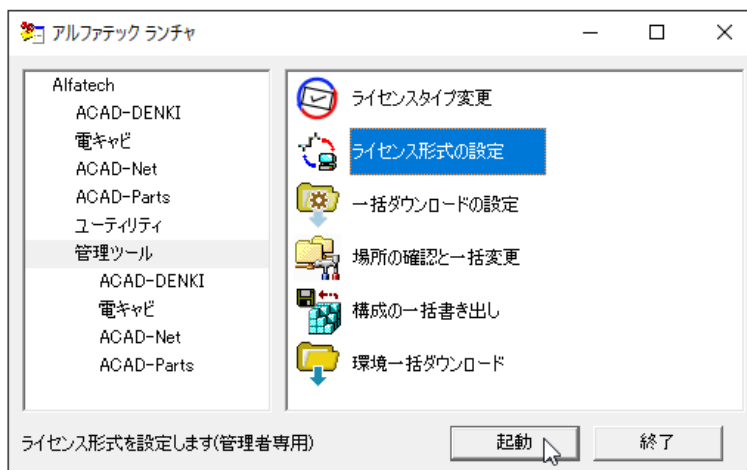
3. ライセンス形式の設定の更新 / スタンドアロン版

製品のアクティベートバージョンの更新を行うために、ライセンス形式の設定を表示します。

1. スタートアイコンから、[A] の「Alfatech」 - 「アルファテックランチャー」をクリックします。

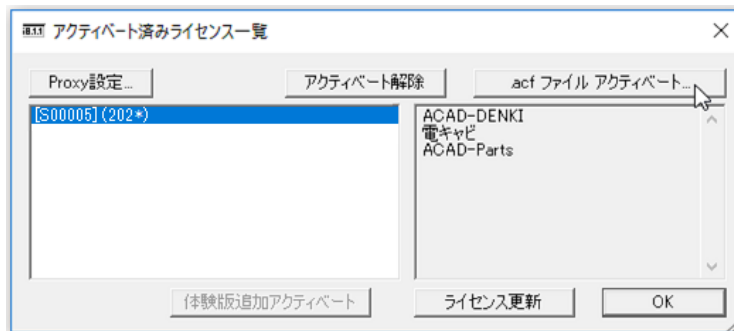
2. アルファテックランチャーが表示されます。

「管理ツール」の「ライセンス形式の設定」を選択し、[起動] をクリックします。

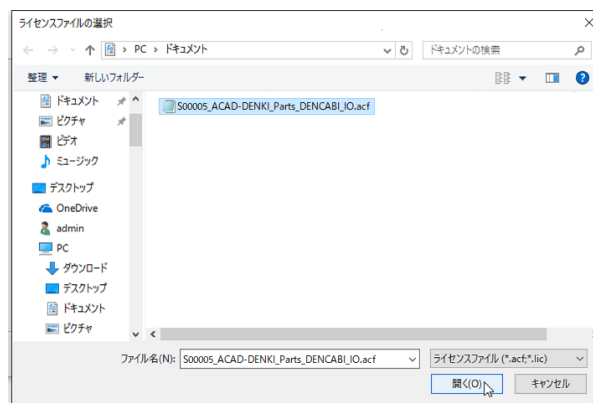


3. アクティベート済みライセンス一覧が表示されます。左ペインで更新する「シリアル番号 (バー

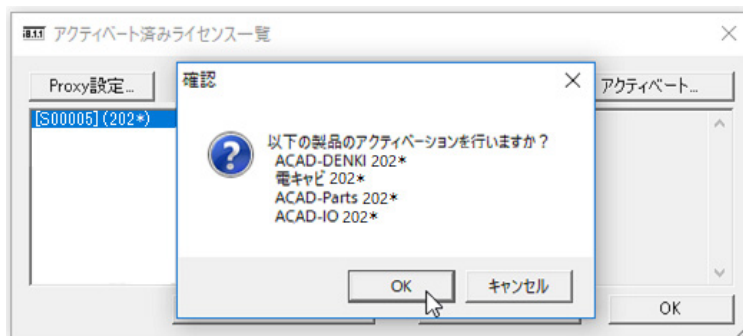
ジョン)」を選択し、現在のアクティベート情報を確認します。[.acf ファイルアクティベート] をクリックします。



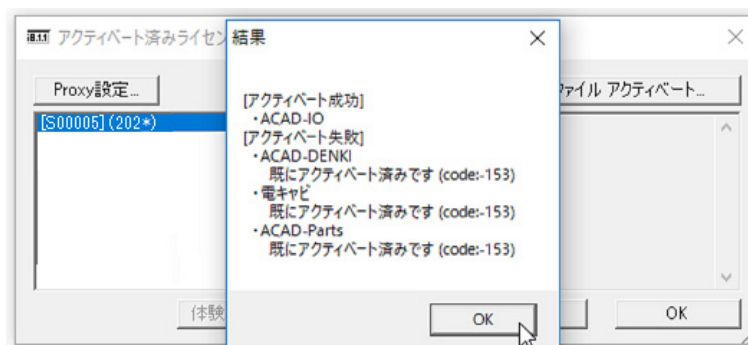
4. ファイルを選択ダイアログが表示されます。新しく製品が追加されたライセンスファイルを選択し、[開く] をクリックします。



5. 確認のダイアログが表示されます。[OK] をクリックします。

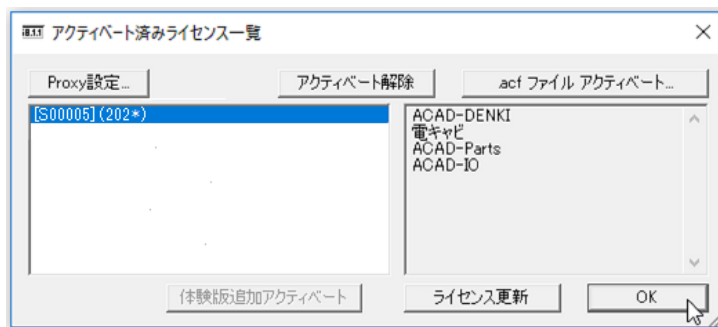


6. 新しく追加された製品のみアクティベートが実施されます。[OK] をクリックします。



7. アクティベート済みライセンス一覧の左パインのシリアル番号（バージョン）を選択し、アクティ

べートされた製品を確認します。[OK] をクリックします。



4. ライセンス形式の設定の更新 / ネットワーク版（サーバー設定）

図研アルファテック製品のネットワーク版のサーバー設定を変更する必要はありません。

サーバーの変更があった場合、ライセンス形式の設定にてサーバー名 / ポート番号の変更を行ってください。

4. 上級者向けインストール

インストール製品を自動判別せずに、任意に選択してインストールすることも可能です。

インストール製品が明確で、且つ、お手元にライセンスファイル等が無い場合などにご使用いただくインストール方法です。

また、ネットワーク版インストール時にサーバーの構成より先にクライアントにインストール作業を行われる場合も手動選択にて使用製品を選択してインストールを行ってください。

既にインストール済みの製品をインストールすることはできません。また、ACAD-DENKI の以下の機能のインストールを行うことはできません。

ACAD-DENKI：管理者ツール

再度、インストーラーを起動し、インストール対象製品の指定画面で「手動選択」の [製品の選択] から「管理者ツール」を選択し、実行します。

電キャビで使用するマイデータベースを単体選択することはできません。マイデータベースのみをインストールしたい場合は、インストールメディア内にある「¥MISC¥MYDB¥MSDESetup.exe」を実行します。

1. インストール製品の選択

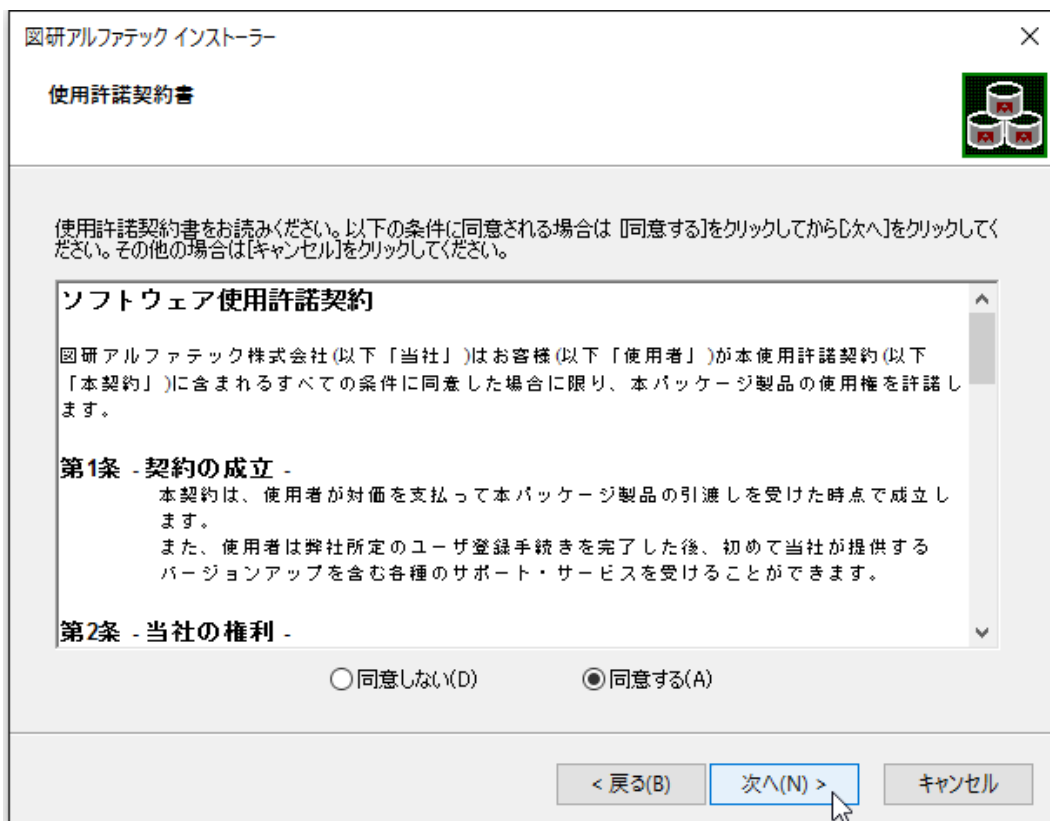
1. インストーラー (ISO ファイル) をマウントし、仮想ディスクから Setup.exe をダブルクリックして起動してください。

2. クライアントインストーラーのウィザードが表示します。[次へ] をクリックします。

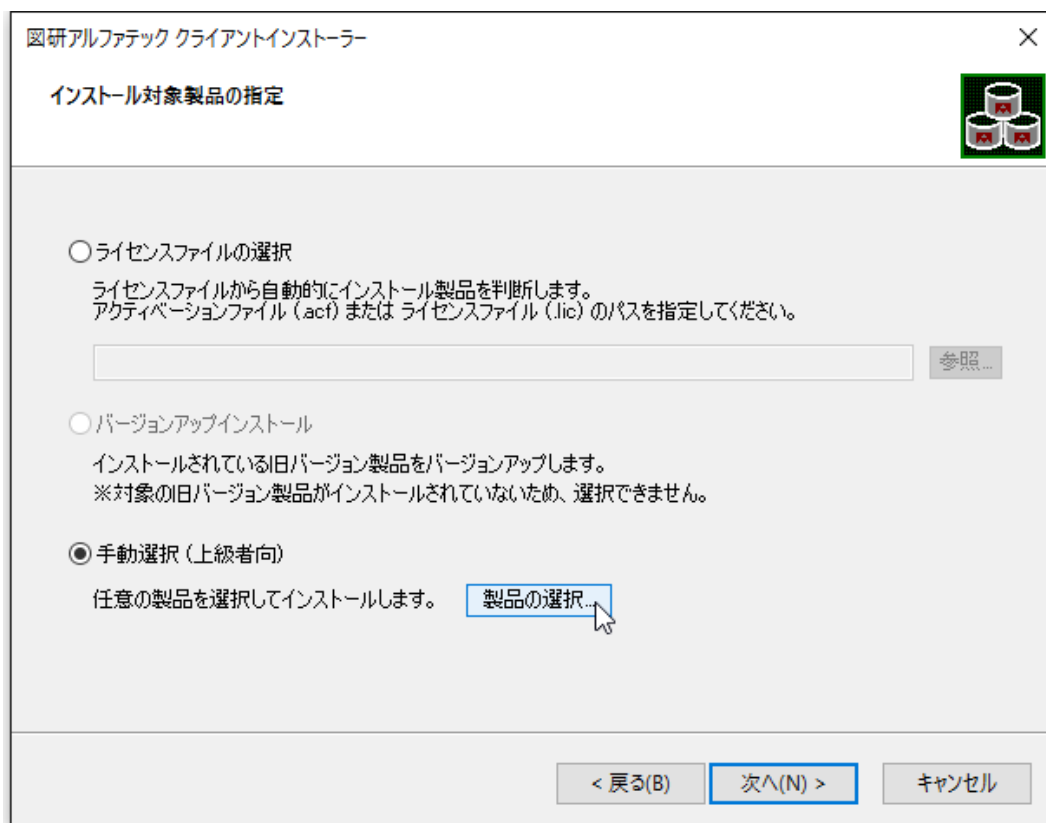
3. 使用許諾契約書が表示されます。

図研アルファテック製品をご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。

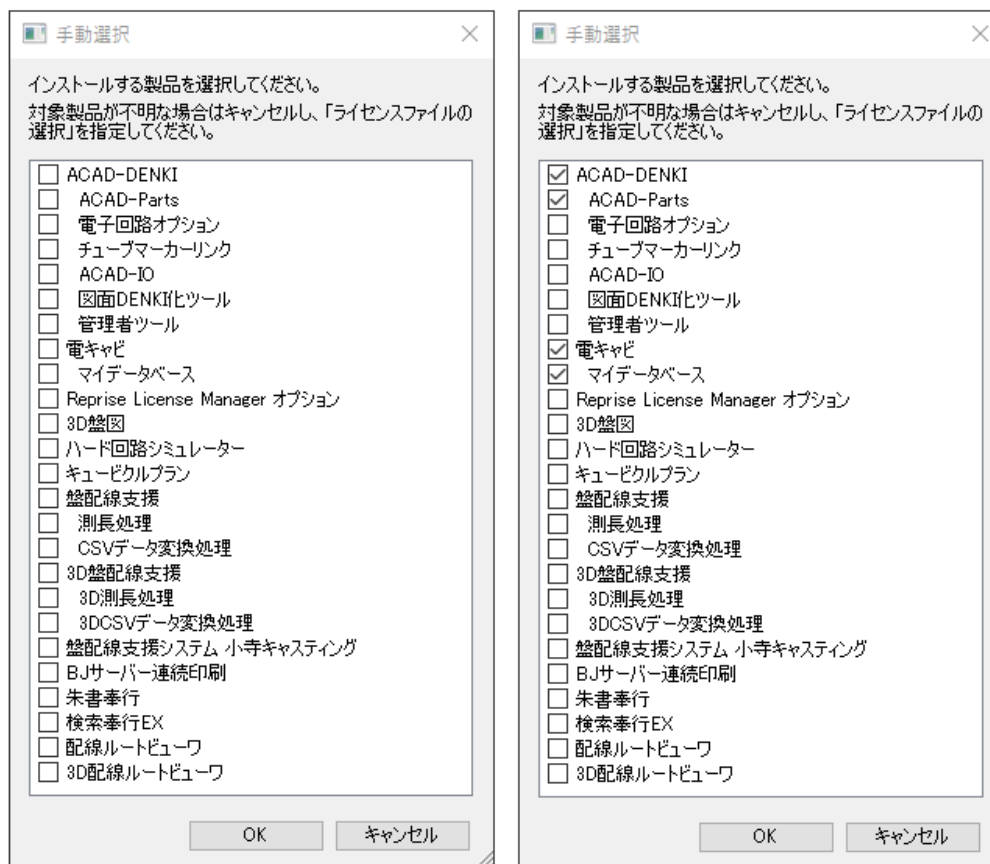
4. すべての条項に同意いただける場合は [同意する(A)] を選択します。[次へ] をクリックします。



5. インストール製品の指定が表示されます。「手動選択（上級者向）」を選択し、[製品の選択] ボタンをクリックします。

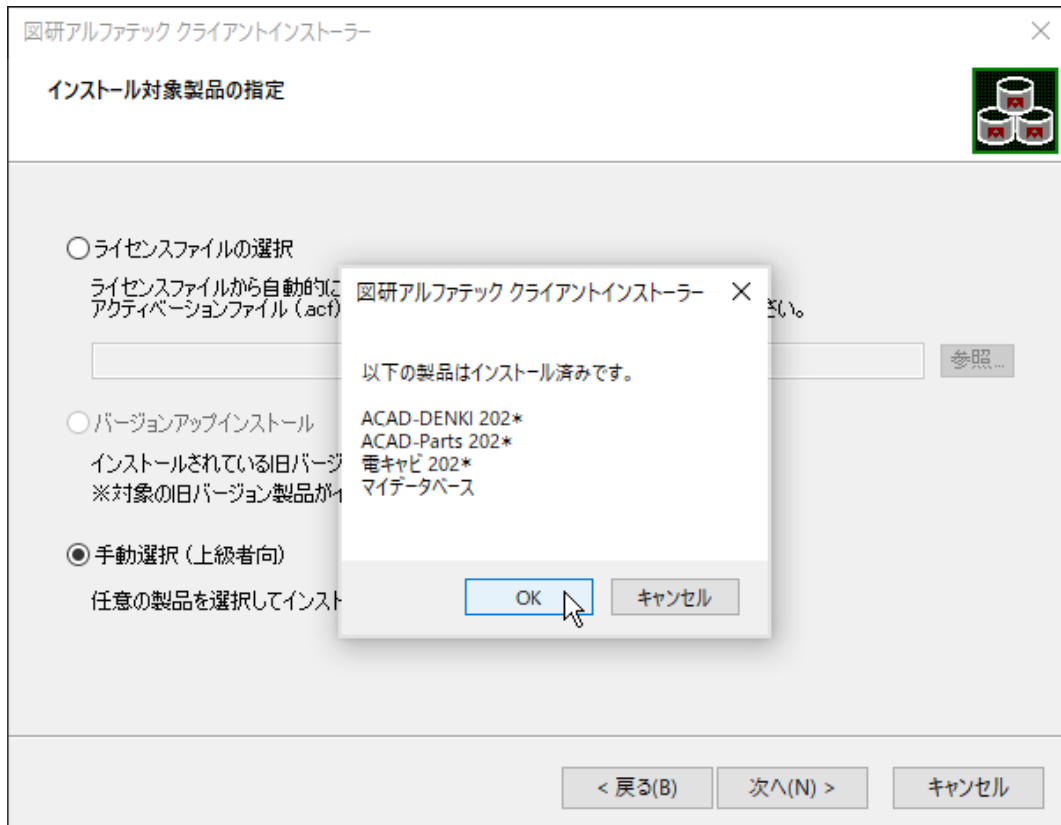


6. 手動選択が表示されます。インストール製品にチェックを入力します。[OK] をクリックします。



7. [次へ] をクリックします。

8. インストール製品の確認が表示されます。[OK] をクリックしてインストールを進めます。



9. インストールが実行されます。[完了] をクリックします。



インストールが終了します。前章を参考にライセンスのアクティベートを実行してください。
ネットワーク版をご使用の場合、前章の「ライセンスタイプの変更」「ライセンス形式の変更」を先に行ってください。

5. ライセンスタイプの変更と設定

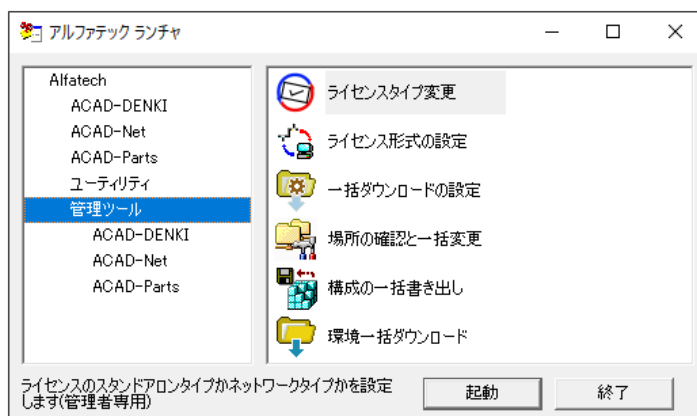
ライセンス形式の設定はデフォルトで「スタンドアロン版」のアクティベートを実施する画面が表示します。「ネットワーク版」のライセンス形式を設定するためには切替が必要です。

また、製品ライセンス形式変更の為にスタンドアロン版 / ネットワーク版を変更する場合もライセンスタイプの変更を行った上で、形式の設定の表示を切り替えアクティベートを行う必要があります。

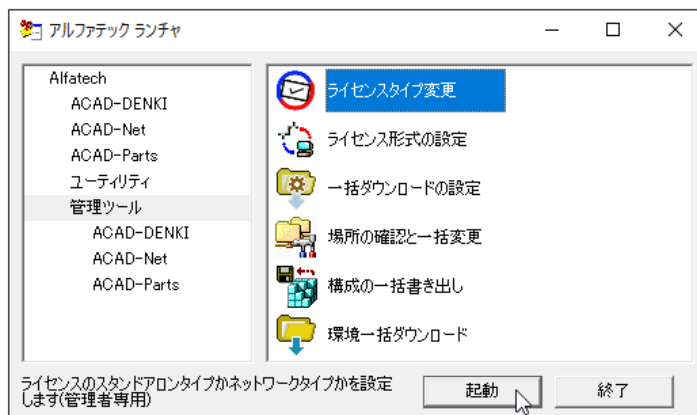
ライセンスタイプの変更、ライセンス形式の設定ともに変更には管理者権限が必要です。

1. ライセンスタイプの変更とライセンス形式の設定

1. スタートアイコンをクリックし、「すべてのアプリ」から、[A]の「Alfatech」 - 「アルファテックランチャー」をクリックします。アルファテックランチャーが表示されます。

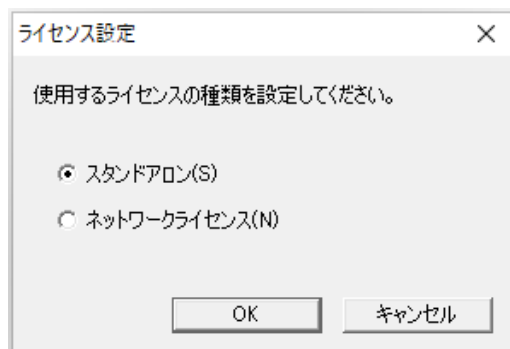


2. 「管理ツール」の「ライセンスタイプ変更」を選択し、[起動]します。



3. ライセンス設定が表示します。

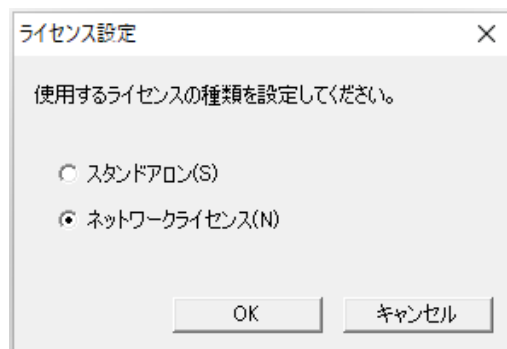
スタンドアロン設定



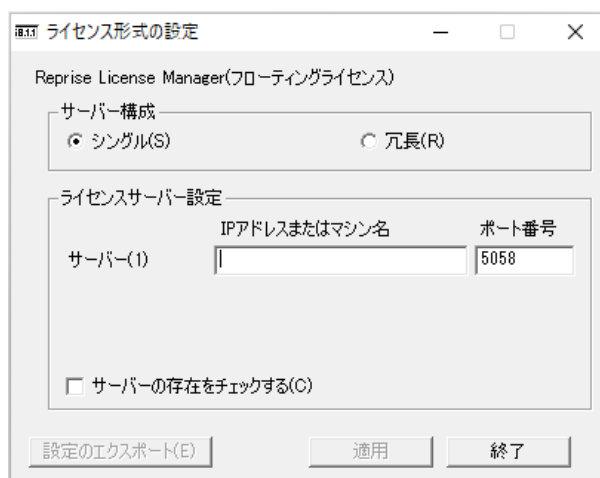
スタンドアロン「ライセンス形式の設定」画面



ネットワークライセンス設定



ネットワーク「ライセンス形式の設定」画面



クライアントでご使用のライセンスタイプに応じて、ライセンスタイプの変更とライセンス形式の設定を行ってください。

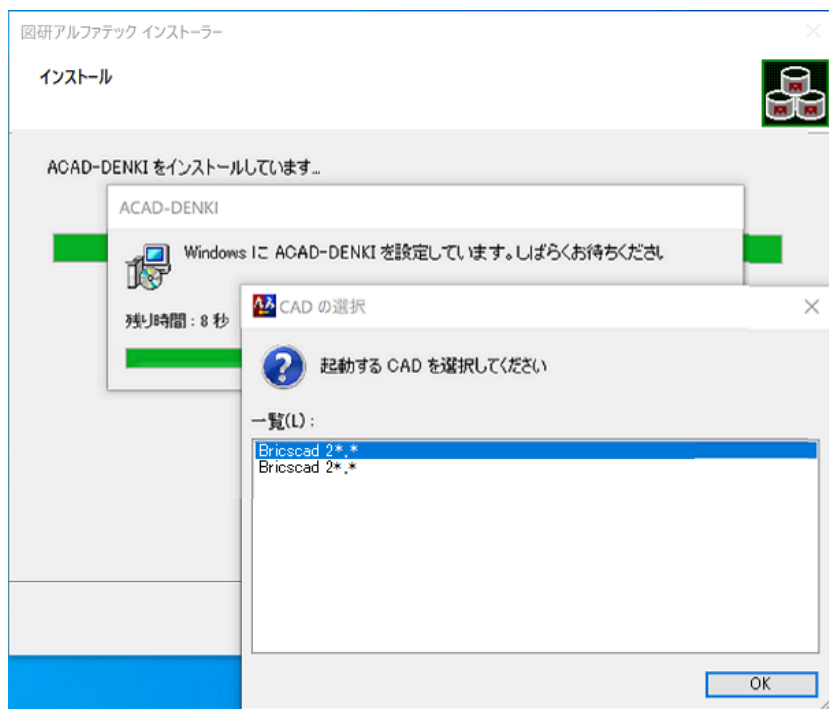
スタンドアロンからネットワーク版に変更する場合、アクティベートを行っている PC では先にアクティベート解除を行ってください。

6.CAD の選択

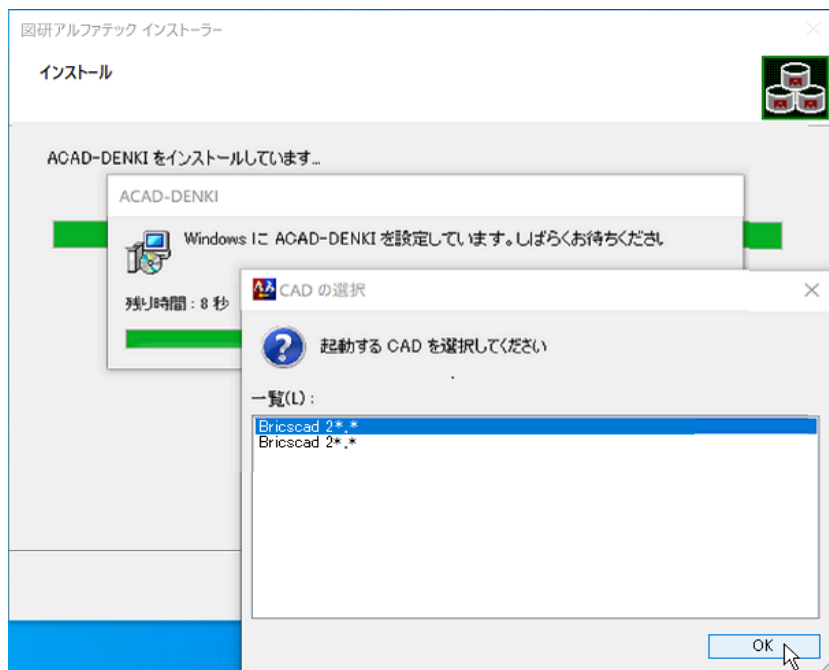
インストール対象 PC にベース CAD が複数インストールされていると「CAD の選択」が表示されます。その場合、下記の手順で CAD の選択を行ってください。

1. CAD の選択

1. インストール製品選択後のインストール実行中に「CAD の選択」が表示されます。



2. 使用する CAD を選択し、[OK] をクリックします。

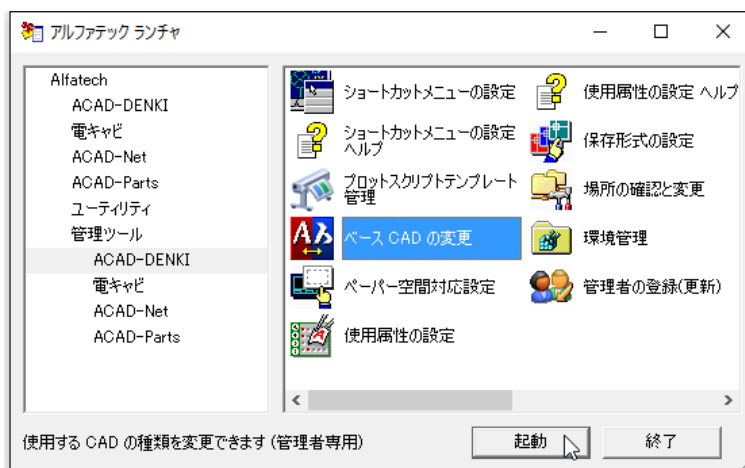


3. 確認のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。インストールが継続されます。

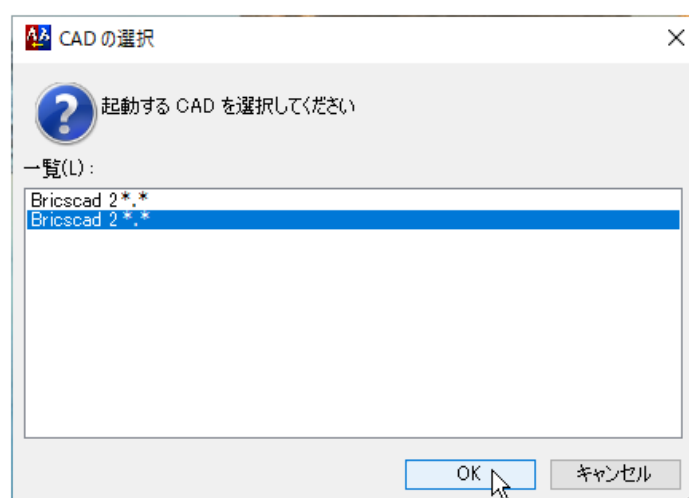
2. インストール後に CAD を選択する

インストール後にベース CAD を変更する方法について説明します。

1. スタートアイコンから、[A] の「Alfatech」 - 「アルファテックランチャー」 をクリックします。
2. アルファテックランチャーが表示されます。「管理ツール」以下の CAD を選択する製品名を選択します。本例では ACAD-DENKI を選択しています。
3. 右ペインでベース CAD の変更を選択します。



4. 選択した製品で使用する CAD を選択し [OK] をクリックします。



5. 確認のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。CAD の選択が終了します。

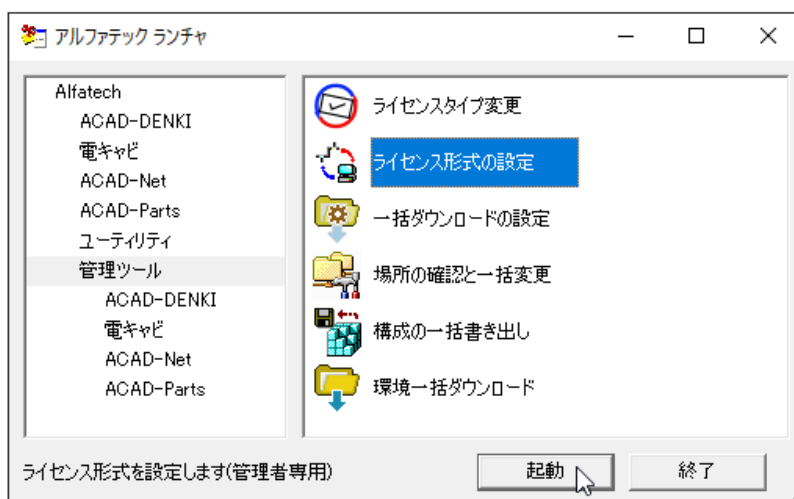
7.製品のアンインストール

図研アルファテック製品のアンインストールの手順について説明します。

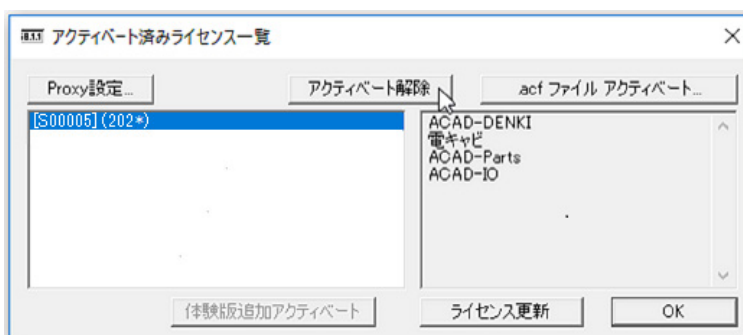
1. ライセンスアクティベート解除 / スタンドアロン版

製品のアクティベートを解除します。解除を行わないと他のPCでのアクティベートができません。そのため、製品をアンインストールする前にアクティベート解除を行います。

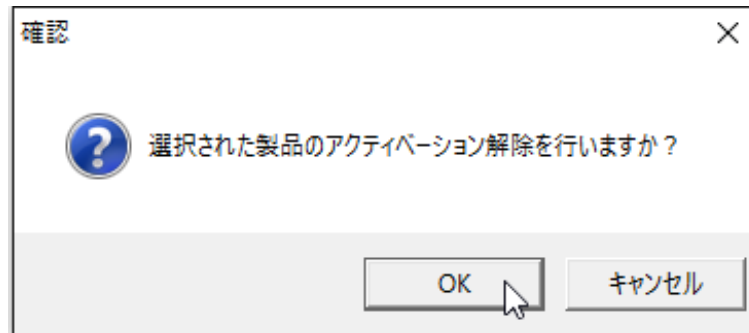
1. スタートアイコンから、[A]の「Alfatech」 - 「アルファテックランチャー」をクリックします。
2. アルファテックランチャーが表示されます。「管理ツール」の「ライセンス形式の設定」を選択し、[起動]をクリックします。



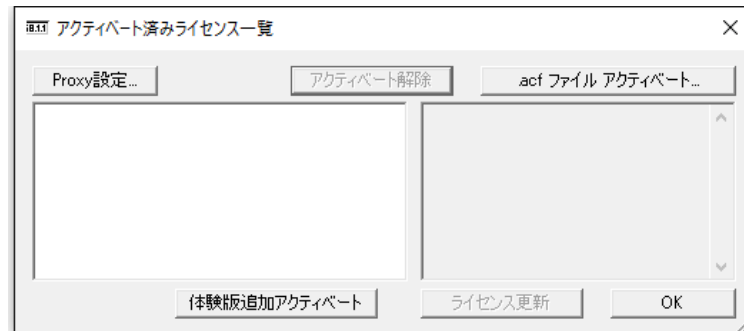
3. アクティベート済みライセンス一覧が表示されます。左ペインで「シリアル番号 (バージョン)」を選択し、[アクティベート解除]をクリックします。



4. メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



5. アクティベート解除が実行されます。[OK] をクリックします。



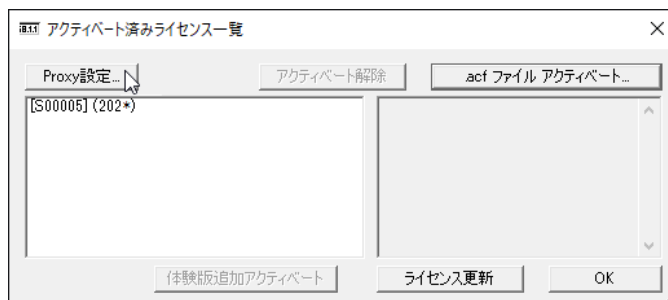
2. アクティベート解除 / プロキシ設定

web 接続にプロキシ設定を行われている場合、アクティベート解除時にもプロキシ設定を行ってください。

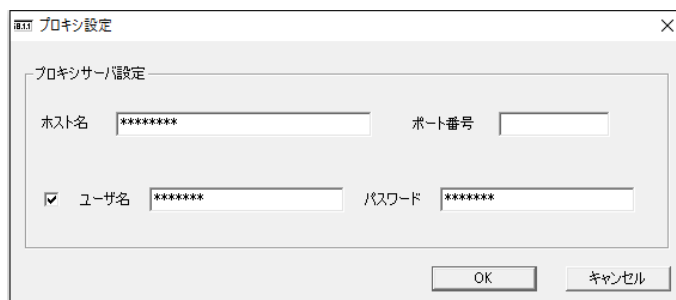
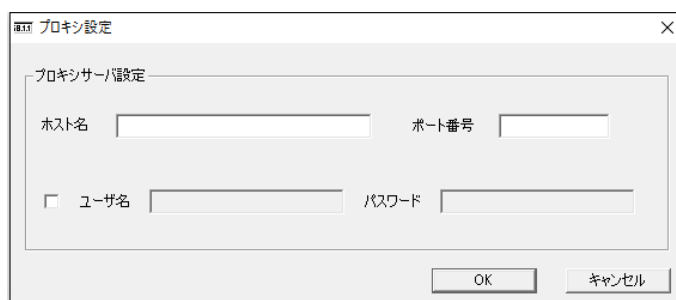
プロキシ設定をされているか不明な場合でも、アクティベートを実行すると（エラーコード -132）または、（エラーコード -136）等が表示され、アクティベートができない場合、プロキシの設定を行ってください。

プロキシ設定は、各社様ごとの独自設定となります。ソフトウェアによる共通の設定ではございません。御社のシステム、またはネットワーク管理者の方に設定内容のご確認をお願いします。

1. アクティベート済みライセンス一覧にて [Proxy 設定] をクリックします。



2. プロキシ設定ダイアログが表示されます。プロキシサーバー設定を入力し、[OK] をクリックします。



本設定後に、アクティベート解除の操作を実行してください。

プロキシ設定の情報は、アクティベート時に一時的に使用されます。前回値の保持はされませんのでご注意ください。

アクティベート、アクティベート解除を実行する都度、設定が必要となります。

プロキシ設定を行っても（エラーコード -136）等が表示する場合は、web 通信時に HTTP トランザクションでエラーが発生している可能性があります。

このエラーは多くの場合にアクセスする URL が制御されている場合に発生いたします。

以下の図研アルファテックライセンスサーバーサイトの URL に対しましてアクセス許可を与えてください。

<https://www.alfatech.jp/support/Activation/>

3. ライセンス解除 / ネットワーク版

図研アルファテック製品のネットワーク版のクライアント PC では、サーバー設定を変更する必要はありません。

ライセンスの借用などを行っている場合は、返却処理を行ってください。

4. アンインストール

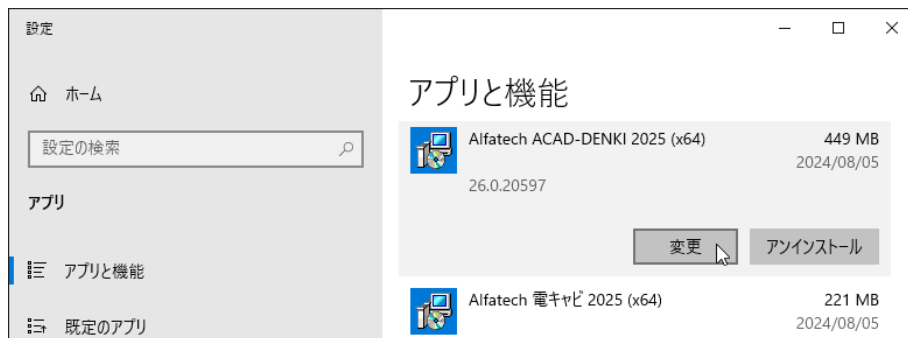
製品のアンインストールは各 OS の「アプリと機能」で行ってください。

図研アルファテック製品のプログラム名はすべて「Alfatech 製品名 2025」のようになっています。

電キャビのマイデータベースはインスタンス名が「LocalDB」となっています。

例「Microsoft SQL Server 2022 Express LocalDB

Windows10 の例 アプリと機能

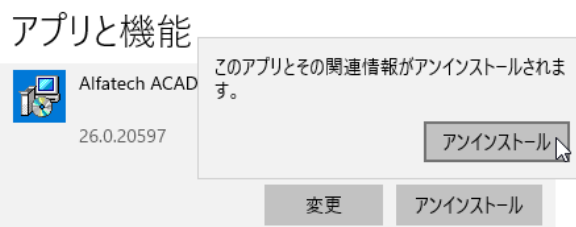


1. アンインストールを行う製品を選択し、[アンインストール] をクリックします。
(本例は Windows10 画面です)

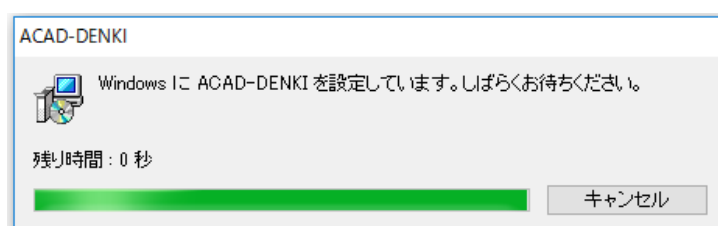
アプリと機能



2. メッセージが表示されます。[アンインストール] をクリックします。

















スプレッドが表示します。表示が消えればアンインストールの終了です。



5. プログラム名一覧

インストール製品のプログラム一覧です。

ご使用製品のバージョンの確認、アンインストール時などの製品名の参考としてください。

名前	発行元
 Alfatech 3D配線ルートビューワ 2025 (x64)	Zuken Alfatech Inc.
 Alfatech 3D盤図 2025 (x64)	Zuken Alfatech Inc.
 Alfatech 3D盤配線支援 2025 (x64)	Zuken Alfatech Inc.
 Alfatech ACAD-DENKI 2025 (x64)	Zuken Alfatech Inc.
 Alfatech BJサーバ-連続印刷 2025 (x64)	Zuken Alfatech Inc.
 Alfatech Reprise License Manager オプション 2025 (x64)	Zuken Alfatech Inc.
 Alfatech キュービクルプラン 2025 (x64)	Zuken Alfatech Inc.
 Alfatech ハード回路シミュレーター 2025 (x64)	Zuken Alfatech Inc.
 Alfatech 検索奉行EX 2025 (x64)	Zuken Alfatech Inc.
 Alfatech 朱書奉行 2025 (x64)	Zuken Alfatech Inc.
 Alfatech 電キャビ 2025 (x64)	Zuken Alfatech Inc.
 Alfatech 配線ルートビューワ 2025 (x64)	Zuken Alfatech Inc.
 Alfatech 盤配線支援 2025 (x64)	Zuken Alfatech Inc.
 Alfatech 盤配線支援システム 小寺キャスティング 2025 (x64)	Zuken Alfatech Inc.

8.製品アイコン一覧

図研アルファテック製品クライアントインストーラーでインストール対象となる製品のデスクトップアイコンの一覧です。

1. 2D 製品デスクトップアイコンと起動（実行）方法

製品名	デスクトップアイコン	起動方法
2D		
ACAD-DENKI		デスクトップアイコンから起動 アルファテックランチャから起動
ACAD-Parts	-	アルファテックランチャから起動 ACAD-DENKI 内メニューで実行
ACAD-IO	-	アルファテックランチャから起動
電子回路オプション	-	ACAD-DENKI 内メニューで実行
チューブマーカリンク	-	ACAD-DENKI 内メニュー ACAD-Net から実行
図面 DENKI 化ツール	-	ACAD-DENKI 内メニューで実行
管理者ツール	インストール後に「プログラムと機能」から追加でインストールします。	アルファテックランチャから起動
Wiring PLAN 2D		デスクトップアイコンから起動 アルファテックランチャから起動
Wiring PLAN 2D 測長処理		デスクトップアイコンから起動 アルファテックランチャから起動
CSV データ変換モジュール 2D		デスクトップアイコンから起動 アルファテックランチャから起動
盤配線支援システム KODERA 電線加エプログラム		デスクトップアイコンから起動 アルファテックランチャから起動
ハード回路シミュレーター	-	ACAD-DENKI 内メニューで実行
キュービクルプラン	-	ACAD-DENKI 内メニューで実行

「管理者ツール」は ACAD-DENKI とそのオプションのメニュー使用の制限を行うオプションです。

2. 3D 製品デスクトップアイコンと起動（実行）方法

製品名	デスクトップアイコン	起動方法
3D		
3D 盤図		デスクトップアイコンから起動 アルファテックランチャから起動
Wiring PLAN 3D		デスクトップアイコンから起動 アルファテックランチャから起動
Wiring PLAN 3D 測長処理		デスクトップアイコンから起動 アルファテックランチャから起動
CSV データ変換モジュール 3D		デスクトップアイコンから起動 アルファテックランチャから起動

3D 盤図は、他製品が同じ環境にインストールされている場合、後からインストールを行うとデスクトップアイコンが作成されません。

先にインストールされた製品を起動後に、メニューから実行してください。

3. その他製品デスクトップアイコンと起動（実行）方法

製品名	デスクトップアイコン	起動方法
その他		
BJ サーバ連続印刷 クライアント		デスクトップアイコンから起動 アルファテックランチャから起動
BJ サーバ連続印刷 サーバ設定用		デスクトップアイコンから起動 アルファテックランチャから起動
朱書奉行 フォルダ（物件）間比較		デスクトップアイコンから起動 アルファテックランチャから起動
朱書奉行 ファイル（図面）間比較		デスクトップアイコンから起動 アルファテックランチャから起動
検索奉行 EX		デスクトップアイコンから起動 アルファテックランチャから起動
検索奉行 EX サーバ設定用 ・インデックスの設定 ・インデックスの新規作成 ・インデックスの更新・最適化	-	スタートメニューから起動
ACAD-KIKAI		デスクトップアイコンから起動 アルファテックランチャから起動

<< このページは白紙です。 >>

3. サーバー製品インストール

下記製品をサーバー PC にインストールする場合について説明します。

- ・ 図研アルファテック Reprise ライセンス管理サービス
(ライセンス形式ネットワーク版のみ)
- ・ 電キャビ、ACAD-Parts のデータベース
- ・ 検索奉行 EX サーバー設定用アプリケーション
- ・ BJ サーバー連続印刷 サーバー設定用アプリケーション

準備するもの：

図研アルファテック製品サーバー用インストーラー

ネットワーク版ご使用の場合は、対象製品のライセンスファイル

1.サーバーへのインストール製品と設定

サーバー用のインストールメディアでは、Reprise ライセンス管理サービス、電キャビ・ACAD-Parts 用データベース（構築）、検索奉行 EX 用のサーバー設定、BJ 連続印刷用のサーバー設定をインストールすることができます。

1. インストール対象 PC の動作環境

インストール対象 PC の動作環境（参照：[1. 概要の 1. インストール製品についての 5. 一元管理における動作環境](#)）、必要なインストーラーが揃っておりますか、前章のチェックシートなどを使用して確認してください。

インストール対象 PC に Administrator、または管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。使用中のアプリケーション、プログラムをすべて終了させてください。また、ウィルスチェックプログラムなどの常駐プログラムが稼働している場合は、一時的に終了していただくことを推奨いたします。

2. インストール製品の確認

以下の製品がサーバーへのインストール対象製品となります。

- 電キャビ、ACAD-Parts 用データベース

電キャビの一元管理、または ACAD-Parts の部品マスタの一元管理をされる場合に、共有データベースとしてインストールします。

- 電キャビ、ACAD-Parts 用データベース（既存データベースに構築）

インストール対象 PC にインストールされている SQL Server をデータベースとしてご試用される場合に、電キャビ、ACAD-Parts 用のテーブル等の構築だけを行います。

- アルファテック Reprise ライセンス管理サービス

図研アルファテック製品のネットワークライセンスを管理するための、プログラムをインストールしサービスを作成します。

- 検索奉行 EX（サーバー設定用）図研アルファテックのサーバー用製品

検索奉行 EX をご購入された場合、サーバー設定用のプログラムのインストールが必要です。

- BJ サーバー連続印刷（サーバー設定用）図研アルファテックのサーバー用製品

BJ サーバー連続印刷をご購入された場合、サーバー設定用のプログラムのインストールが必要です。

いずれもクライアントインストールを実施する前にインストールし設定の構築をされることをお勧めいたします。

3. Windows ファイアウォール

電キャビ、ACAD-Parts の共有データベース用の「SQL Server」インストール後、またアルファテック Reprise ライセンス管理サービスでは Windows 上でサービス（TCP/IP プロトコル使用）を開始します。その為、インストールした Windows の OS 上で「Windows ファイアウォール」が有効な場合、他の端末からは認識することができません。その為、Windows ファイアウォールの設定にて、プログラムまたはポートの例外を追加してください。

2.電キャビ、ACAD-Parts 用データベース

電キャビ、ACAD-Parts 用のデータベースのインストールについて説明します。

新規にデータベースをインストールし構築する場合(通常の場合)、「電キャビ、ACAD-Parts 用データベース (SQL Server Express)」を選択してインストールします。

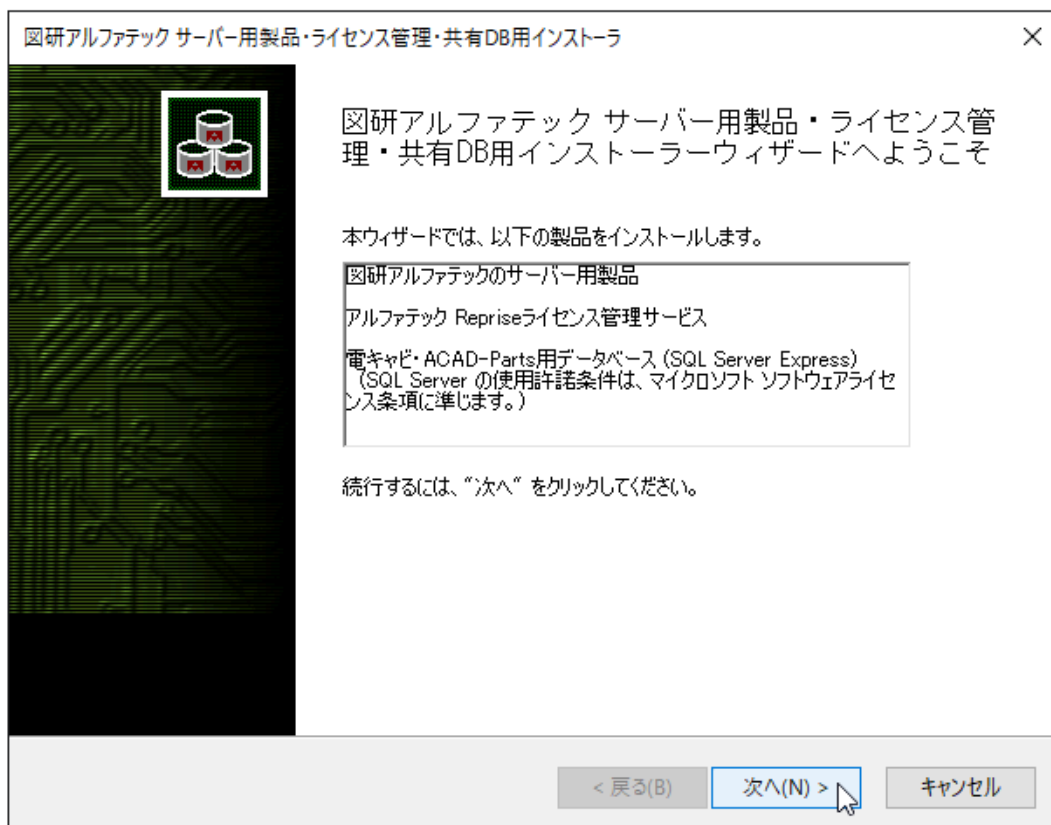
既に対象 PC にインストールされている SQL Server Express を電キャビ、ACAD-Parts 用データベースとして使用されます場合、「電キャビ、ACAD-Parts 用データベース (既存データベースに構築)」を選択してテーブル等の構築だけを行います。

1. SQL Server Express インストールと構築

電キャビ、ACAD-Parts のデータベースエンジンとして、「Microsoft SQL Server 2022 Express」をインストールします。

継続して、データベース用のテーブル”電キャビ用「DENCABI8」と”ACAD-Parts 用「DENKIBOM」が構築されます。

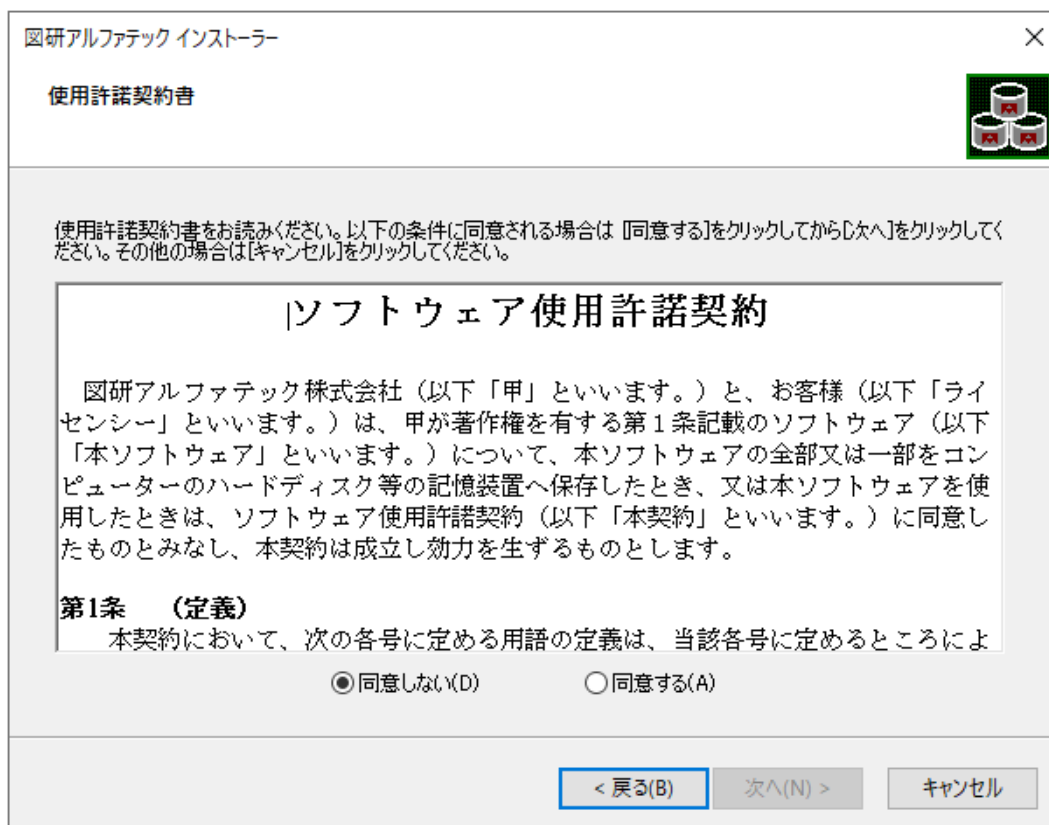
1. インストーラー (MEDIA_S_1041.iso) をマウントし、仮想ディスク内の Setup.exe をダブルクリックして起動してください。



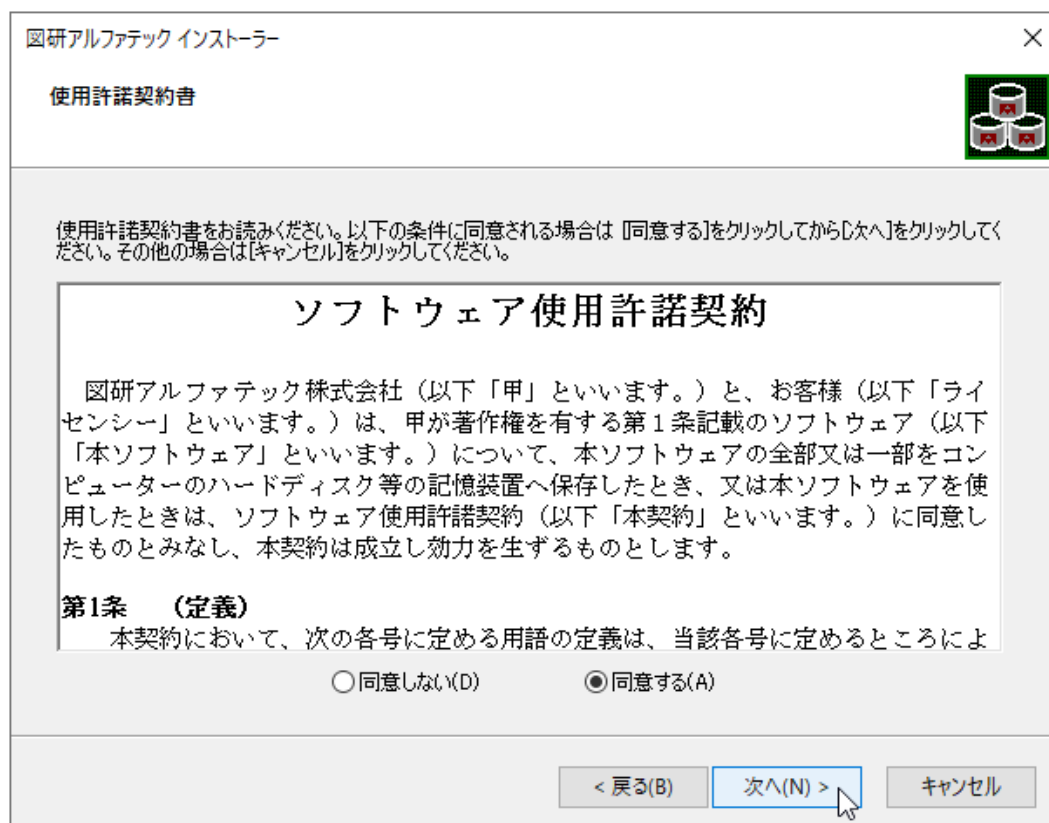
2. [次へ] をクリックします。

3. 使用許諾契約書が表示されます。

図研アルファテック製品をご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。

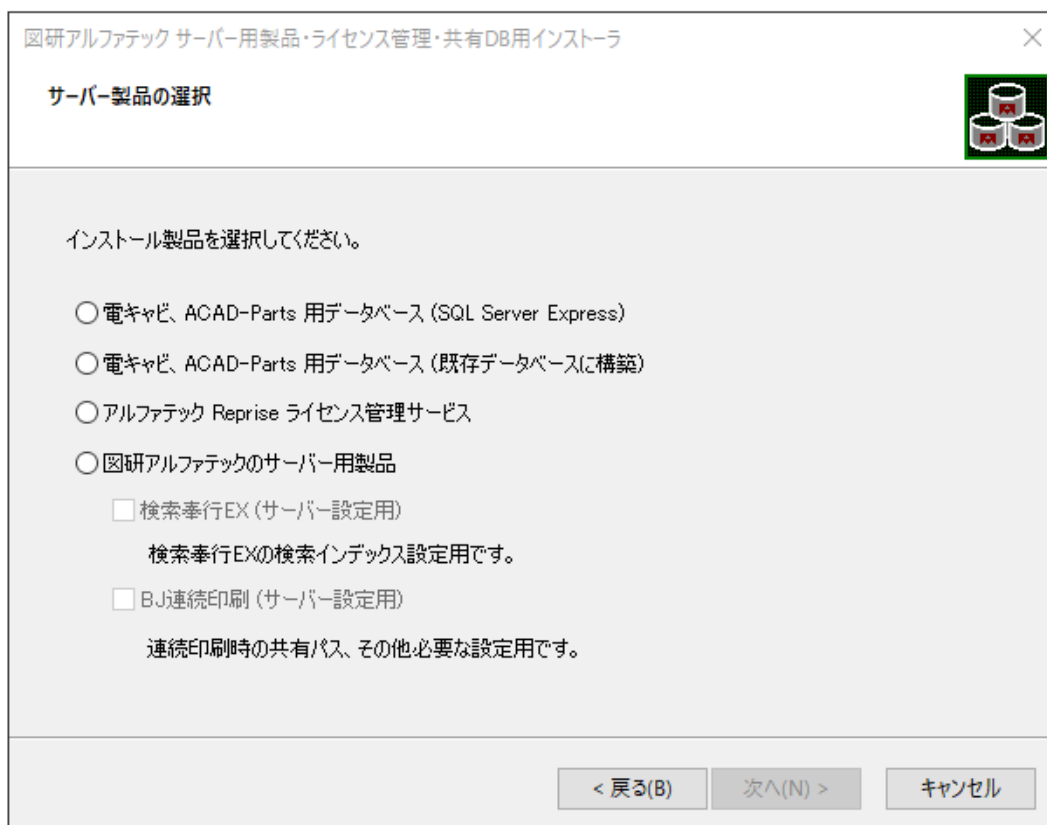


4. すべての条項に同意いただける場合は [同意する(A)] を選択します。[次へ] をクリックします。

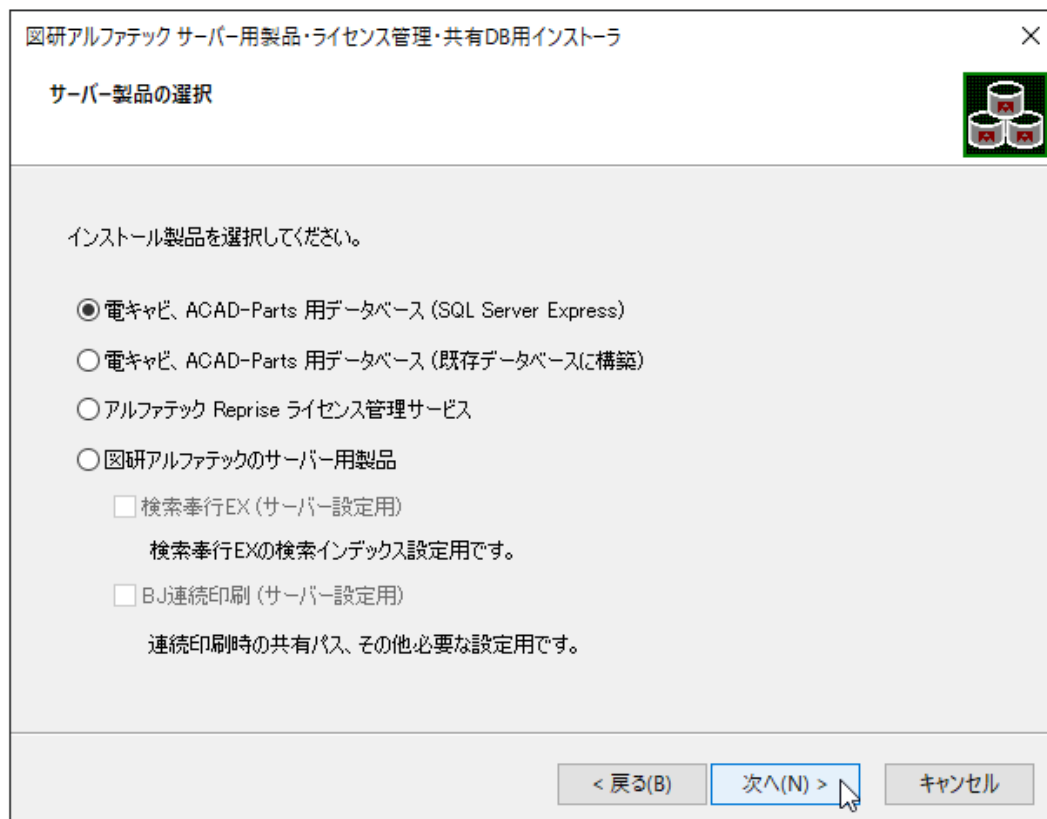


使用許諾契約書に同意されない場合は [キャンセル] をクリックし終了してください。

5. インストール製品の指定が表示されます。一番上の「電キャビ、ACAD-Parts 用データベース(SQL Server Express)」を選択します。



6. [次へ] をクリックします。



7. サーバー情報が表示されます。

本例では既定のインスタンスを指定しています。

既定のインスタンスを使用したくない場合は、「名前付きインスタンス」を選択し、既定 (MSSQLSERVER) 名以外の任意のインスタンス名を入力してください。

(SQL Server セットアップヘルプからの抜粋)

インスタンス ID には任意の値を指定できますが、特殊文字や予約されたキーワードは使用しないでください。

アンダースコア (_) で始まるインスタンス ID、またはシャープ記号 (#) かドル記号 (\$) を含むインスタンス ID はサポートされていないことに注意してください。

8. SQL Server のシステム管理者 (sa) ユーザのパスワードを設定し、[次へ] をクリックします。
パスワードは、パスワードポリシーの要件を満たしている必要があります。
強度のあるパスワード：アルファベット大文字、小文字、数字を含む 8 文字以上の文字列
例) DENKIDBPassV10

図研アルファテック サーバーストラー

サーバ情報

SQL Server のインスタンス名、および、管理者 (sa) のパスワードを入力してください。

既定のインスタンス(D)

名前付きインスタンス(N) : MSSQLSERVER

パスワードの入力 : ●●●●●●●●

パスワードの確認入力 : ●●●●●●●●

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

9. Microsoft SQL Server 2022 Express のインストールが実行されます。
既定のインスタンスを選択した場合、データベースエンジンの認証モードとして、「混合モード (M) Windows 認証と SQL Server 認証」となります。

図研アルファテック インストーラ

インストール

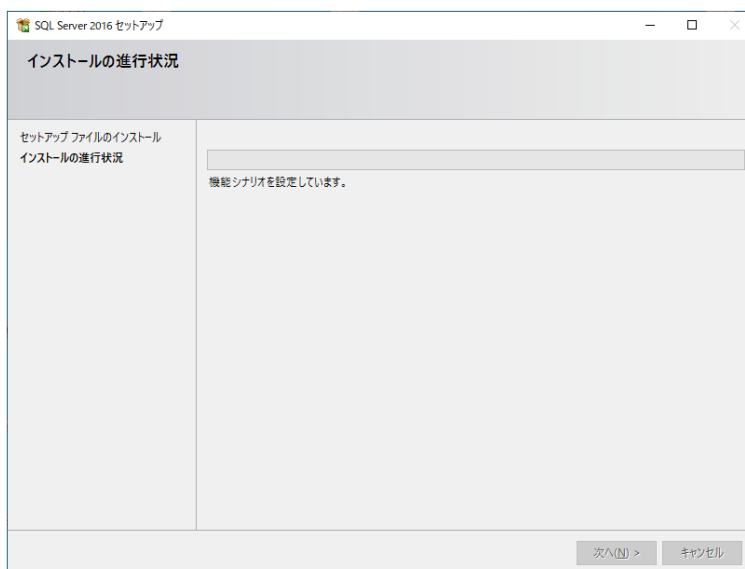
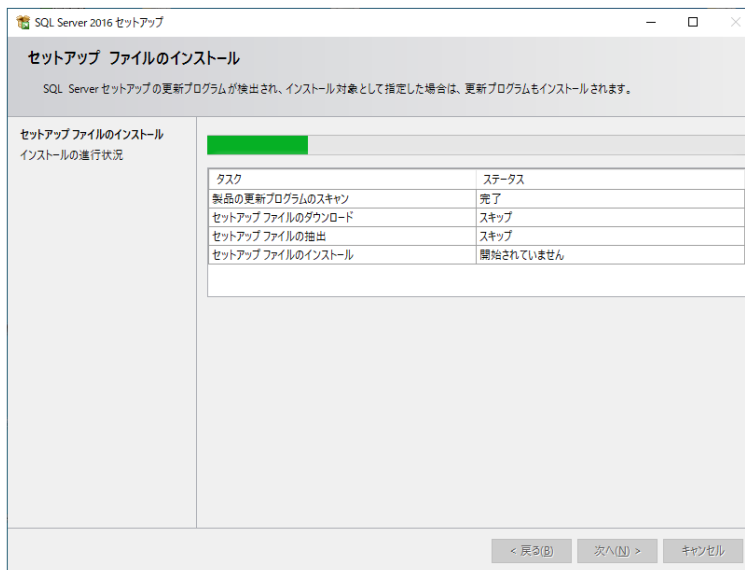
Microsoft SQL Server 2016 Express SP3 をインストールしています...

準備中: C:\Users\denki\Desktop\MEDIA_S_1041\SQLEXP_x64_JPN... \LEYJGOSP.DLL

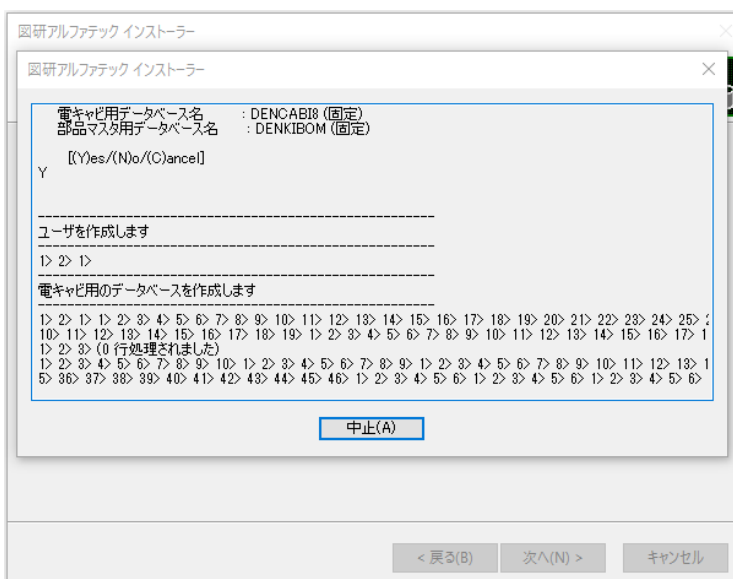
キャンセル

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

インストールが完了するまでそのまま触らずにお待ちください。



継続して、データベース用のテーブル“電キャビ用「DENCABI8」”と“ACAD-Parts用「DENKIBOM」”が構築されます。



10. 完了が表示されます。[完了]をクリックします。



インストールが終了します。

新規インストール / 電キャビ、ACAD-Parts テーブルの作成の終了です。

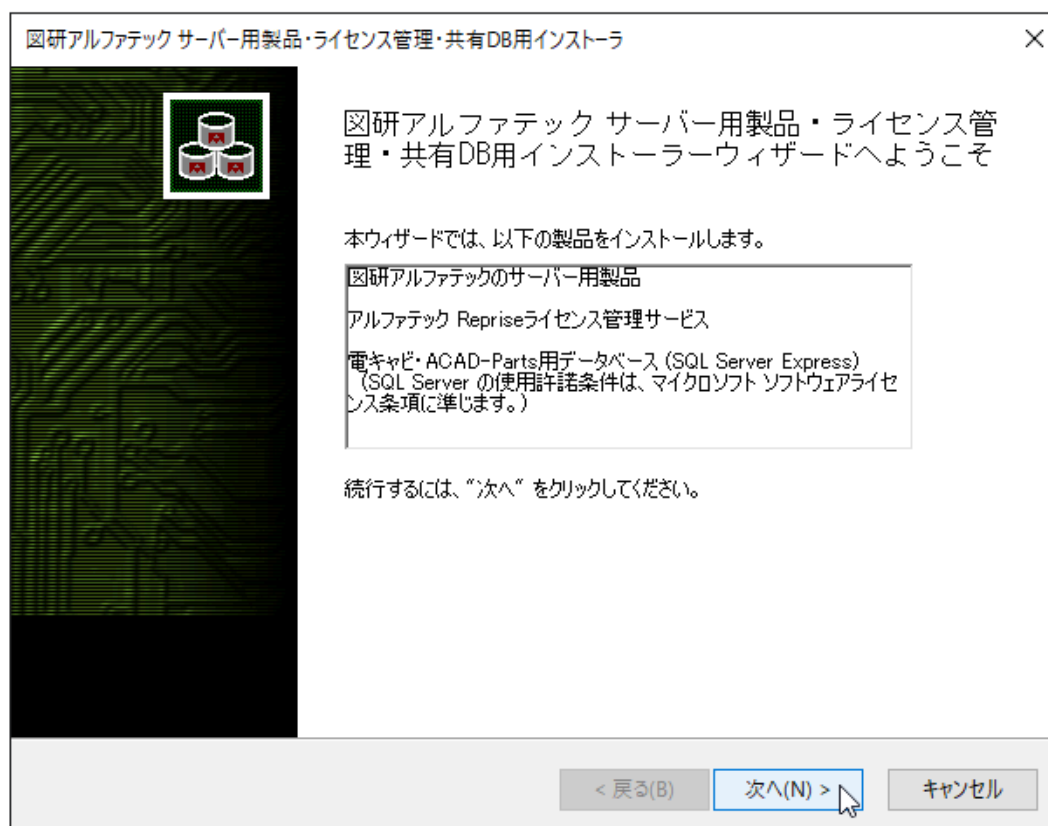
引き続き「3. SQL Server 構成マネージャの設定」を行ってください。

2. 電キャビ、ACAD-Parts 用テーブルの構築

既に SQL Server がインストールされている環境で下記の時、こちらの手順を行います。

- ・インスタンス名が登録された既存のデータベースに、電キャビ、ACAD-Parts のテーブルを構築する
- ※通常の場合は1. 新規インストールにて専用のデータベースのインストール、「電キャビ、ACAD-Parts」専用のインスタンス名を作成してください。

1. インストーラー (MEDIA_S_1041.iso) をマウントし、仮想ディスク内の Setup.exe をダブルクリックして起動してください。



2. [次へ] をクリックします。

3. 使用許諾契約書が表示されます。

図研アルファテック製品をご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。

図研アルファテック インストーラー

使用許諾契約書

使用許諾契約書をお読みください。以下の条件に同意される場合は [同意する] をクリックしてから [次へ] をクリックしてください。その他の場合は [キャンセル] をクリックしてください。

ソフトウェア使用許諾契約

図研アルファテック株式会社（以下「甲」といいます。）と、お客様（以下「ライセンスシー」といいます。）は、甲が著作権を有する第1条記載のソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます。）について、本ソフトウェアの全部又は一部をコンピューターハードディスク等の記憶装置へ保存したとき、又は本ソフトウェアを使用したときは、ソフトウェア使用許諾契約（以下「本契約」といいます。）に同意したものとみなし、本契約は成立し効力を生ずるものとします。

第1条 (定義)
本契約において、次の各号に定める用語の定義は、当該各号に定めるところによ

同意しない(D) 同意する(A)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

4. すべての条項に同意いただける場合は [同意する(A)] を選択します。[次へ] をクリックします。

図研アルファテック インストーラー

使用許諾契約書

使用許諾契約書をお読みください。以下の条件に同意される場合は [同意する] をクリックしてから [次へ] をクリックしてください。その他の場合は [キャンセル] をクリックしてください。

ソフトウェア使用許諾契約

図研アルファテック株式会社（以下「甲」といいます。）と、お客様（以下「ライセンスシー」といいます。）は、甲が著作権を有する第1条記載のソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます。）について、本ソフトウェアの全部又は一部をコンピューターハードディスク等の記憶装置へ保存したとき、又は本ソフトウェアを使用したときは、ソフトウェア使用許諾契約（以下「本契約」といいます。）に同意したものとみなし、本契約は成立し効力を生ずるものとします。

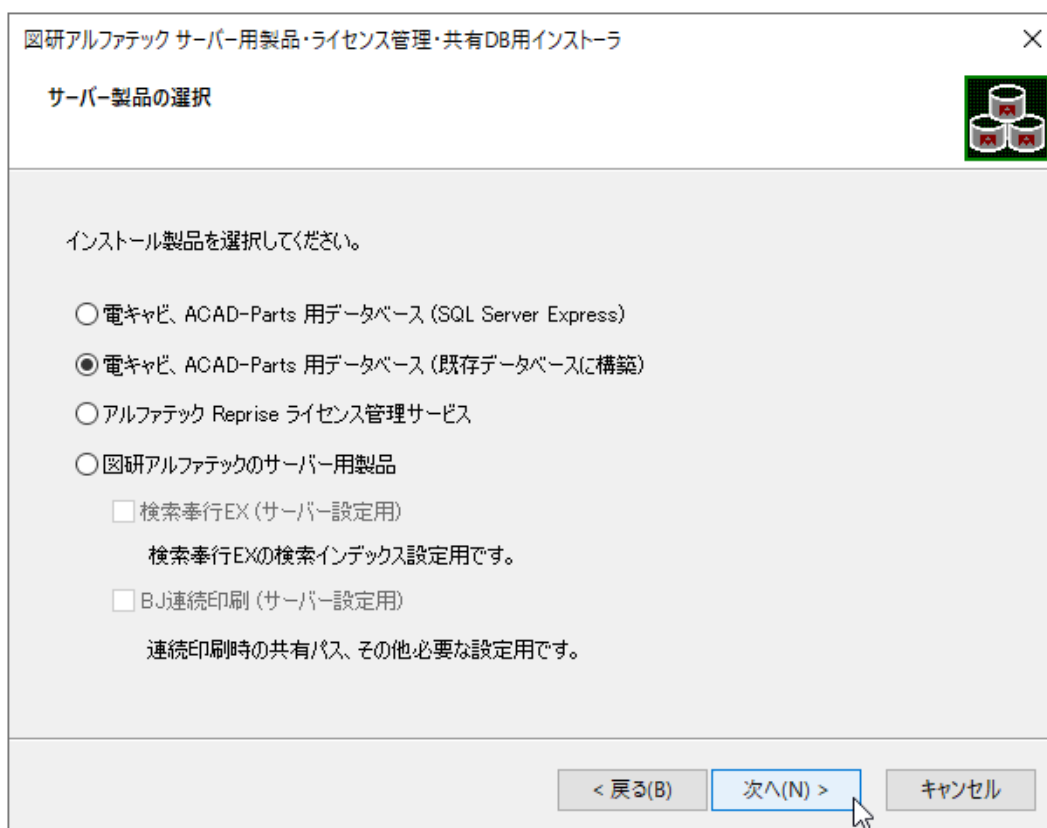
第1条 (定義)
本契約において、次の各号に定める用語の定義は、当該各号に定めるところによ

同意しない(D) 同意する(A)

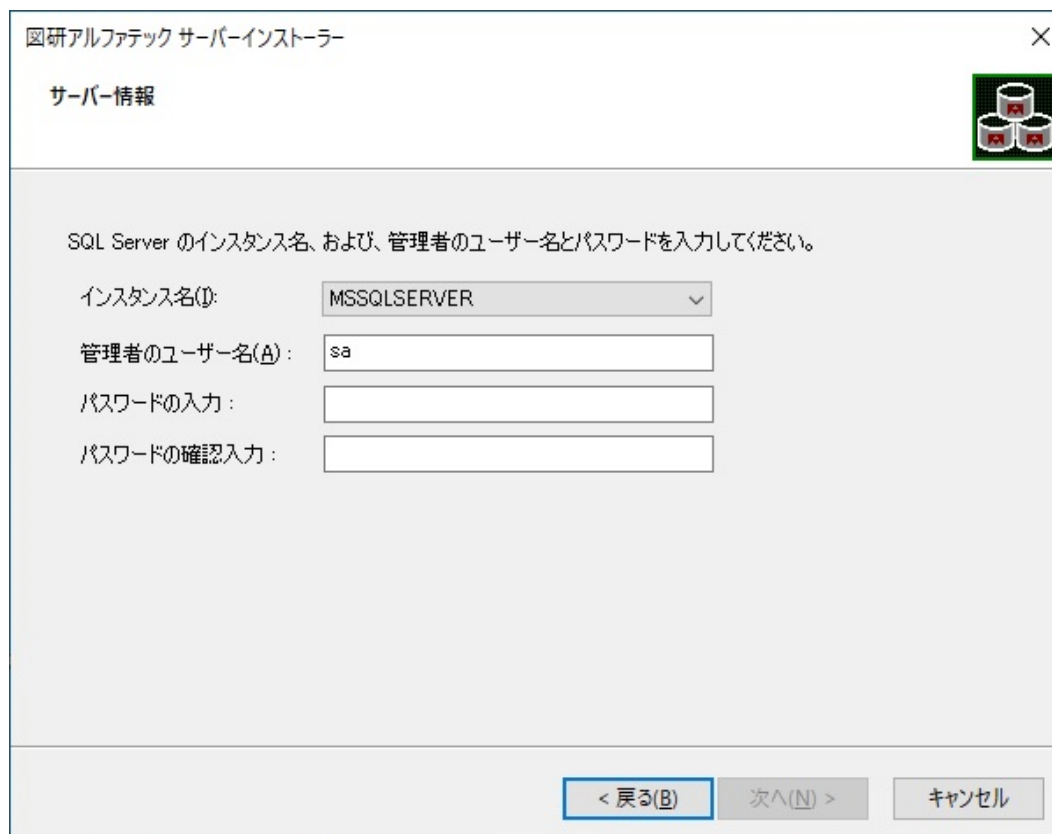
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

使用許諾契約書に同意されない場合は [キャンセル] をクリックし終了してください。

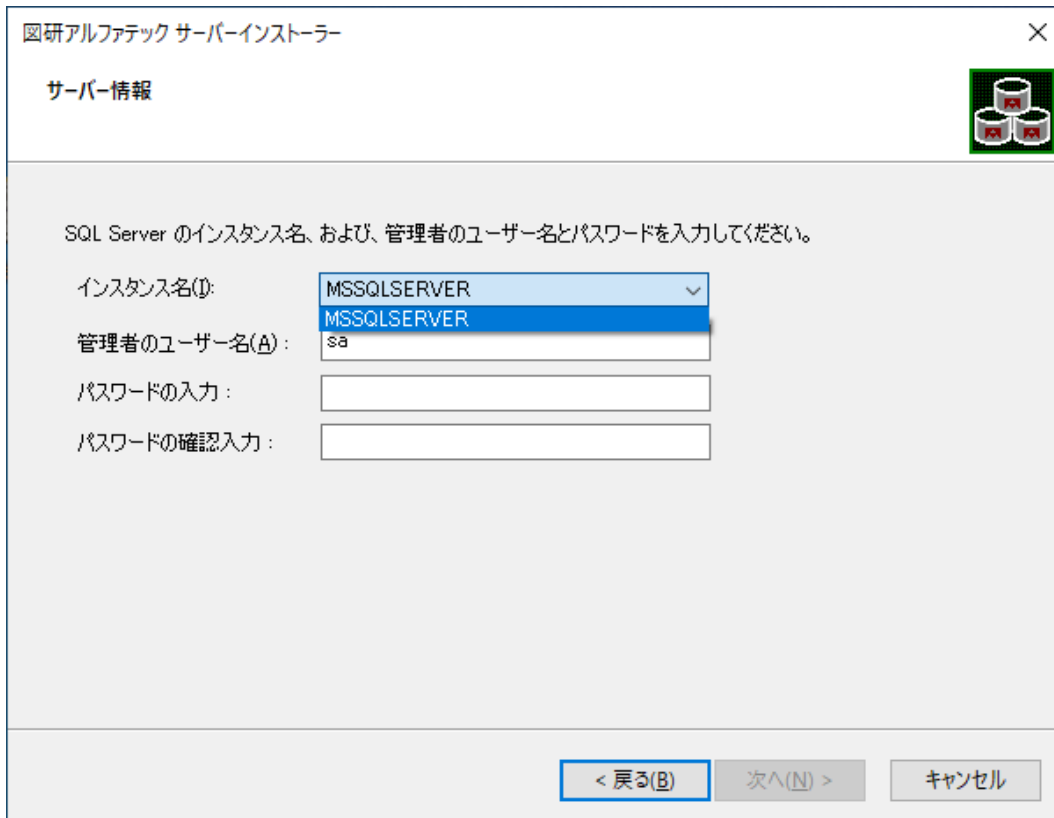
5. インストール製品の指定が表示されます。上から二番目の「電キャビ、ACAD-Parts 用データベース（既存のデータベースに構築）」を選択します。



6. [次へ] をクリックします。サーバー情報が表示されます。



7. 「インスタンス名」の一覧に SQL Server に登録済みのインスタンス名がすべて表示されます。対象とするインスタンス名を選択します。



研アルファテック サーバーストラー

サーバ情報

SQL Server のインスタンス名、および、管理者のユーザー名とパスワードを入力してください。

インスタンス名(I): MSSQLSERVER

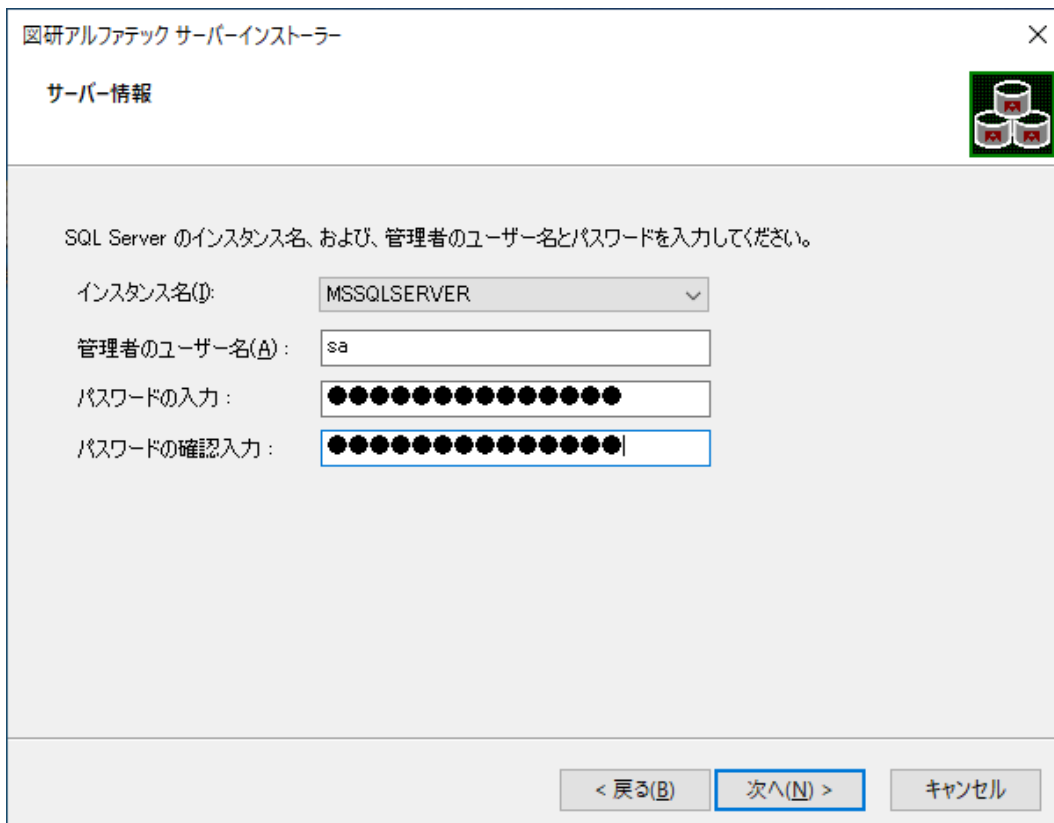
管理者のユーザー名(A): sa

パスワードの入力:

パスワードの確認入力:

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

8. SQL Server のシステム「sa」ユーザのパスワードの入力し、[次へ]をクリックします。
パスワードは、選択されたインスタンス名の作成時に設定されたパスワードを入力してください。
例) DENKIDBPassV10



研アルファテック サーバーストラー

サーバ情報

SQL Server のインスタンス名、および、管理者のユーザー名とパスワードを入力してください。

インスタンス名(I): MSSQLSERVER

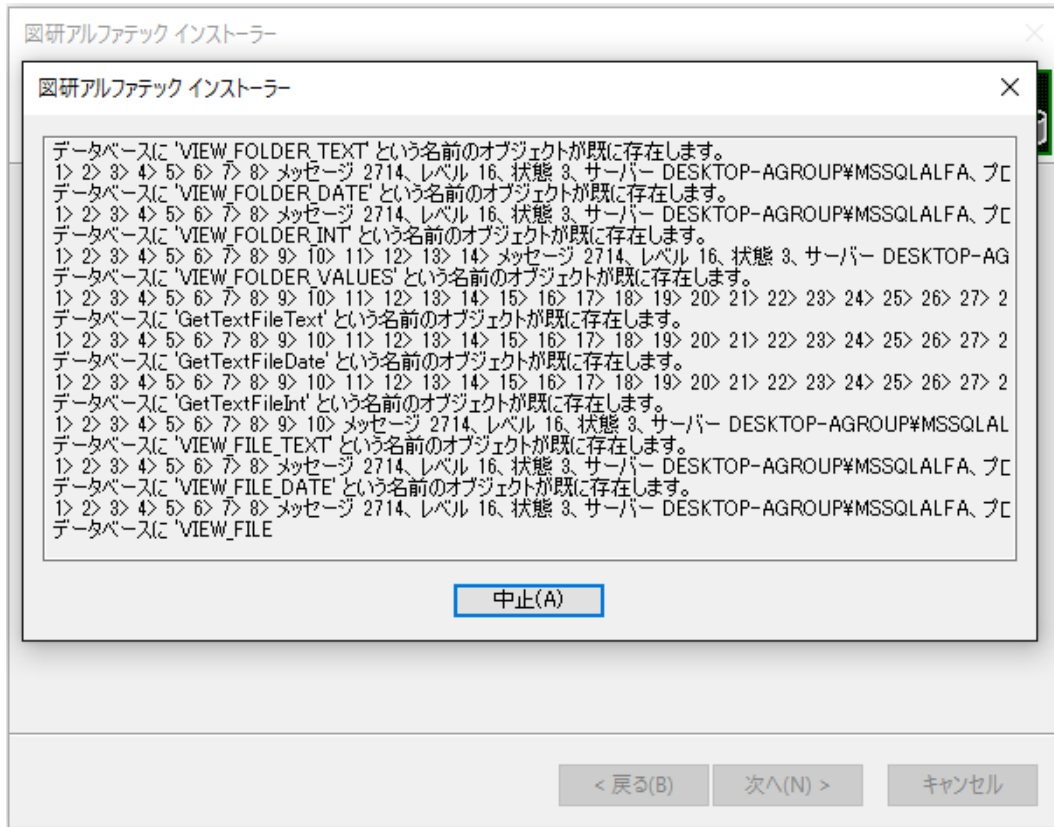
管理者のユーザー名(A): sa

パスワードの入力: ●●●●●●●●●●●●●●●●

パスワードの確認入力: ●●●●●●●●●●●●●●●●

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

9. テーブルの構築が実行されます。



完了が表示されます。[完了]をクリックします。



インストールが終了します。

電キャビ、ACAD-Parts テーブルの作成の終了です。

3. SQL Server 構成マネージャの設定

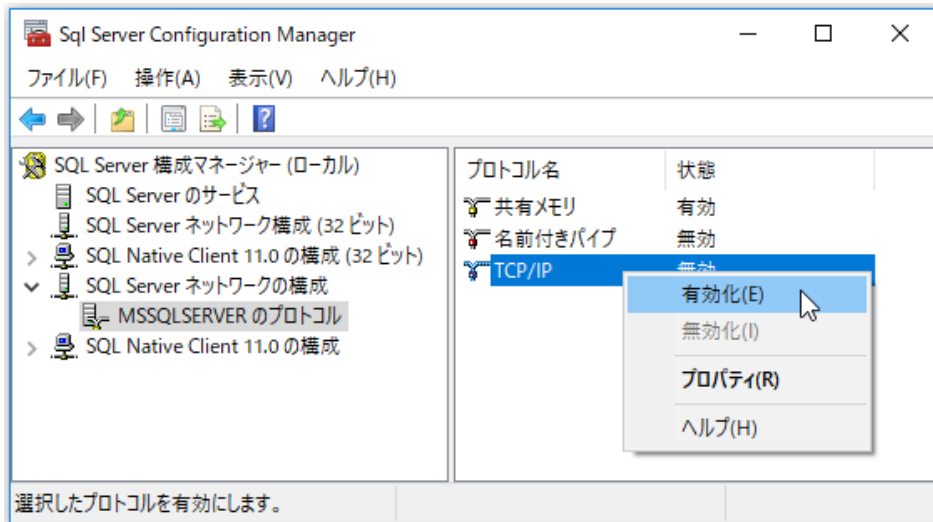
インストール作業終了後、マイデータベース等が有効にならない場合、スタート画面から [SQL Server 構成マネージャ] を起動し、任意に下記の作業を行ってください。

通常は本手順は不要です。

インストール後にプログラムが自動的に TCP/IP の有効化、SQL SERVER の再起動を行います。

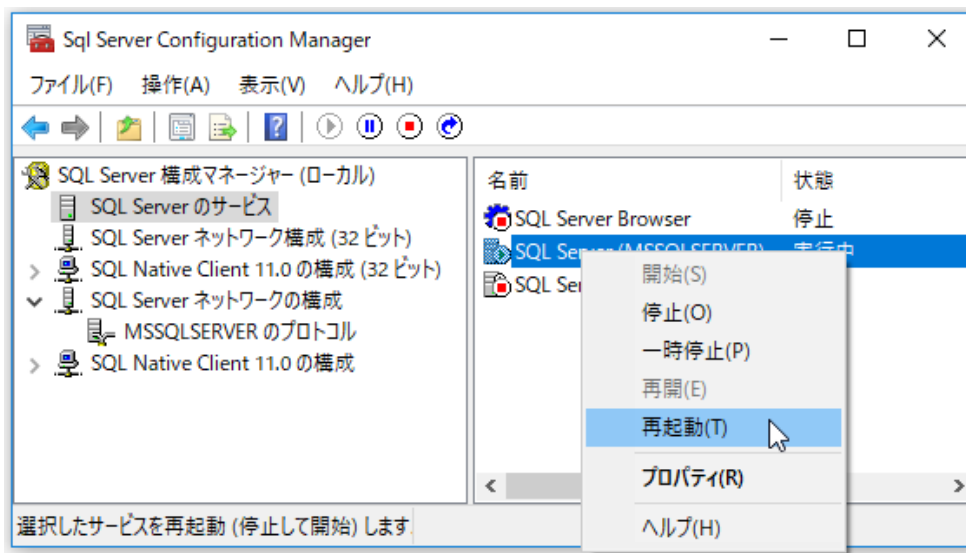
1. TCP/IP の有効化

「MSSQLSERVER のプロトコル」を選択し、プロトコル名から TCP/IP を右クリックし、メニューから「有効化」を実行します。



2. 「SQL Server のサービス」の再起動

右ペインから「SQL Server (MSSQLSERVER)」を選択し、右クリックメニューから「再起動」を選択します。



4. 対応データベース

電キャビ、ACAD-Parts のデータベースとして接続確認が取れているデータベースです。

以下のデータベースについて、接続確認が取れています。

SQL Server 2014

SQL Server 2016

SQL Server 2017

SQL Server 2019

対応 OS につきましては各 SQL Server バージョンの推奨 OS となります。

5. インストールされるデータベース

インストールされるデータベースのバージョンはインストーラー内にある Setup64.ini または Setup32.ini の [Setup] セクションの "Database" により決定されます。

デフォルトでは SQL Server Express 2022 となっています。

デフォルト記述

[Setup]

Server=1

Database=SQL Server Express 2022

:

略

:

[SQL Server Express 2022]

ExePath=MISC¥SQL Server 2022 Express¥SQLEXP_x64_JPN.exe

CmdLineOption=/QS /IACCEPTSQLSERVERLICENSETERMS /SUPPRESSPRIVACYSTATEMENTNOTICE /

ACTION=install /FEATURES=SQL /SECURITYMODE=SQL /SAPWD=%SAPWD% /INSTANCENAME=%INSTANCENAME%

/ADDCURRENTUSERASSQLADMIN=True /SQLSVCCACCOUNT="%SQLSVCCACCOUNT%" /TCPENABLED=1

” ExePath” は、”Database” に指定した SQL Server の各バージョンの ¥MISC フォルダ以下にあるパスと実行 exe までを記述します。

インストールするバージョンを変更する場合は、上記を参考に、インストール実行前に書き換えてください。

3.Reprise ライセンス管理サービス

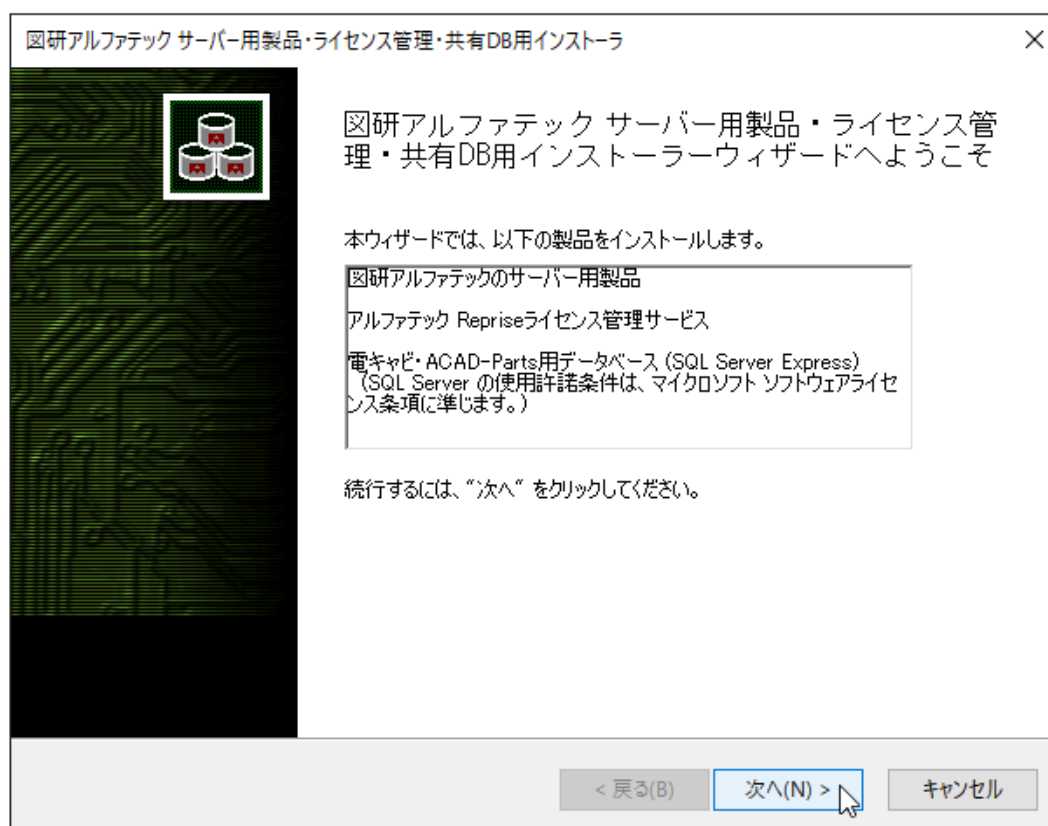
図研アルファテック製品をネットワークライセンス（フローティングライセンス）でご使用の場合に、サーバーに本作業を行ってください。

また、冗長構成などで2台のサーバーPCを使用される場合も、対象サーバーPCに対して以降の作業を行ってください。

インストール実行後、アクティベートを行います。製品アクティベート用のライセンスファイルを準備します。

1. アルファテック Reprise ライセンス管理サービスのインストール

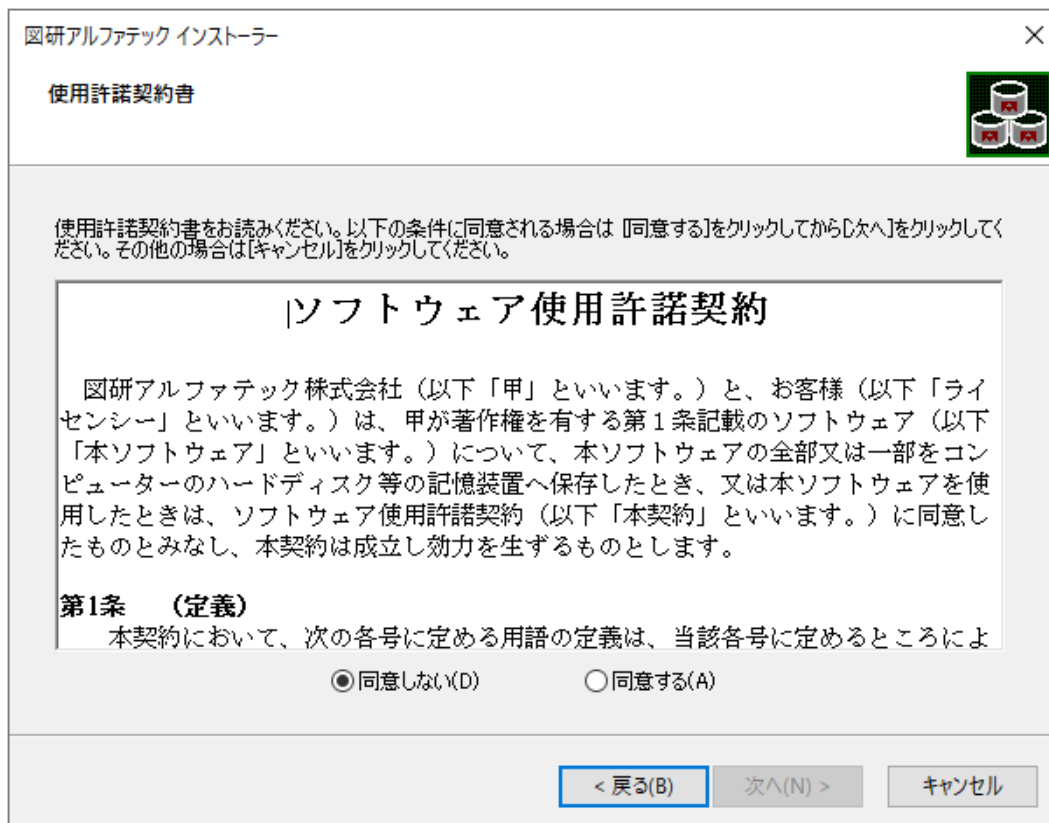
1. インストーラー（MEDIA_S_1041.iso）をマウントし、仮想ディスク内の Setup.exe をダブルクリックして起動してください。



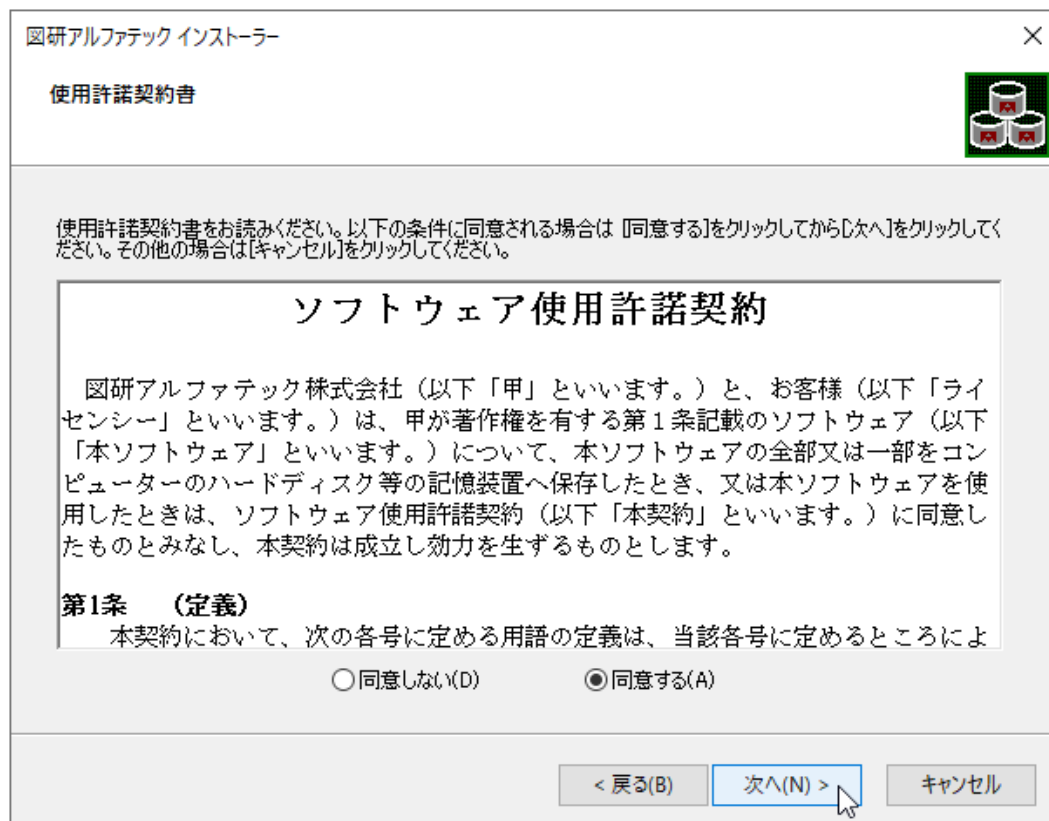
- 2.[次へ] をクリックします。

3. 使用許諾契約書が表示されます。

図研アルファテック製品をご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。

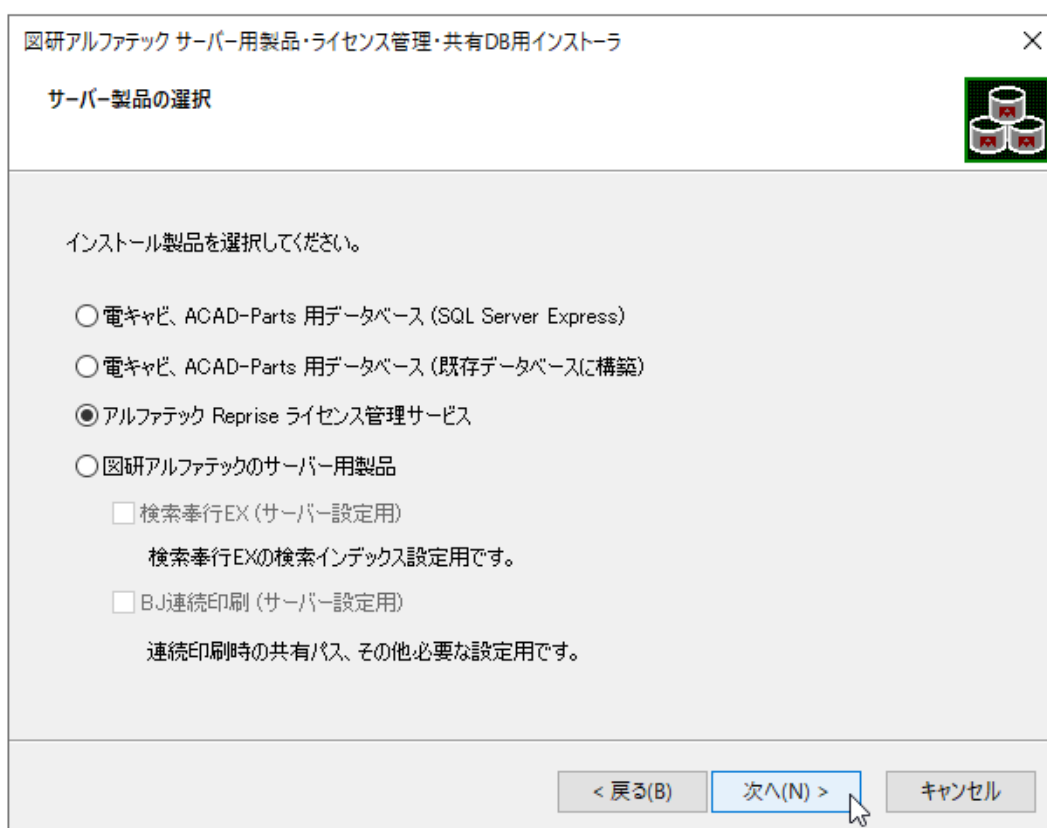


4. すべての条項に同意いただける場合は [同意する(A)] を選択します。[次へ] をクリックします。



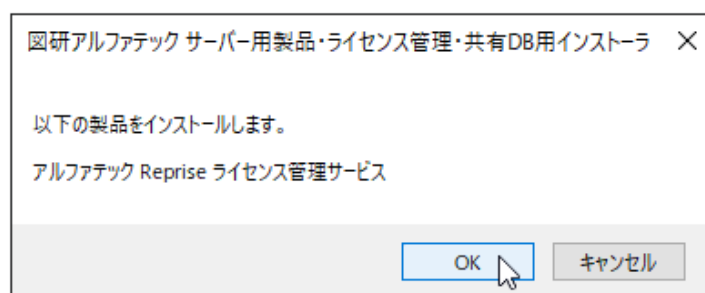
使用許諾契約書に同意されない場合は [キャンセル] をクリックし終了してください。

5. サーバー製品の選択が表示されます。「アルファテック Reprise ライセンス管理サービス」を選択します。



6. [次へ] をクリックします。

7. インストール製品名の確認が表示されます。[OK] をクリックします。



インストールが実行されます。

8. 完了が表示されます。[完了]をクリックします。



インストールが終了します。

2. RepriseNW ライセンスアクティベート

ネットワークライセンスのアクティベートを行います。

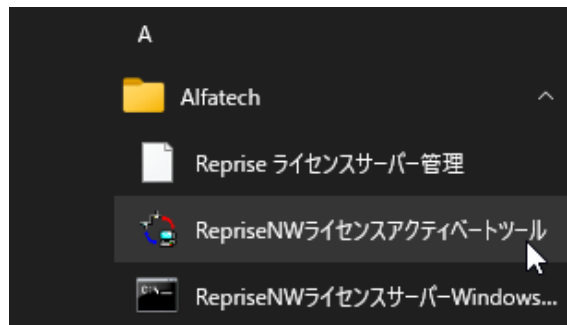
ネットワークライセンス用のアクティベートファイルをご準備ください。

冗長構成の場合はアクティベート操作は必要ありません。

取得されたプライマリ用とフェイルオーバー用のライセンスファイル (*.lic) を2つともインストール先（デフォルト：C:\Program Files\Alfatech\AlfatechRLM）にコピーしてください。

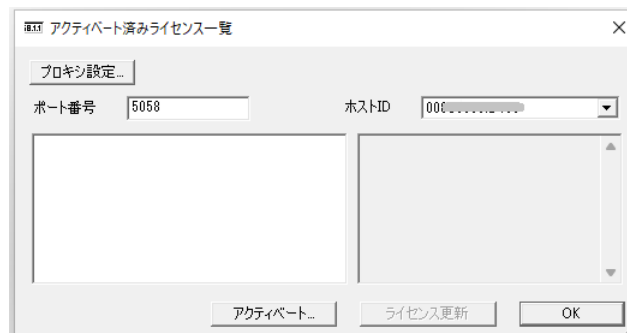
Windows Server 2022 の例です。

- 1.Windows スタートアイコンから「A」「Alfatech」以下の「RepriseNW ライセンスアクティベートツール」をクリックします。



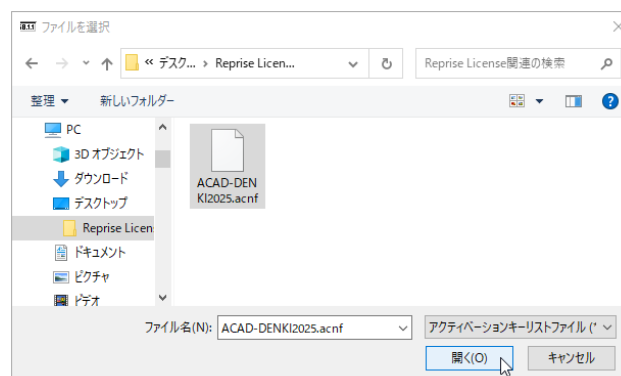
2. 「アクティベート済みライセンス一覧」が表示します。[アクティベート] をクリックします。

（注意）プロキシ設定が必要な場合、先にプロキシ設定を行ってください。



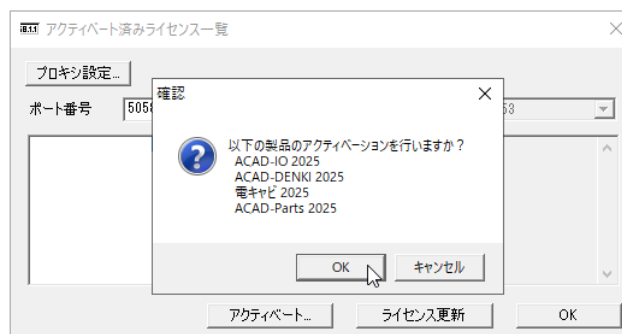
3. ファイルを選択ダイアログが表示します。

準備したライセンスファイルを選択し、[開く] をクリックします。

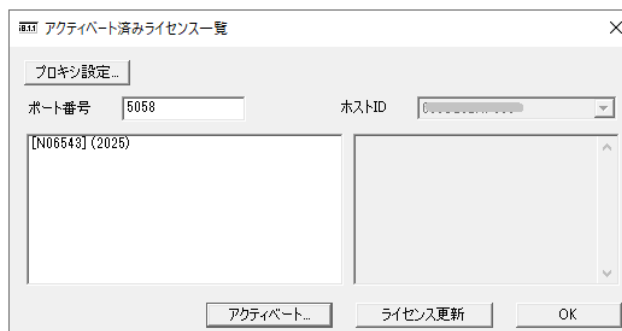


4. アクティベーション確認のメッセージが表示します。

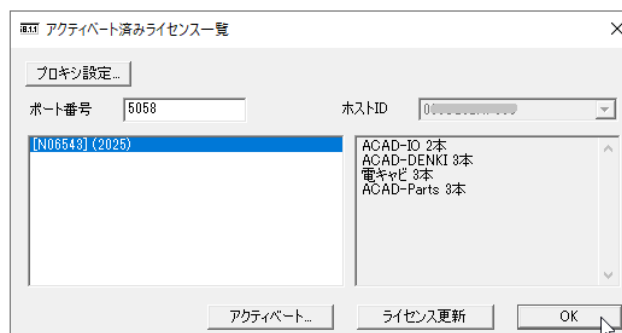
[OK] をクリックします。



5. アクティベーションが完了します。



左ペインの番号、バージョンの行をクリックすると、右ペインにアクティベート製品名が表示されます。[OK] をクリックします。



ダイアログが終了します。

(注意) ネットワークライセンスでは web 接続によるアクティベート解除は行えません。

3. RLM_NW_license.lic ファイル

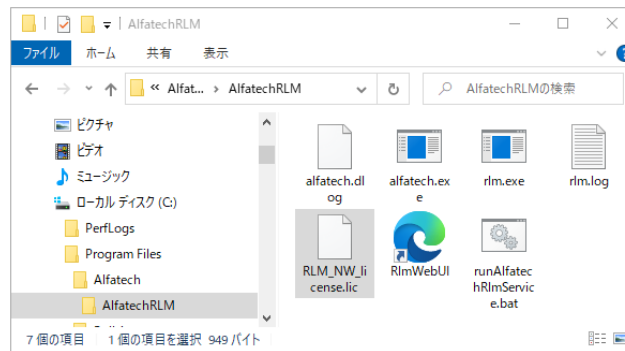
アクティベートに成功すると、インストール先 (C:\Program Files\Alfatech\AlfatechRLM) に「RLM_NW_license.lic」ファイルが作成されます。

ライセンス管理にて重要なファイルとなります。

削除・編集を行わないでください。

「RLM_NW_license.lic」ファイルはクライアント PC での製品インストール時に使用できます。

コピーしてご利用ください。



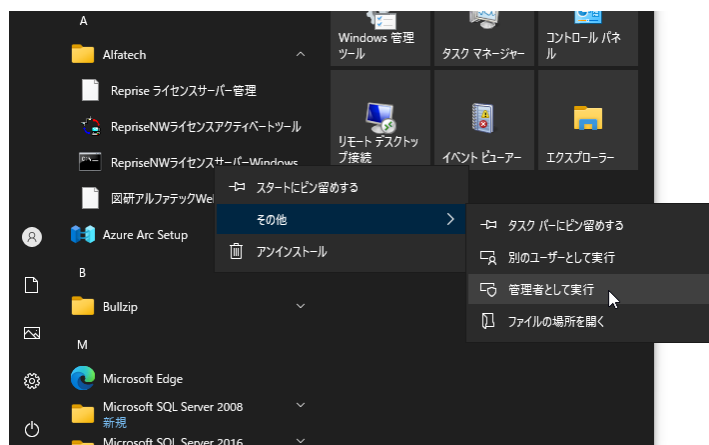
4. RepriseNW ライセンスサーバー Windows サービス登録

ライセンス管理の為のサービスを作成します。

冗長構成の場合、プライマリー、フェイルオーバー用の PC で同じ操作を行ってください。

Windows Server 2022 の例です。

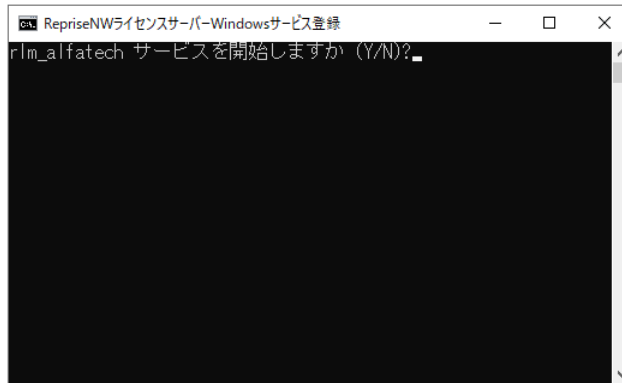
- 1.Windows スタートアイコンから「A」「Alfatech」以下の「RepriseNW ライセンスサーバー Windows サービス登録」を右クリックします。
- 2.「その他」 - 「管理者として実行」を選択します。



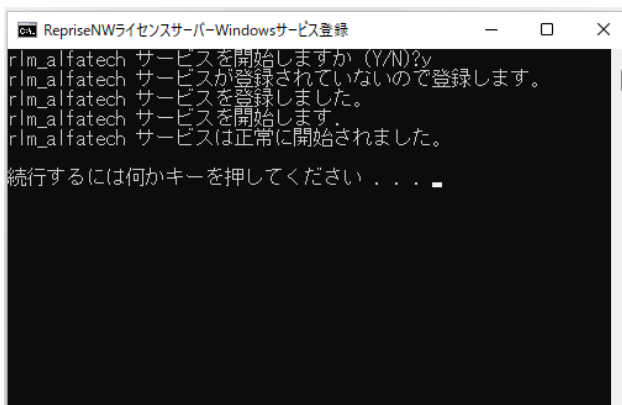
サービスの登録は必ず「管理者として実行」にて行ってください。

- 3.「ユーザーアカウント制御のメッセージが表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

- 4.RepriseNW ライセンスサーバー Windows サービス登録（コマンドプロンプト）が表示します。
Y と入力し、Enter を押します。



サービスが登録されます。

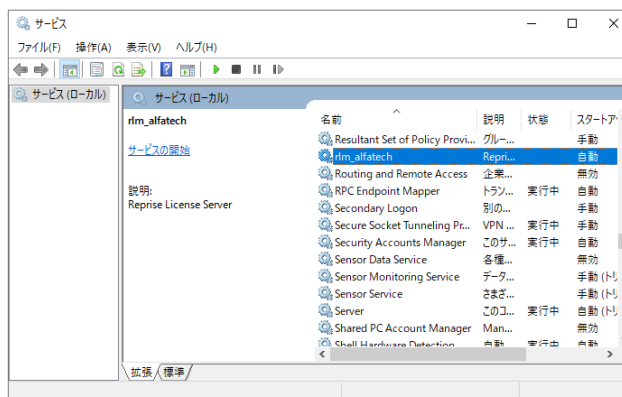


- 5.Enter を押して終了します。

(確認)

Windows のサービスを起動します。

タイトルバーの検索ボックスに「service」と入力し、アプリとして表示された「サービス」を起動します。「rlm_alfatech」サービスが作成されていることが確認できます。ここでは確認のみです。サービスダイアログは [×] をクリックして終了します。



5. RepriseNW ライセンスサーバー管理

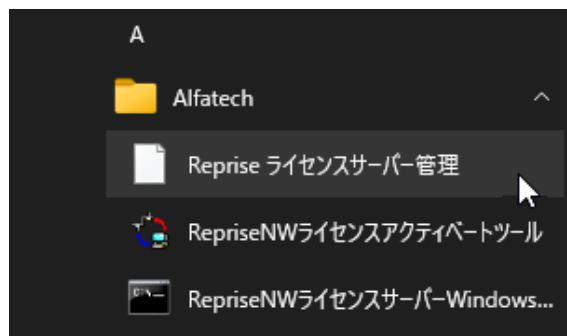
ネットワークライセンスのアクティベートを行います。

ネットワークライセンス用のアクティベートファイルをご準備ください。

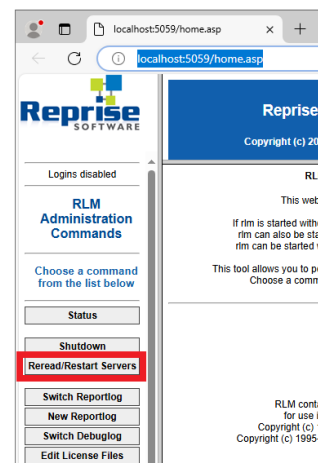
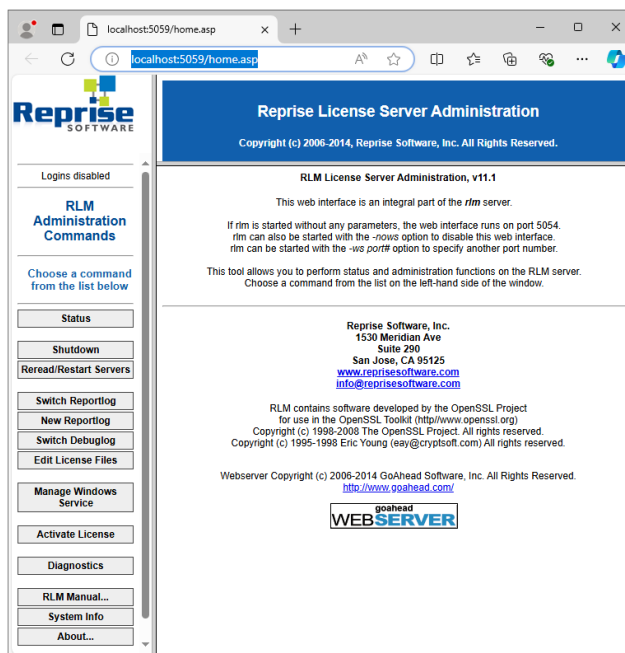
冗長構成の場合、プライマリー、フェイルオーバー用のPCで同じ操作を行ってください。

Windows Server 2022 の例です。

- 1.Windows スタートアイコンから「A」「Alfatech」以下の「RepriseNW ライセンスサーバー管理」をクリックします。



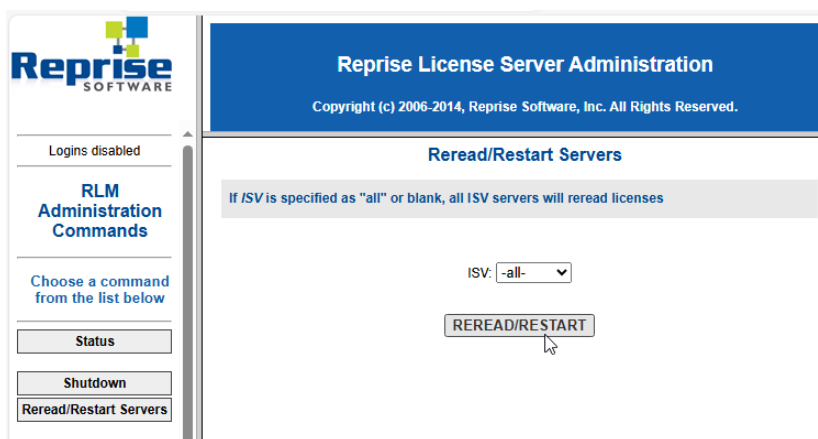
- 2.Web ブラウザが起動し「http://localhost:5059/home.asp」ページが表示します。
[Reread/Restart Servers] をクリックします。



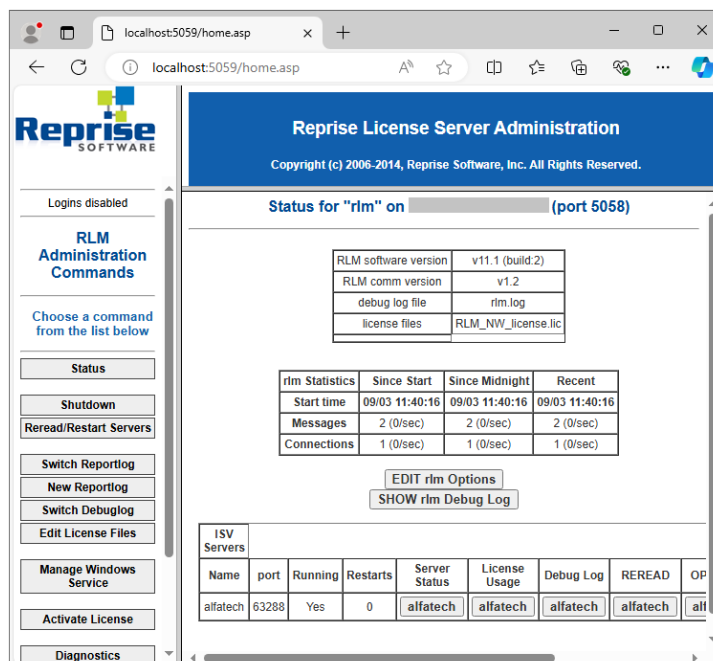
(補足) Windows サービスと連動するページです。

3. ページが「Reread/Restart Servers」に切り替わります。

[REREAD/RESTART] をクリックします。



4. サービスとライセンスとの関連付けの終了です。ブラウザは [×] をクリックして終了します。



冗長構成の場合、「License files」にプライマリ用とフェイルオーバー用の2つのライセンスファイル名が表示されます。

フェイルオーバー PC での作業完了後、フェイルオーバー PC ではライセンスの詳細は表示されません。作業のみ行ってください。

プライマリ PC から TCP/IP 通信の接続が切れた場合などで正常にライセンスが取得できなくなった場合に、フェイルオーバー PC のライセンスステータスが確認できるようになります。

プライマリーの停止からフェイルオーバーのサービス稼働はリアルタイムに行われますが、環境によっては自動切り替えに数分かかる場合があります。

プライマリ異常時にすぐにフェイルオーバーのサービスを稼働させたい場合、フェイルオーバーでステータスの RESTART を手動で行ってください。ステータスが確認できるようになります。

4.Windows ファイアウォール除外設定

電キャビ、ACAD-Parts データベース、及び、図研アルファテック Reprise ライセンス管理サービスでは、Windows ファイアウォールの除外設定が必要です。

インストールされます製品に必要な設定を行ってください。

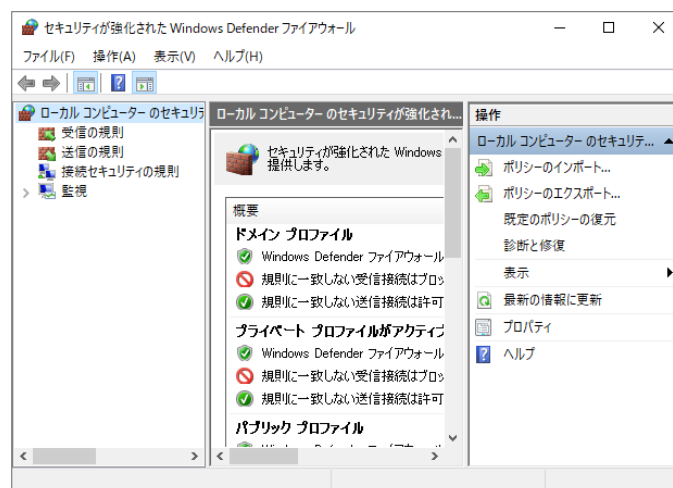
本手順は Windows Server 2022 の設定例です。

1. 電キャビ、ACAD-Parts データベース

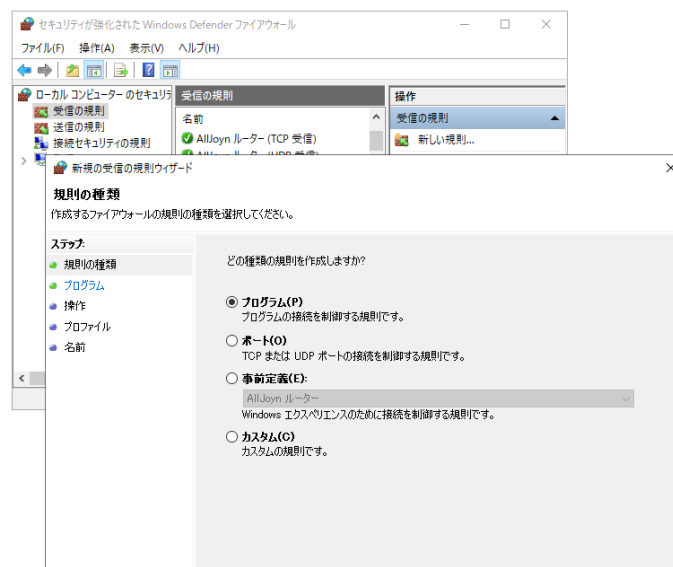
電キャビの一元管理、ACAD-Parts の部品マスタの一元管理をされる場合に本設定を行ってください。

Windows ファイアウォール設定の「受信の規則」に MSDE が使用するポート：1433 を追加します。

1. スタートアイコンから「Windows セキュリティ」を選択します。
2. ファイアウォールとネットワーク保護の「詳細設定」をクリックします。から「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」を起動します。



3. 「受信の規則」を選択し、右窓の「操作」から [新しい規則] をクリックします。新規の受信の規則ウィザードが表示します。



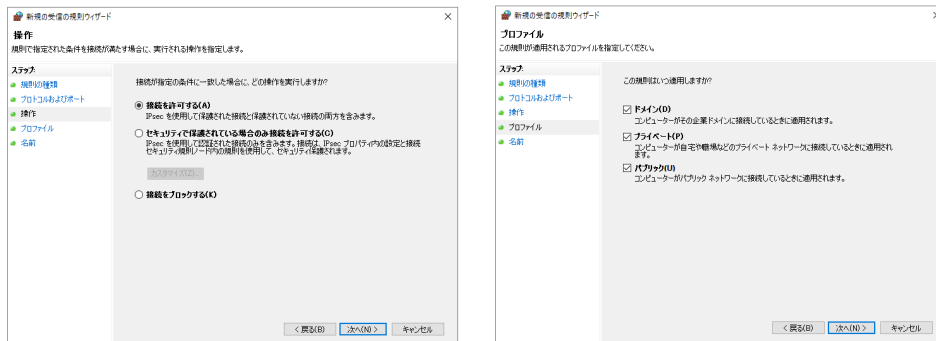
4. 「ポート」を選択し、[次へ]をクリックします。



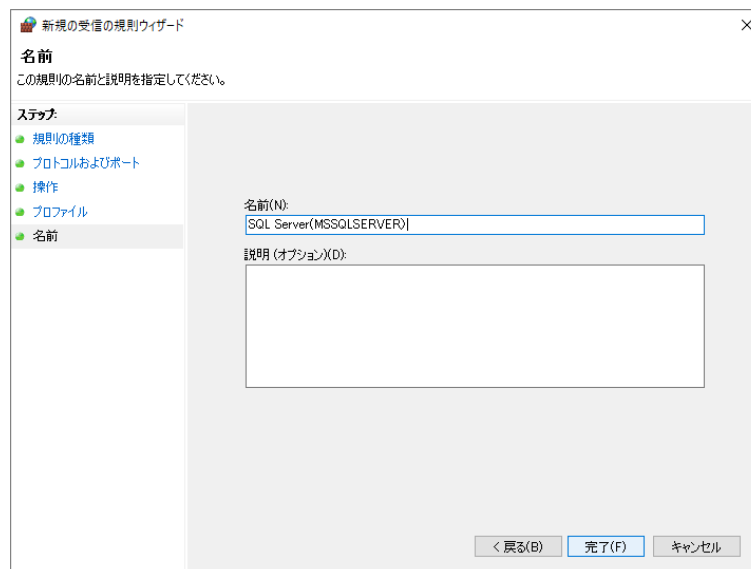
5. 「特定のローカルポート」に「1433」と入力します。[次へ]をクリックします。



6. 「操作」、「プロファイル」とともにデフォルトの設定で [次へ] をクリックします。



7. 「名前」で名前を入力します。本例では「SQL Server(MSSQLSERVER)」としています。
任意にわかりやすい名称を設定してください。
[完了]をクリックします。



2. Reprise ライセンス管理サービス

図研アルファテック製品のネットワーク版をご購入され、ライセンス管理サービスのインストールを行われる場合にこちらの設定を行ってください。

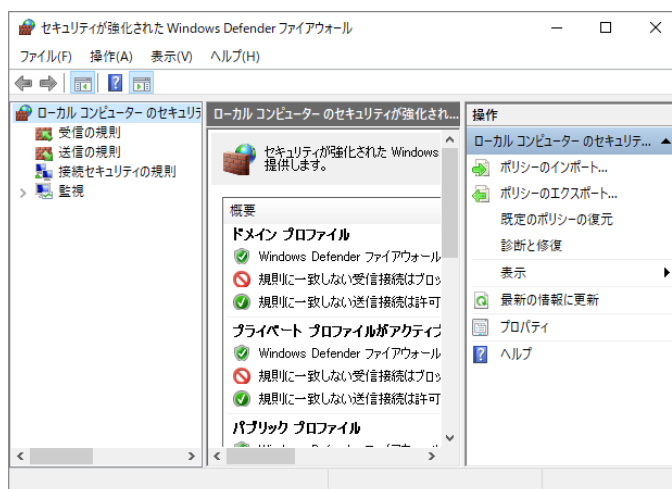
Windows ファイアウォール設定の「受信の規則」に以下の2つを追加します。

プログラム : %ProgramFiles%\Alfatech\AlfatechRLM\rlm.exe

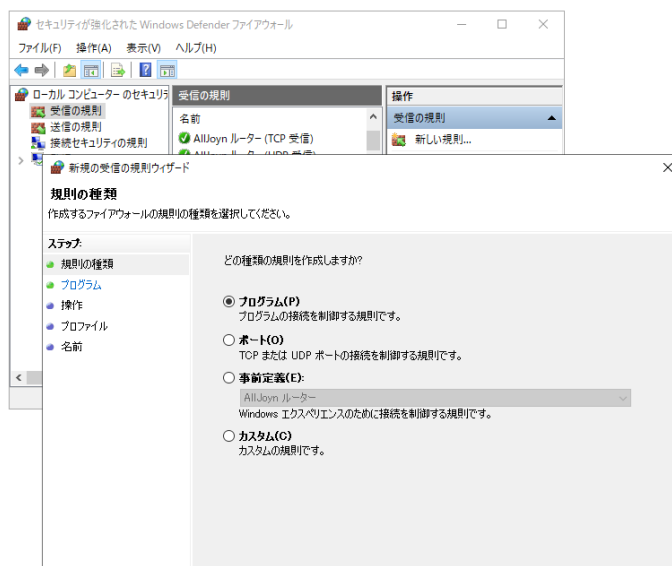
ポート : 5058 (アクティベート時に指定したポート番号 (デフォルト : 5058))

冗長構成の場合、プライマリー、フェイルオーバー用のPCで同じ操作を行ってください。

1. スタートアイコンから「Windows セキュリティ」を選択します。
2. ファイアウォールとネットワーク保護の「詳細設定」をクリックします。から「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」を起動します。

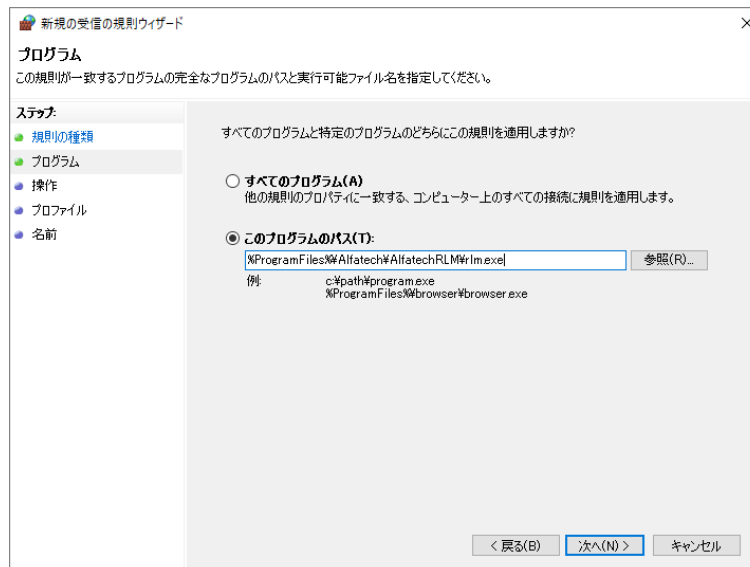


3. 「受信の規則」を選択し、右窓の「操作」から [新しい規則] をクリックします。新規の受信の規則ウィザードが表示します。

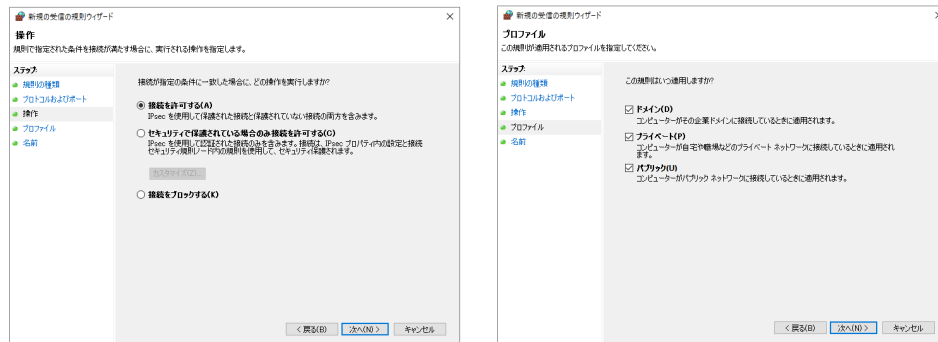


4. 「プログラム」が選択されていますので、[次へ] をクリックします。

5. 「このプログラムのパス」に「%ProgramFiles%\¥Alfatech\¥AlfatechRLM\¥rlm.exe」を指定します。
[次へ] をクリックします。

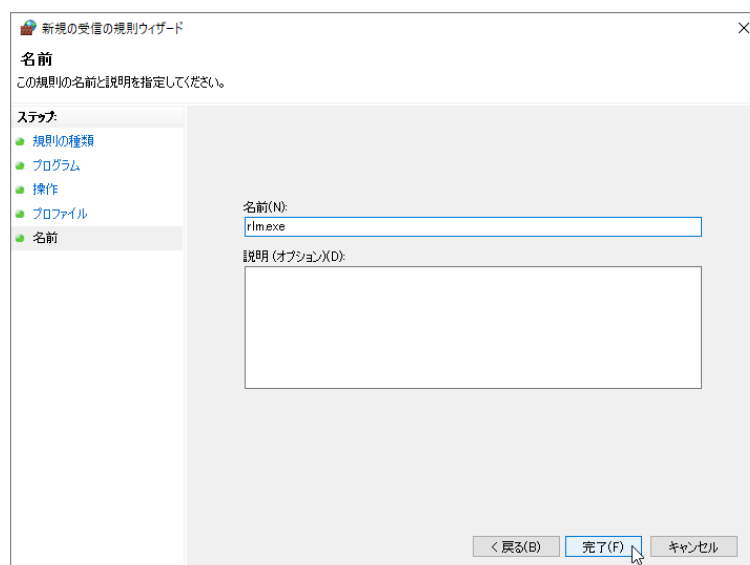


6. 「操作」、「プロファイル」ともにデフォルトの設定で [次へ] をクリックします。



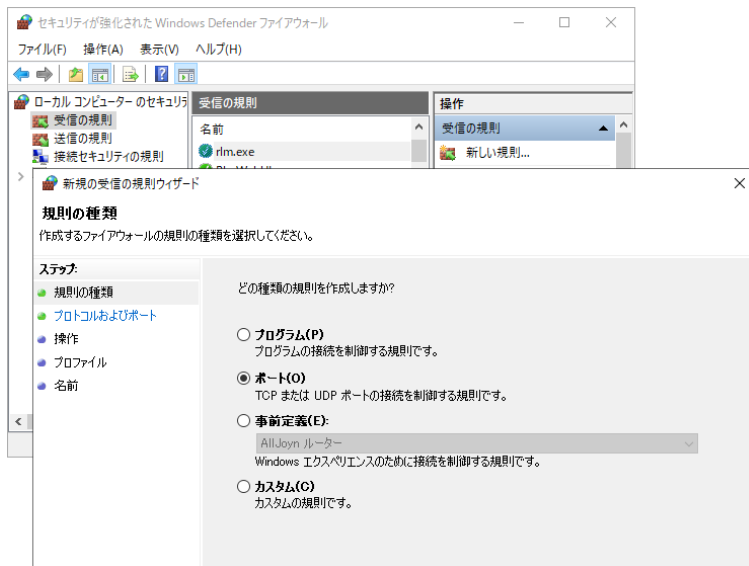
7. 「名前」で名前を入力します。本例では「rlm.exe」としています。任意にわかりやすい名称を設定してください。

[完了] をクリックします。



引き続き、ポートを設定します。

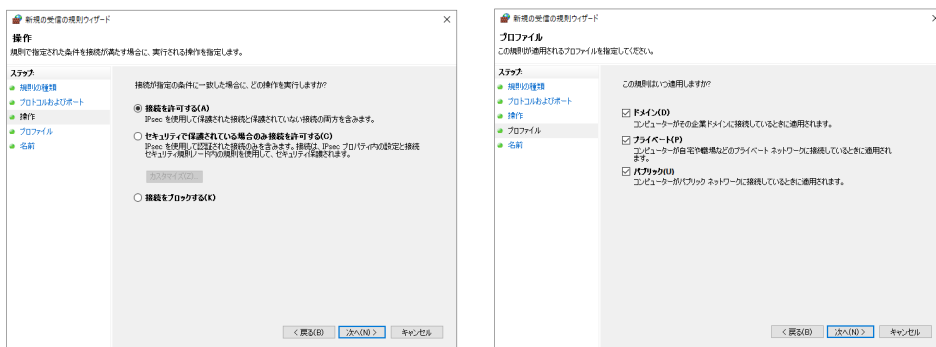
1. 「受信の規則」を選択し、右窓の「操作」から [新しい規則] をクリックします。新規の受信の規則ウィザードが表示します。
2. 「ポート」を選択し、[次へ] をクリックします。



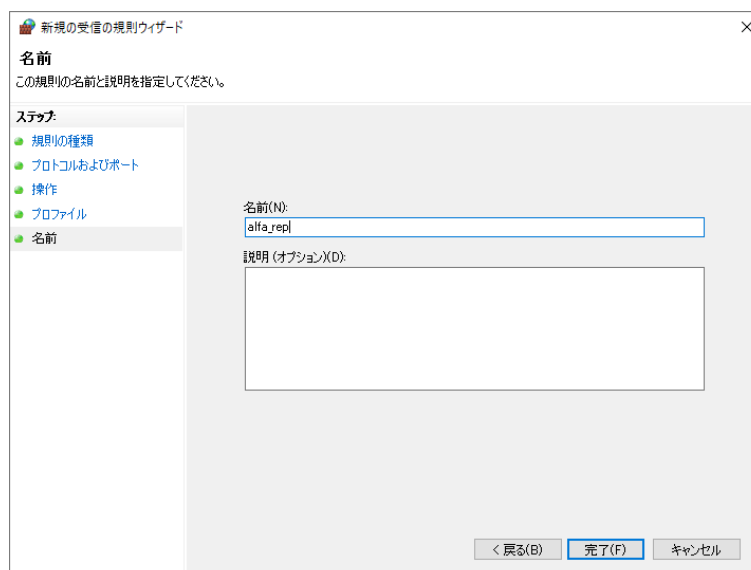
3. 「特定のローカルポート」に「5058」と入力します。[次へ] をクリックします。



6. 「操作」、「プロファイル」とともにデフォルトの設定で [次へ] をクリックします。



7. 「名前」で名前を入力します。本例では「alfa_rep」としています。
任意にわかりやすい名称を設定してください。
[完了]をクリックします。



5.サーバー用製品インストール

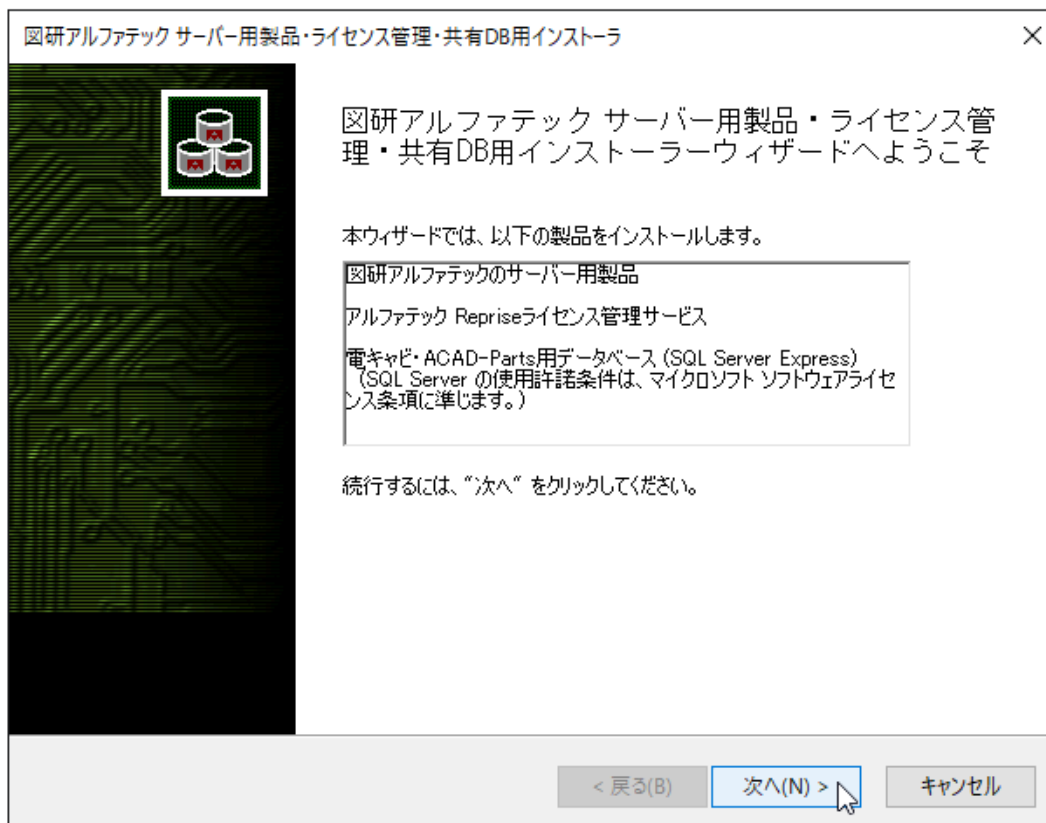
図研アルファテックのサーバー用製品は下記の2つとなります。

検索奉行 EX

BJ サーバー連続印刷

1. 新規インストール

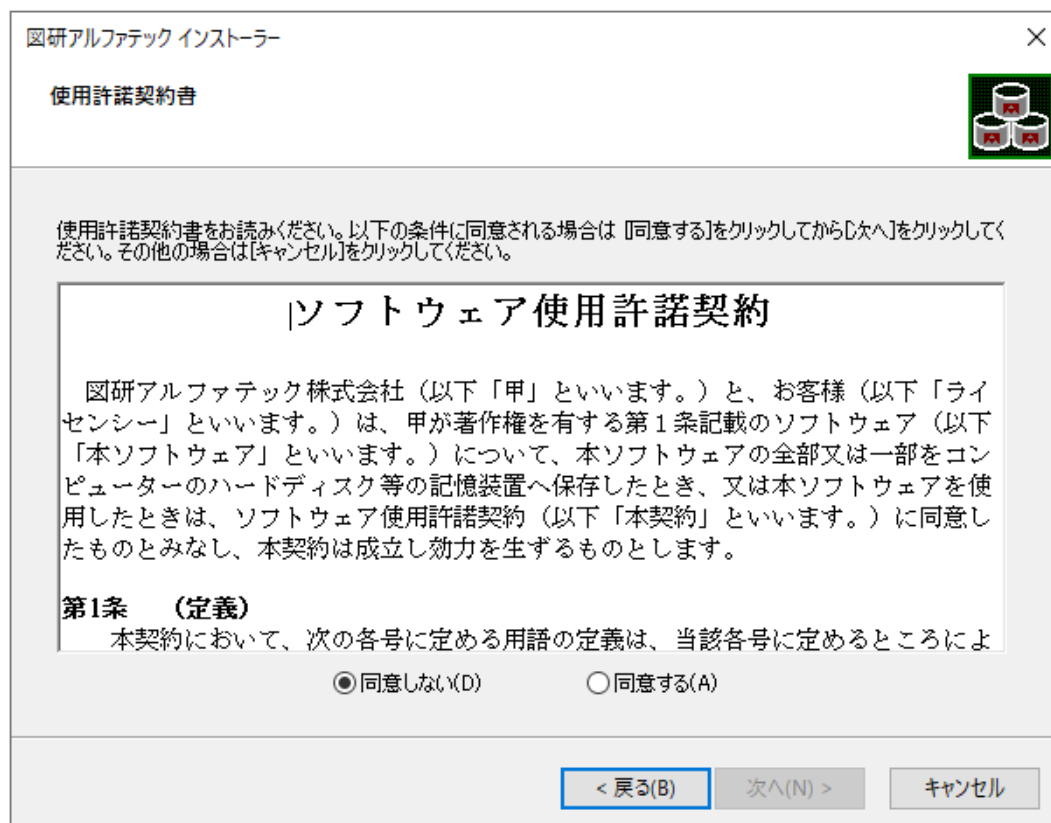
1. インストーラー (MEDIA_S_1041.iso) をマウントし、仮想ディスク内の Setup.exe をダブルクリックして起動してください。



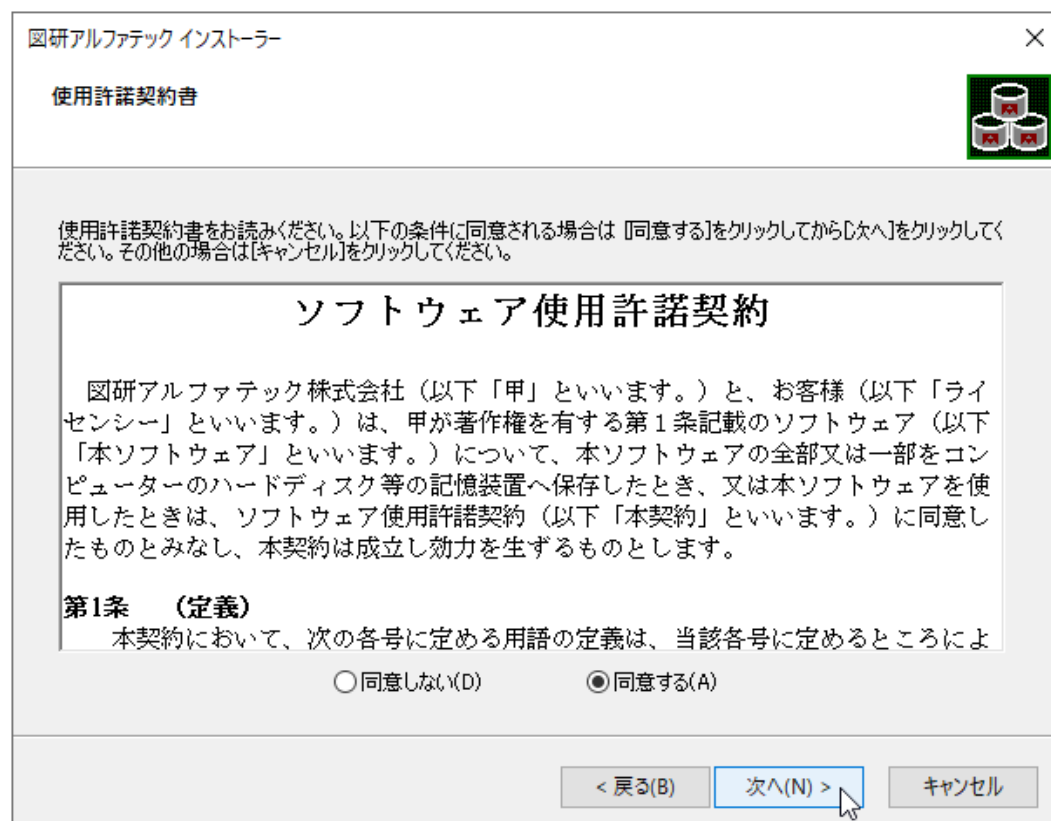
2. [次へ] をクリックします。

3. 使用許諾契約書が表示されます。

図研アルファテック製品をご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。

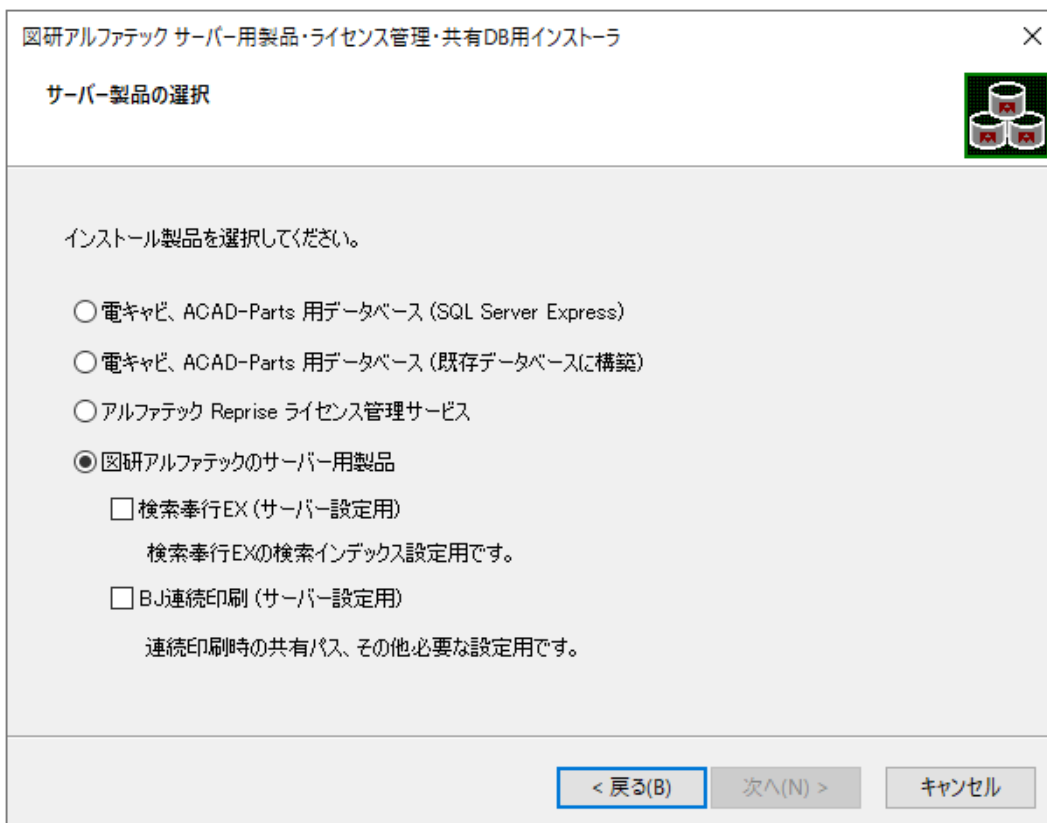


4. すべての条項に同意いただける場合は [同意する(A)] を選択します。[次へ] をクリックします。



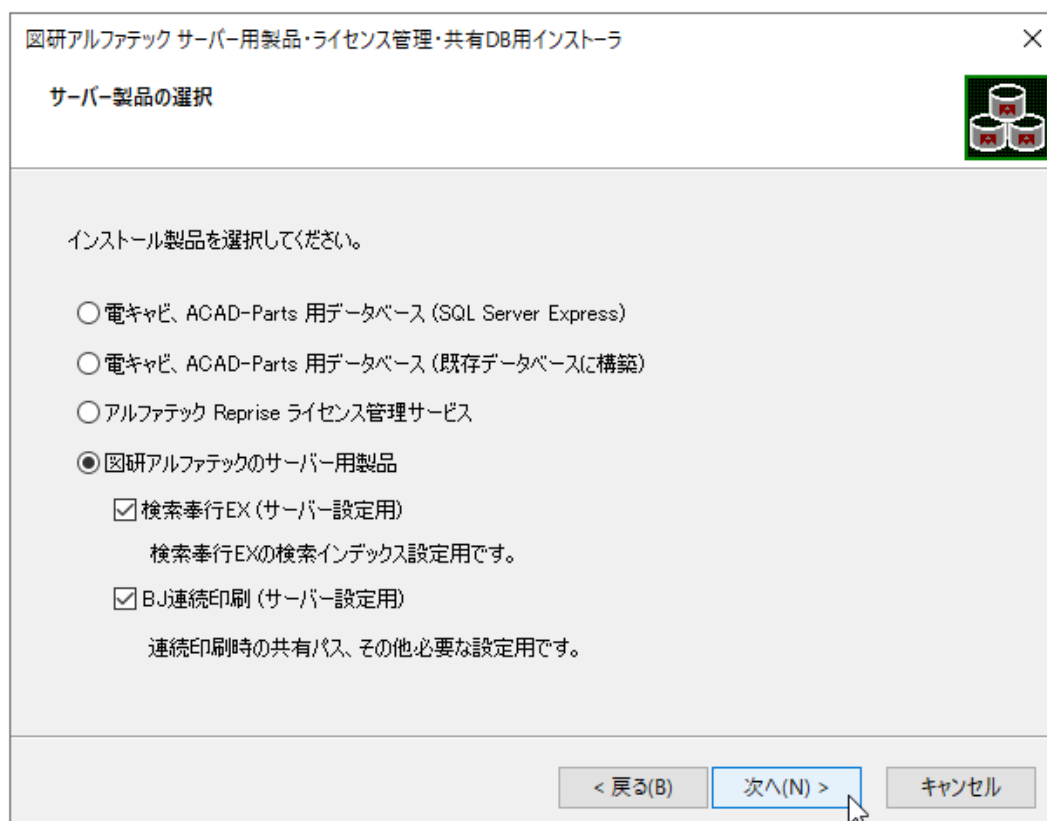
使用許諾契約書に同意されない場合は [キャンセル] をクリックし終了してください。

5. サーバー製品の選択が表示されます。「図研アルファテックのサーバー用製品」を選択します。



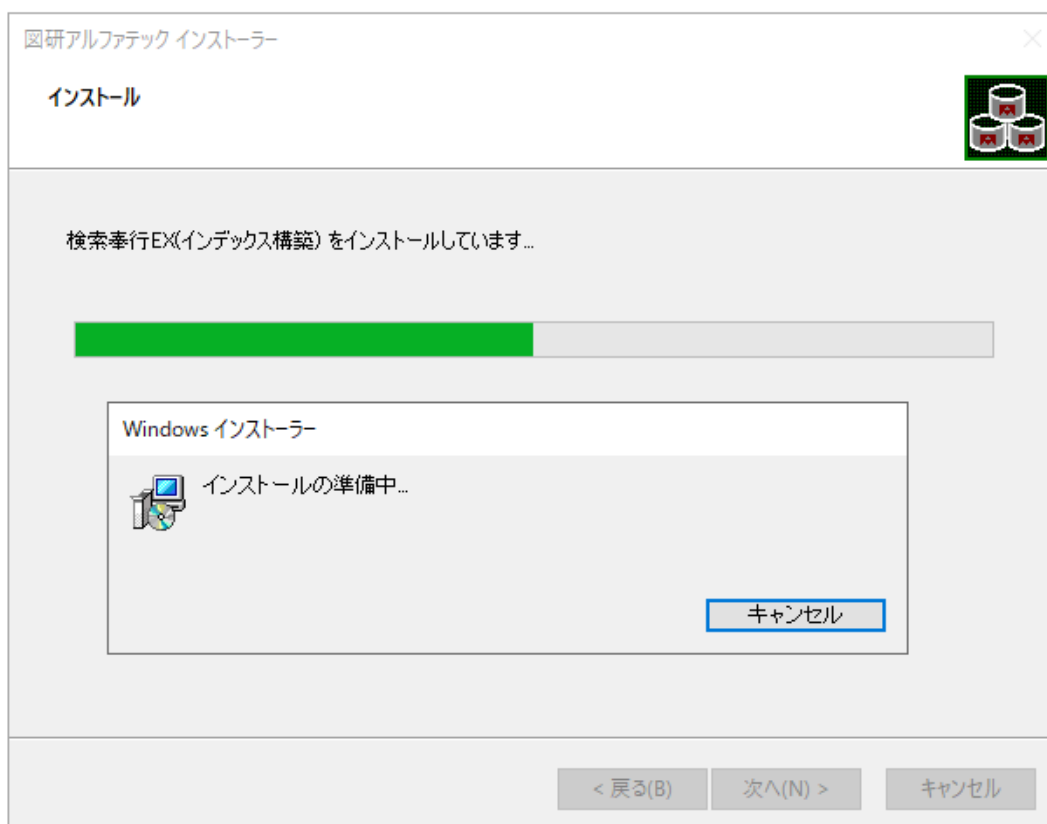
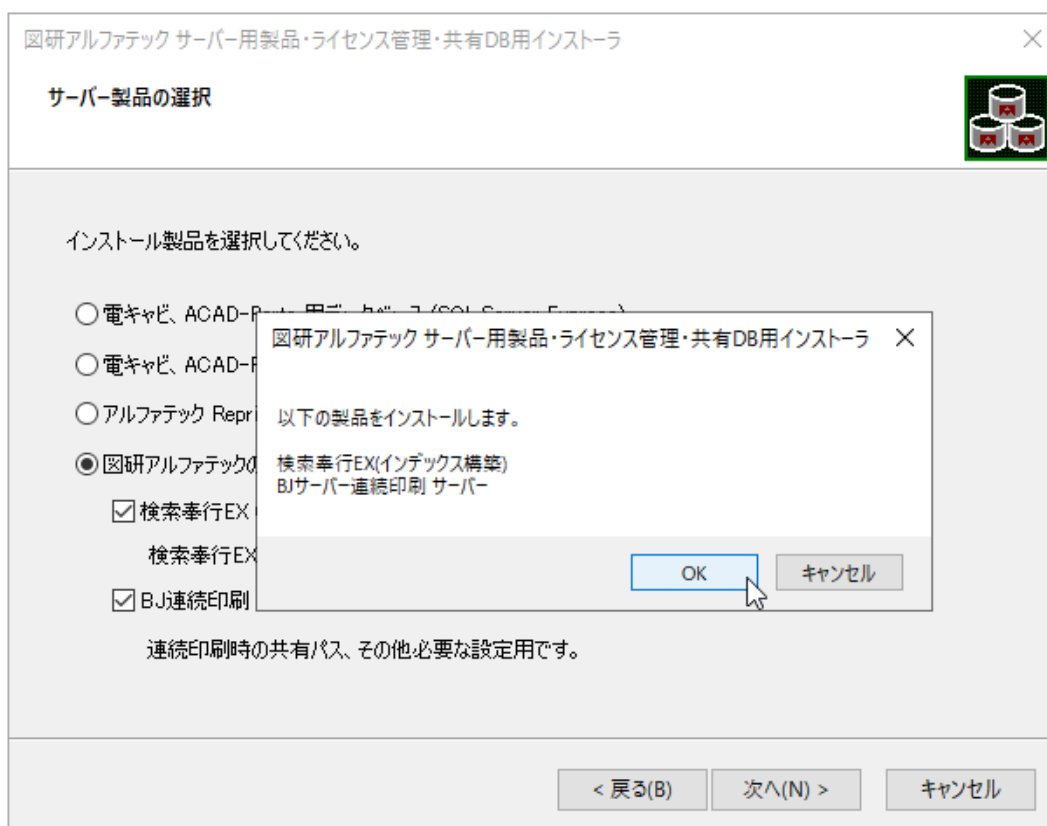
6. ご購入された製品のサーバー設定にチェックを入力します。

本例では両方の製品にチェックを入力しています。ご購入製品以外の製品をインストールされましてもライセンスが無くご使用いただけませんのでご注意ください。



7. [次へ] をクリックします。

8. インストール製品確認のメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。インストールが実行されます。



9. 完了が表示されます。[完了]をクリックします。



インストールが終了します。

2. サーバー設定用製品の設定

検索奉行 EX サーバー設定用 /BJ サーバー連続印刷 サーバー設定用のインストール後の設定につきましては、各製品のユーザーガイドをご参照ください。

各製品のユーザーガイドは弊社ホームページからダウンロードが可能です。

検索奉行 EX サーバー設定用：ACAD-KBEX_usersguide.pdf

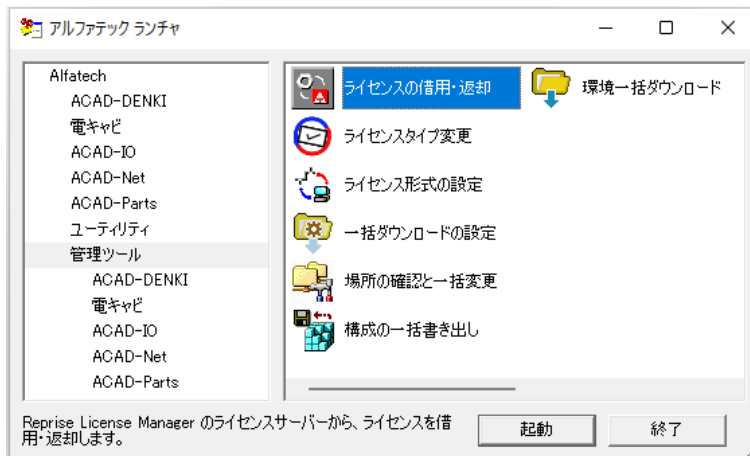
BJ サーバー連続印刷 サーバー設定用：BJ サーバー連続印刷ユーザーガイド.pdf

6.ライセンスの借用と返却

Alfatech 製品 の借用オプションについて説明します。社外にクライアント PC を持ち出す等の場合に、一時的に日付け・日数を指定してライセンスを PC に借用することができます。

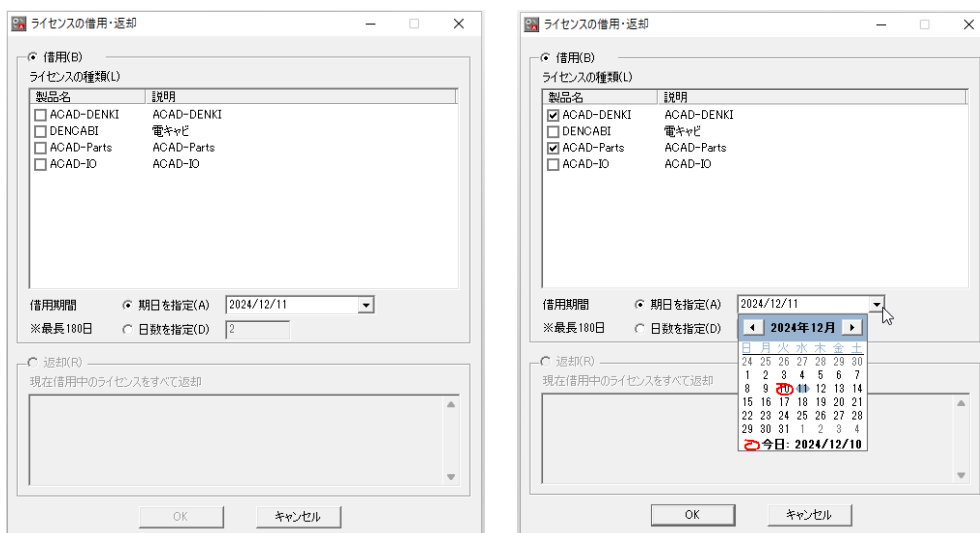
1. Alfatech 製品 ライセンスの借用

1. スタートアイコンから [A] の [Alfatech]-[アルファテックランチャー] を選択します。
2. アルファテックランチャの左ペインで「管理ツール」を選択し、右ペインで「ライセンスの借用・返却」を選択し、[起動] ボタンをクリックします。



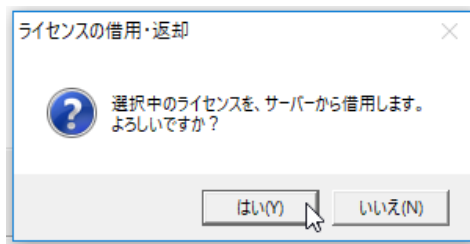
3. Reprise ライセンスの借用・返却ダイアログが表示されます。

借用する製品名にチェックを入力し、借用期間で、期日を指定、または日数を指定のいずれかを選択します。

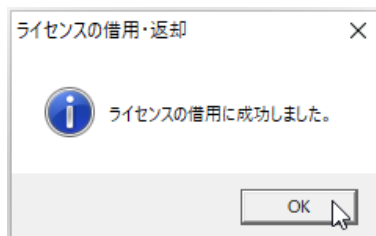


4. [OK] をクリックします。

5. 確認のメッセージが表示されます。[はい] をクリックします。



6. 借用が成功すると、メッセージが表示します。[OK] をクリックします。



7. ライセンスの借用・返却ダイアログの内容を確認し、[キャンセル] をクリックします。



ライセンスの借用・返却ダイアログが終了します。

ライセンスモニタの表示例

ライセンスモニタでは、借用したライセンスが消費されていることが確認できます。

アプリケーション名	バージョン	ライセンス数	使用数
ACAD-DENKI	2025	3	1
電キャビ	2025	3	0
ACAD-Parts	2025	3	1
ACAD-IO	2025	2	0

ライセンスサーバ: 5058@192.168.2.176 最終更新時刻: 2024/12/10 11:09:29

借用期限が経過すると、ライセンスは借用した PC が社内 LAN に接続されていなくても、自動的にクライアントから削除され、サーバーのライセンス数が増えます（借用を行う前のライセンス数に戻ります）。

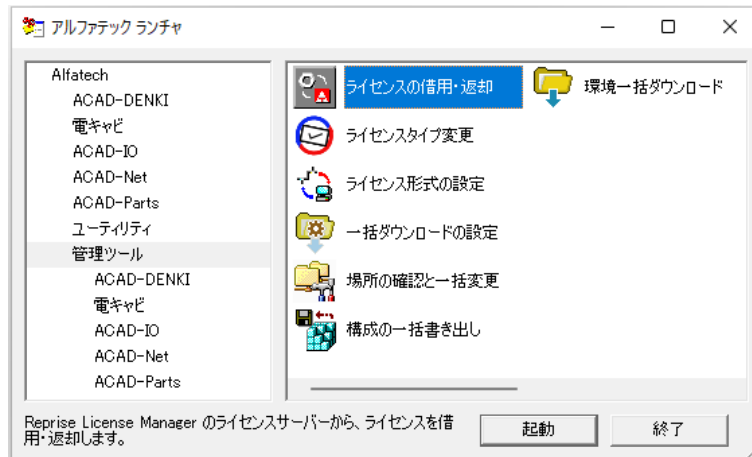
借用期限を超えた場合は、任意に返却処理を行う必要はありません。

2. ライセンスの借用期限の確認と返却

借用したライセンスを期限前に返却することが可能です。

返却は PC をライセンスサーバーに接続できる状態で行ってください。

1. スタートアイコンから [A] の [Alfatech]-[アルファテックランチャー] を選択します。
2. アルファテックランチャーの左ペインで「管理ツール」を選択し、右ペインで「ライセンスの借用・返却」を選択し、[起動] ボタンをクリックします。



3. FlexNet Publisher ライセンスの借用・返却ダイアログが表示されます。

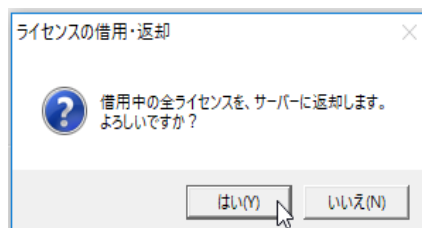
ライセンス借用中の時、「返却」が選択状態となっています。

返却内容を確認し、[OK] をクリックします。

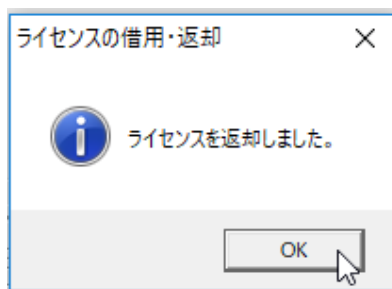


確認のみの場合 [キャンセル] をクリックし終了します。

4. メッセージが表示されます。[はい] をクリックします。



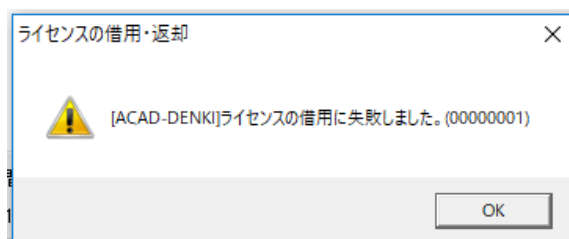
5. メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



6. ライセンスの借用・返却ダイアログは [キャンセル] をクリックして終了します。

3. エラーメッセージ

ライセンスを借用・返却時にライセンスサーバーが認識されていない場合、下記のようなメッセージが表示されます。



その場合は、ライセンスサーバーへの接続状態をご確認ください。

(補足)

冗長構成をご使用の場合、プライマリに何らかの異常が発生しフェイルオーバーからライセンスを取得している間は、借用・貸出機能は使用できません。

プライマリが稼働停止した場合でも、プライマリ復旧後にはライセンスの借用・貸出情報は維持されています。

7.Reprise オプション構文

Reprise オプション構文をファイルに設定することにより、特定マシンにのみライセンスを許可するなどの制御を行うことができます。ここではよく使用されるものを抜粋しています。

オプションファイルは、Reprise ライセンス管理サーバー上に作成します。

1. オプションファイルの作成

任意のエディタを使って、オプションファイルを UTF 8 形式で作成してください。

作成するファイル名と配置場所は以下のとおりです。

ファイル名 :alfaflex.opt

配置場所 : ライセンスファイル (.lic) と同じフォルダ (例 : C:\Program Files\Alfatech\AlfatechRLM)

※オプションファイルを有効にするには、本サービスの再起動が必要です。

オプションファイルは UTF 8 形式のテキストファイルで、以下のような書式となります。

各項目はスペースにて区切ります。

※ オプションファイルの 1 行目には、必ず、コメント行を入れてください。

半角のシャープ記号 (#) から始めた行がコメント扱いとなります。

また、オプションファイル内ではすべて、大文字と小文字が区別されますので、ご注意ください。

2. オプションファイルのキーワード

“キーワード”は、その行が何を表すかを指定します。

現在、本製品で使用できるキーワードは以下のとおりです。

INCLUDE	指定した対象にのみ、使用を許可する。
INCLUDE_BORROW	指定した対象にのみ、貸し出しを許可する。
EXCLUDE	指定した対象に対し、使用を禁止する。
EXCLUDE_BORROW	指定した対象に対し、貸し出しを禁止する。
MAX	ユーザーグループを定義する。
RESERVE	指定した対象に対し、ライセンスを予約する。
GROUP	ユーザーグループを定義する。
HOST_GROUP	マシングループを定義する。

(書式)

キーワード 対象機能 対象の種類 対象の名前

記述例 : 特定のマシンにのみ、使用を許可する場合

```
INCLUDE ACADDENKI HOST PC1
```

```
INCLUDE ACADDENKI HOST PC2
```

(解説)

PC1 と PC2 以外のマシンからはライセンスの取得はできません。

(書式)

記述例 : 特定のマシンのみ、貸し出しを禁止する場合

```
EXCLUDE_BORROW ACADDENKI HOST PC3
```

```
EXCLUDE_BORROW ACADDENKI HOST PC4
```

(解説)

PC3 と PC4 からは、ライセンスの借用はできません。

(記述例) : 対象のマシンまたはユーザーが多い場合、グループを定義し、グループ名で指定

```
HOST_GROUP GROUP_A PC1 PC2 PC3 PC4
```

```
INCLUDE HOST_GROUP ACADDENKI GROUP_A
```

(解説)

GROUP_A に含む PC を指定し、グループに含まれないマシンからのライセンス取得はできません。

3. 製品ライセンスコード (フィーチャー名)

各製品のライセンスコード (フィーチャー名) 一覧です。

製品名	ライセンスコード (フィーチャー名)
ACAD-DENKI	ACADDENKI
電キャビ	ACADDENCABI
ACAD-Parts	ACADParts
ACAD-IO	ACADIO
チューブマーカリンク	ACADHMLINK
図面 DENKI 化ツール	ITTOOL
電子回路オプション	ACADELOP
盤配線支援 布線処理	ACADWP
(盤配線支援 作図コマンド)	ACADWPCMD
Wiring PLAN2D 測長処理	ACADWM
CSV データ変換モジュール 2D	ACADWC
電線加工 CTK	ACADWCT
KODERA 電線加工プログラム	ACADWKO
電線加工 LION	ACADWLI
朱書奉行 (フォルダ間比較)	ACADCMPF
朱書奉行 (図面間比較)	ACADCMP
手直し奉行	ACADTB
検索奉行	ACADKB
ハード回路シミュレーター	ACADHRDSIM
ACAD-KIKAI	ACADKIKAI

4. 識別

“対象の種類” は、識別する名前の種類をキーワードで定義します。以下のような種類があります。

USER	プログラムを実行しているユーザー名 (Windows のログイン名)
HOST	アプリケーションを実行しているクライアントのマシン名
GROUP	オプション行の中で定義したユーザーグループ名
HOST_GROUP	オプション行の中で定義したマシングループ名

※ “GROUP”, “HOST_GROUP” は、対象が多いときに、グループ化するために使用します。

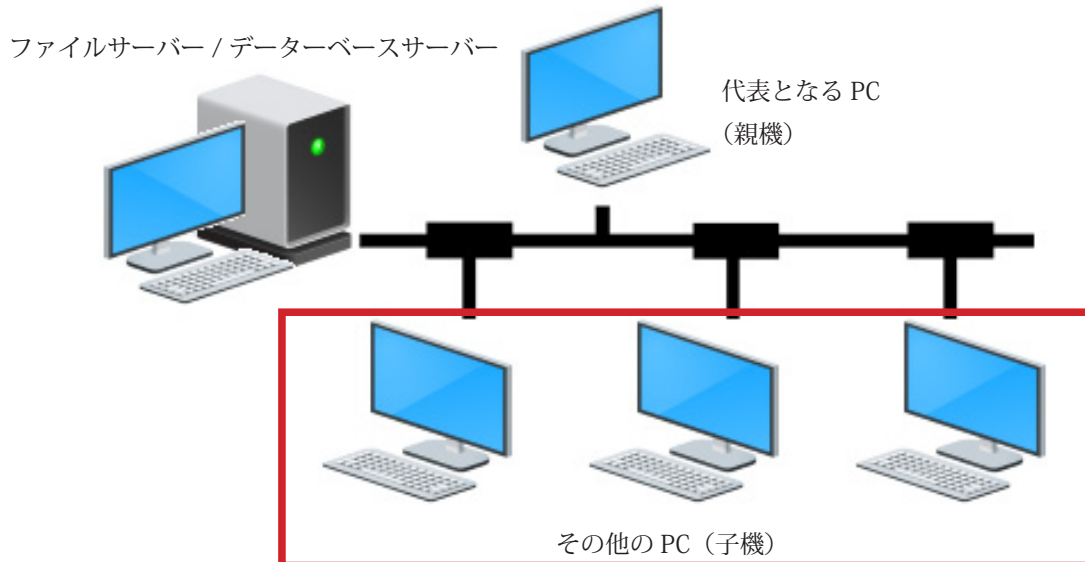
4. ネットワークでの一元管理

本章では、ACAD-DENKI などの一元管理について説明します。

1.一元管理の概要

図研アルファテックの製品はネットワーク上の共有フォルダに各種ファイルを補完することにより、データを一元管理することができます。

イメージ



代表となる PC で、製品のインストール、ライセンス形式の設定、ACAD-DENKI 等製品環境パスの設定を行い、専用のインストーラーを作成することが可能です。

専用インストーラーを実行することで代表となる端末で設定した内容をそのまま引き継いだインストールが可能となります。

1. 共有フォルダの作成

ここではファイルサーバーのコンピュータ名が「Server」、その共有フォルダを「Share」とし、各端末は「¥¥Server¥Share」を Z: ドライブに割付を行い運用するものとして説明します。

図研アルファテック製品では以下を共有することができます。

設定環境の作成先：製品環境（図枠、環境設定等）の保管先

シンボル庫：電気図、盤図シンボルなど、図面に使用するシンボル.dwg の保管先

スクリプトテンプレートの作成先：連続印刷で使用するテンプレートの保管先

図面庫：図面の保管先

共有フォルダを仮想ドライブ "Z:¥" とし、以下に専用のフォルダを作成し設定した例です。

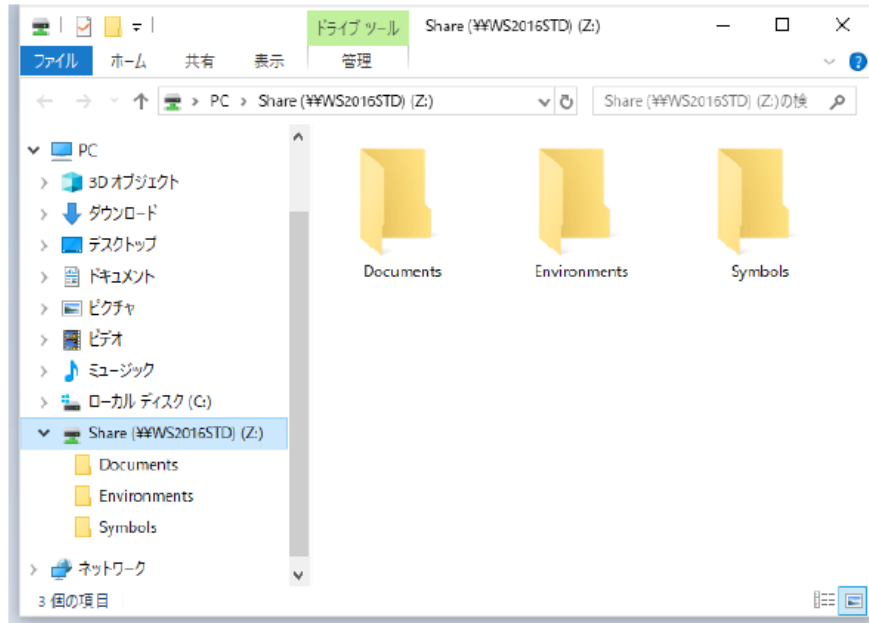
設定環境の作成先 Z:¥Environments

シンボル庫 Z:¥Symbols

スクリプトテンプレート の作成先 Z:¥Documents

図面庫 Z:¥Drawings

設定フォルダは親子関係にならない、異なるフォルダを設定する必要があります。また、同じフォルダを指定することはできません。

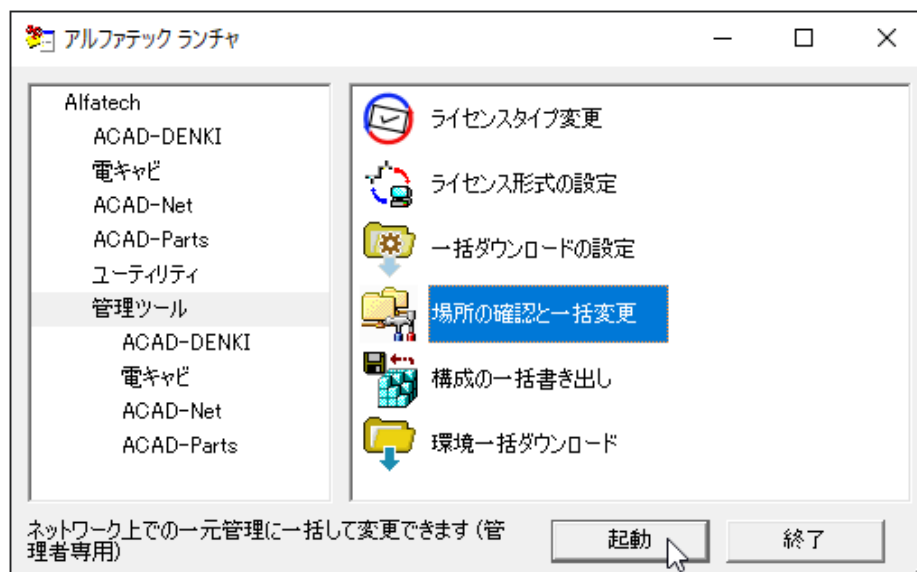


2. 共有先の設定

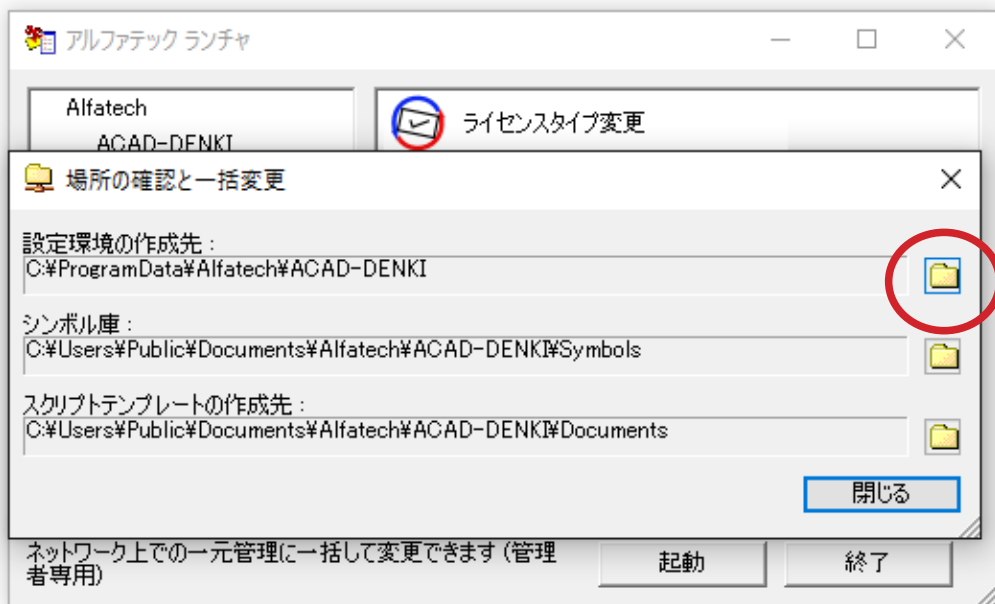
本設定はクライアントインストーラーで ACAD-DENKI 等の製品をインストールされた代表となる端末で行ってください。

ネットワーク版をご使用の場合はライセンス形式の設定まで完了させたあと本設定を行ってください。

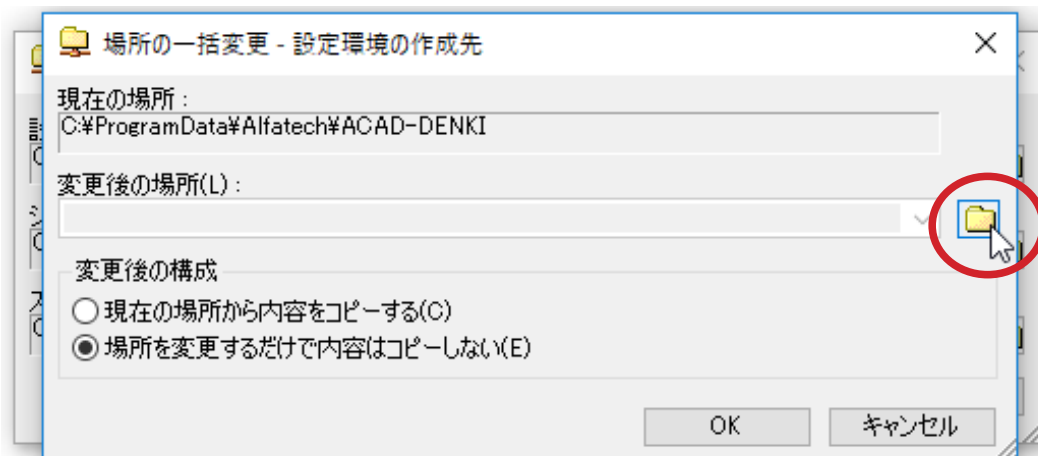
1. スタートアイコンから「A」の「Alfatech」からアルファテックランチャーを起動します。
2. 左ペインで「管理ツール」を選択し、右ペインで「場所の確認と一括変更」を選択し、[起動] をクリックします。



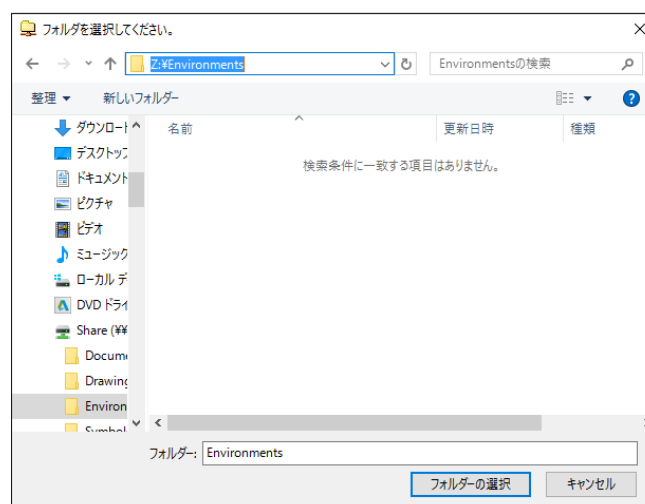
3. 場所の確認と一括変更ダイアログが表示されます。前章で作成した割付ドライブを設定します。「場所の確認と一括変更」の右側のフォルダアイコンをクリックします。



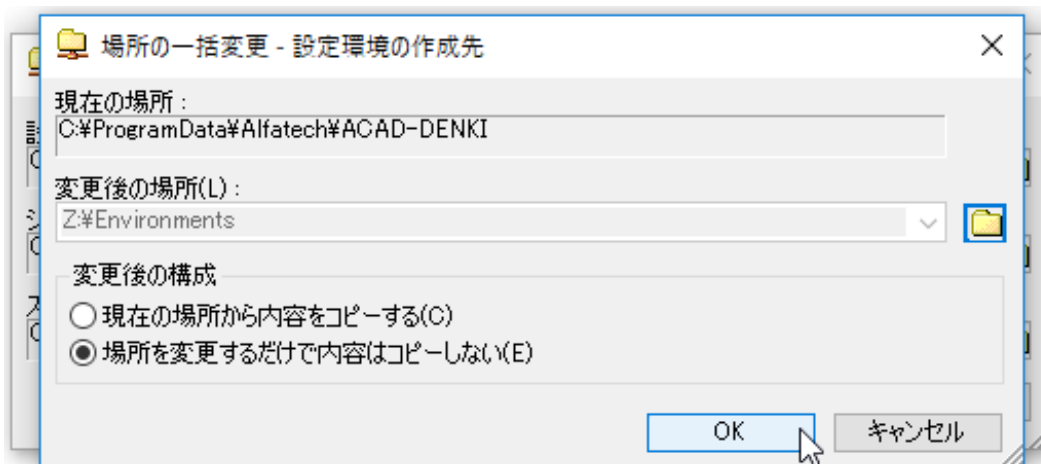
4. 場所の一括変更 - 設定環境の作成先が表示されます。「変更後の場所」の右側にあるフォルダアイコンをクリックします。



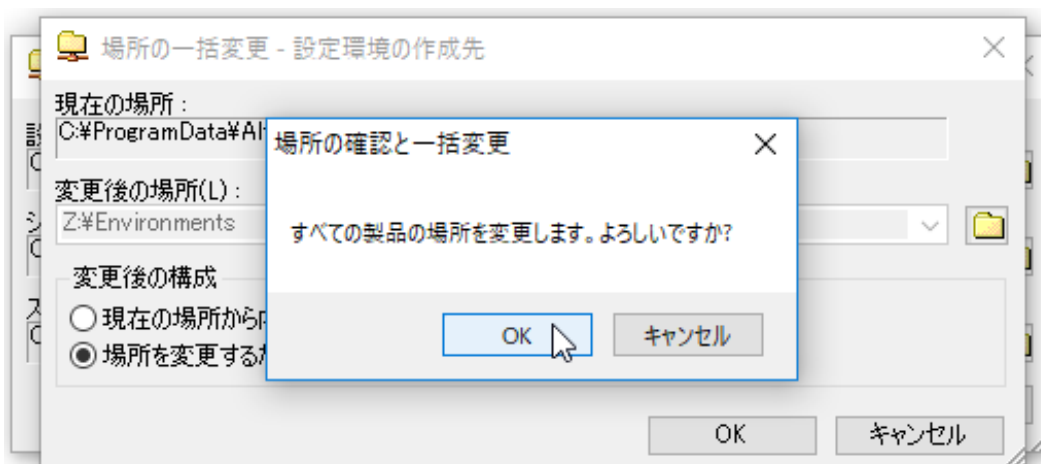
5. Z:\Environments を選択し、[フォルダの選択] をクリックします。



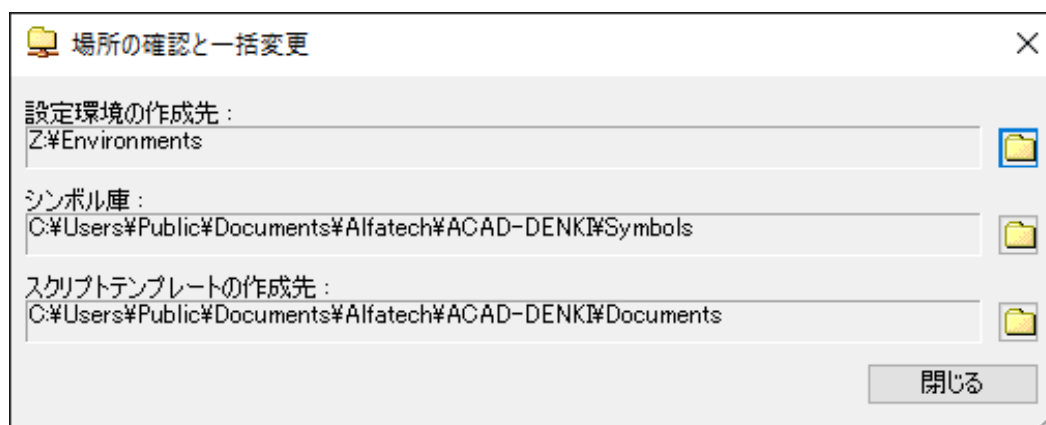
6. 変更後の場所のパスが変わります。[OK] をクリックします。



7. 確認のメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



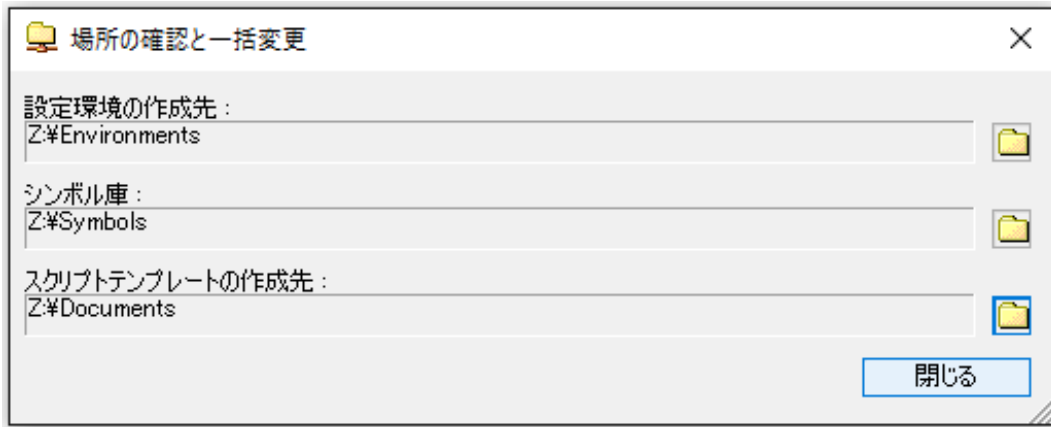
8. 場所の確認と一括変更の「設定環境の作成先」パスが変わります。



9. 同様の手順でシンボル庫を「Z:\Symbols」に変更します。

10. 同様の手順でスクリプトテンプレートの作成先を「Z:\Documents」に変更します。

11.[閉じる] をクリックします。



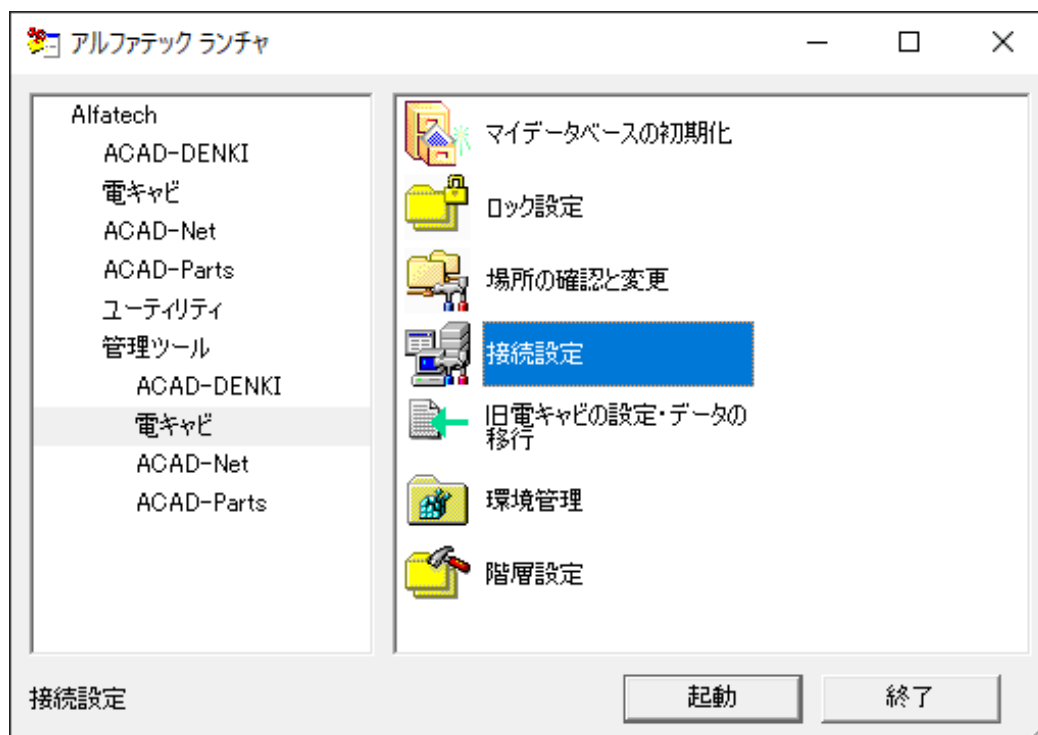
同様の手順で、シンボル庫、スクリプトテンプレートの作成先パスを設定した例です。

2.電キャビ ,ACAD-Parts 接続設定

電キャビまたは ACAD-Parts の接続設定について説明します。本設定は共有環境にある代表端末で行ってください。

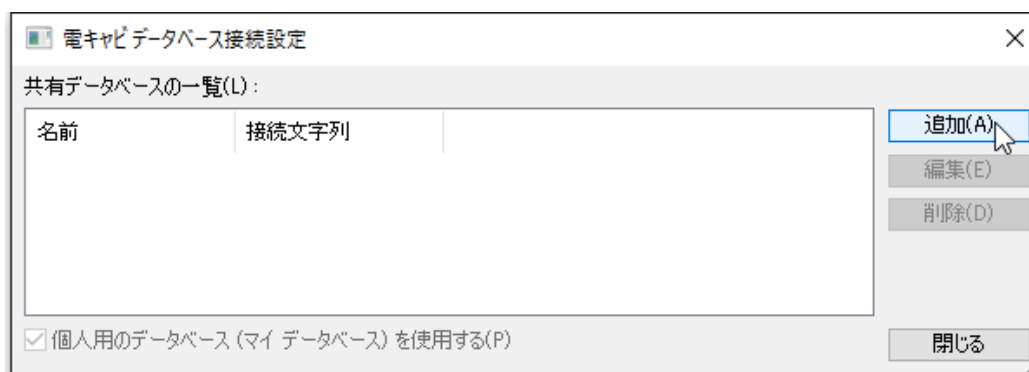
1. 電キャビの接続設定

1. スタートアイコンから「A」の「Alfatech」からアルファテックランチャーを起動します。
2. 左ペインで「管理ツール」 - 「電キャビ」を選択し、右ペインで「接続設定」を選択し、[起動] をクリックします。

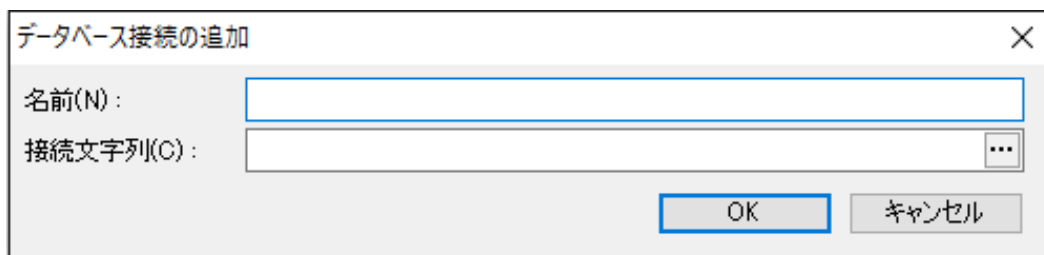


3. 電キャビデータベース接続設定ダイアログが表示されます。

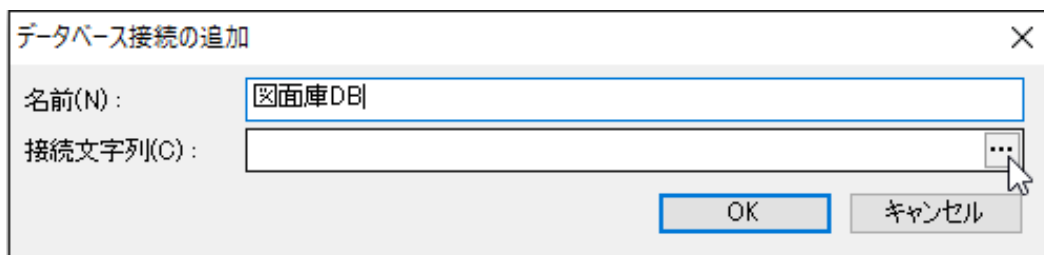
[追加] をクリックします。



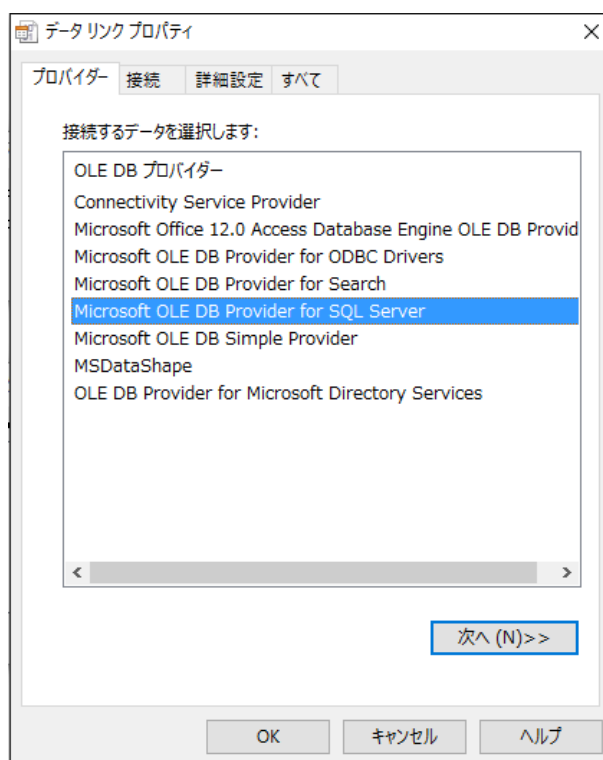
4. 名前欄にデータベースの名前を入力します。本例では「図面庫 DB」としています。



接続文字列 欄の右側にある [...] 参照 ボタンをクリックします。

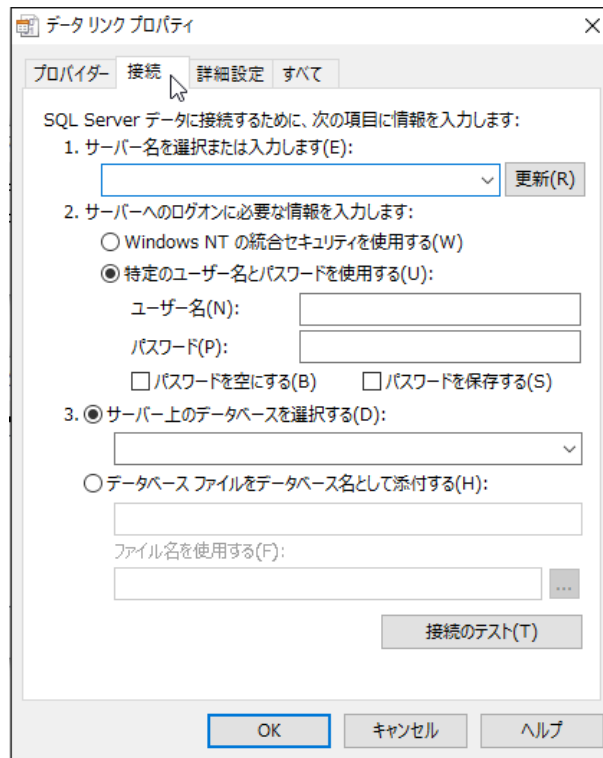


5. データリンクプロパティが表示します。プロバイダタブの OLE DB プロバイダ リストから「Microsoft OLE DB Provider for SQL Server」を選択します。

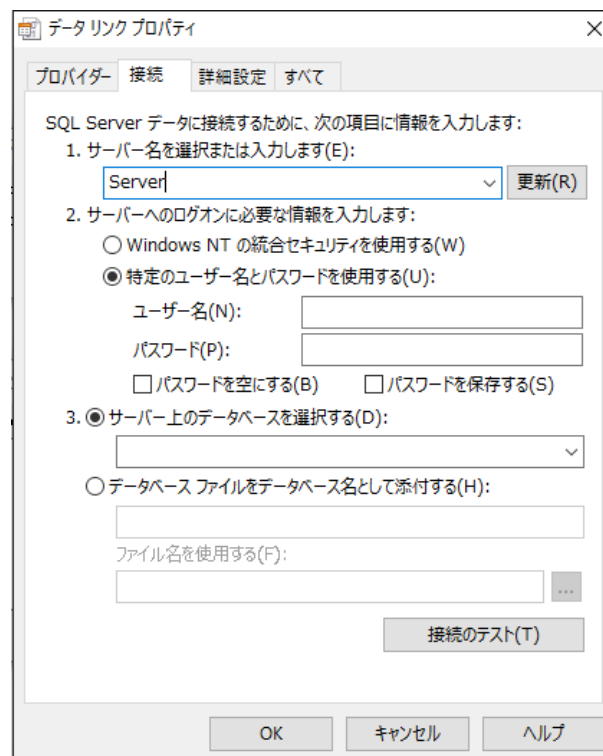


6. 接続 タブをクリックします。

「1. サーバー名を選択または入力します」欄で SQLServer のサーバー名を入力 または選択します。



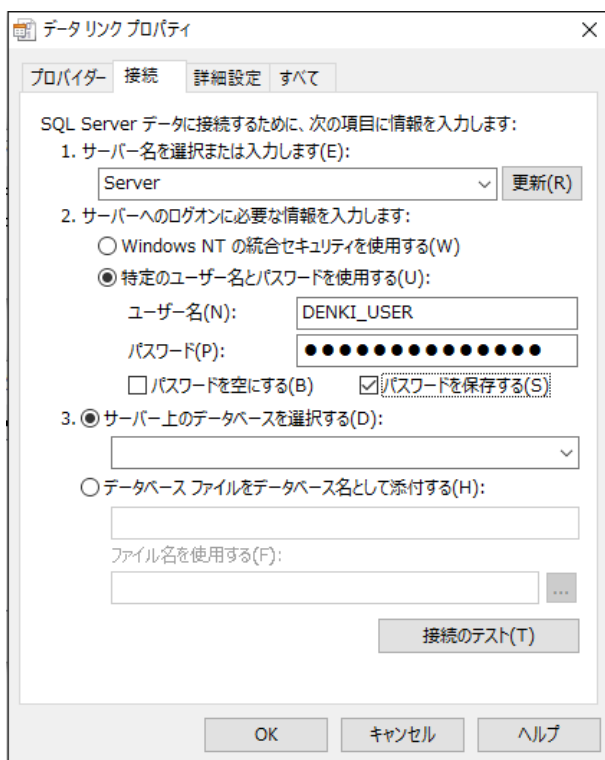
7. 「2. サーバーへのログオンに必要な情報を入力します」の「○特定のユーザー名とパスワードを使用する」を選択します。



8. 「ユーザー名」、「パスワード」欄には、図研アルファテック製品用データベースの作成時に登録した専用ユーザおよびそのパスワードを入力します。

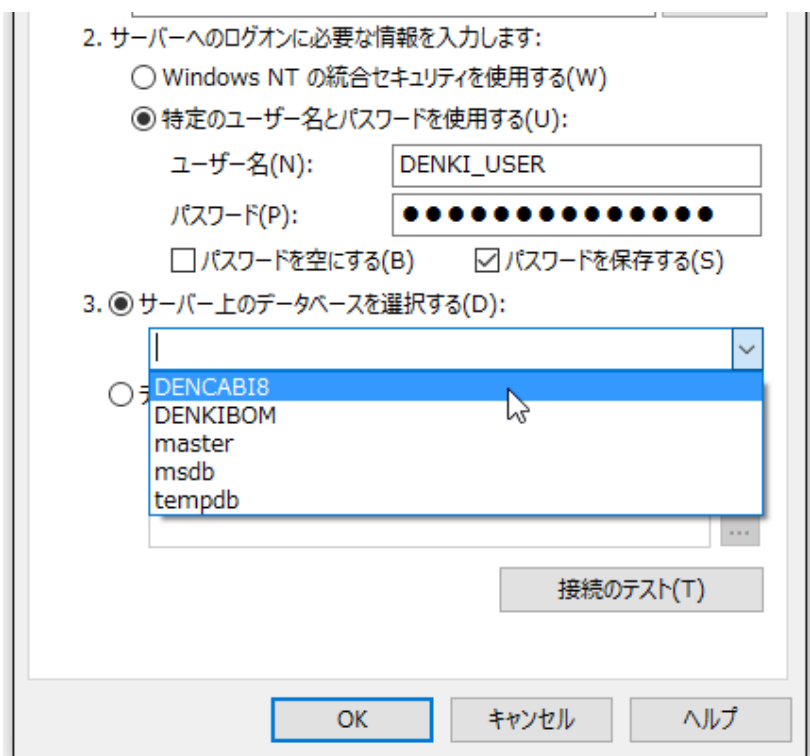
ユーザ名 : DENKI_USER

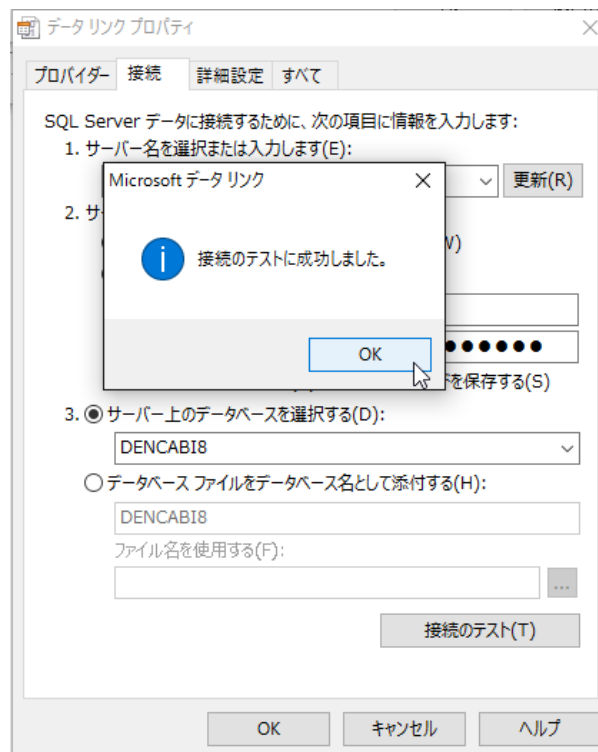
パスワード : DENKIDBPassV10



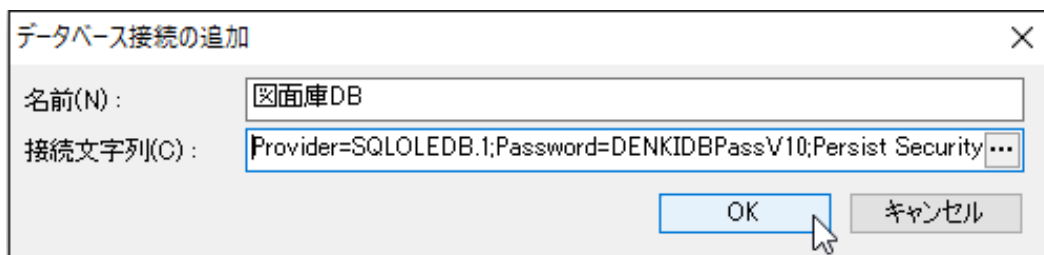
9. 「パスワードを空にする」はチェックなし、「パスワードを保存する」はチェックを入れます。

10. 「3. サーバー上のデータベースを選択する」を選択し、「DENCAB18」を選択または入力します。

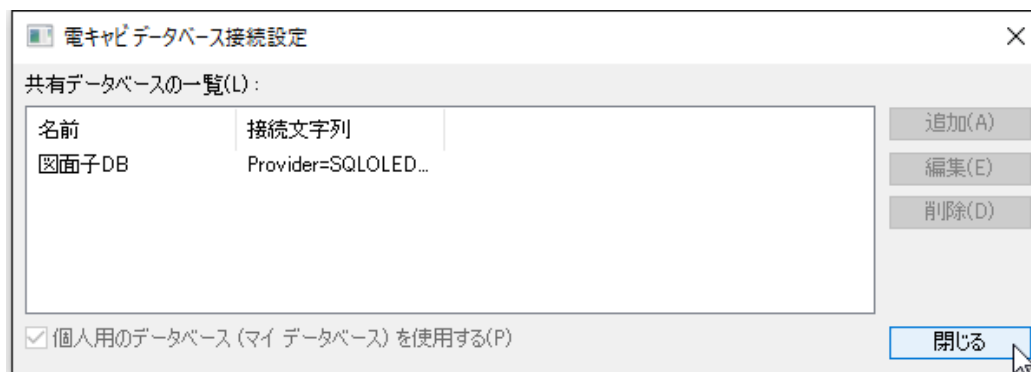


11. [接続のテスト] をクリックします。**12.** メッセージが表示されます。 [OK] をクリックします。

13. データベース接続の追加に戻ります。[OK] をクリックします。

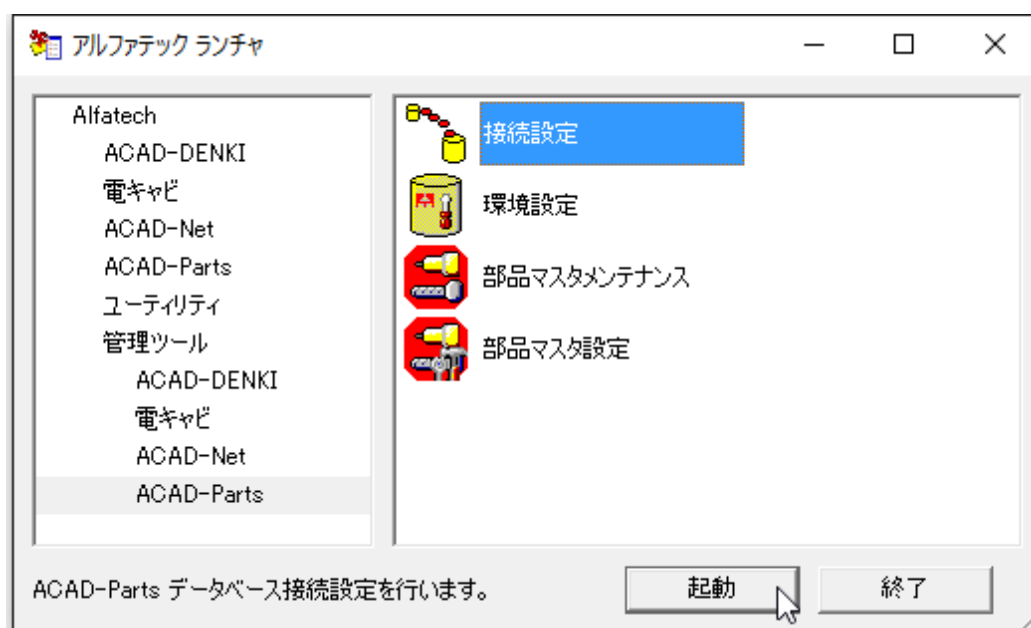


14. [閉じる] をクリックします。電キャビデータベース接続設定が終了します。

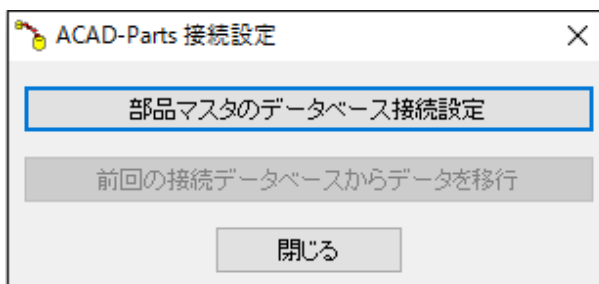


2. ACAD-Parts（部品マスタデータベース）の接続設定

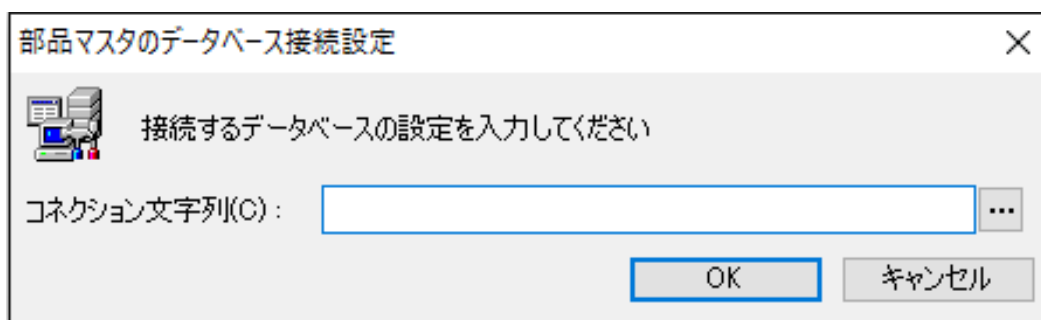
1. スタートアイコンから「A」の「Alfatech」からアルファテックランチャーを起動します。
2. 左ペインで「管理ツール」 - 「ACAD-Parts」を選択し、右ペインで「接続設定」を選択し、[起動] をクリックします。



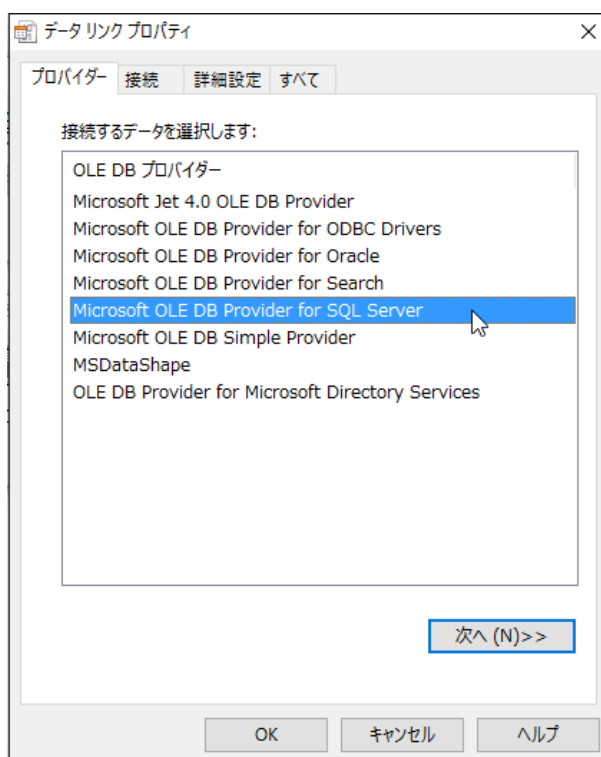
3. [部品マスタのデータベース接続設定] をクリックします。



4. コネクション文字列 欄の右側にある [...] 参照 ボタン をクリックします。

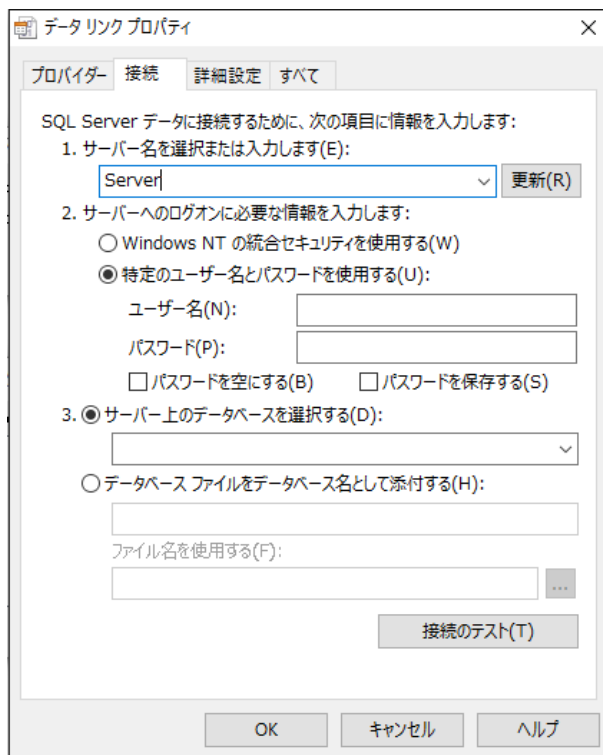


5. プロバイダ タブの OLE DB プロバイダ リストから「 Microsoft OLE DB Provider for SQL Server 」を 選択します。



6. [接続] タブを選択します。

「1. サーバー名を選択または入力します」欄に SQL Server SQL Server のサーバー名を入力、または選択します。

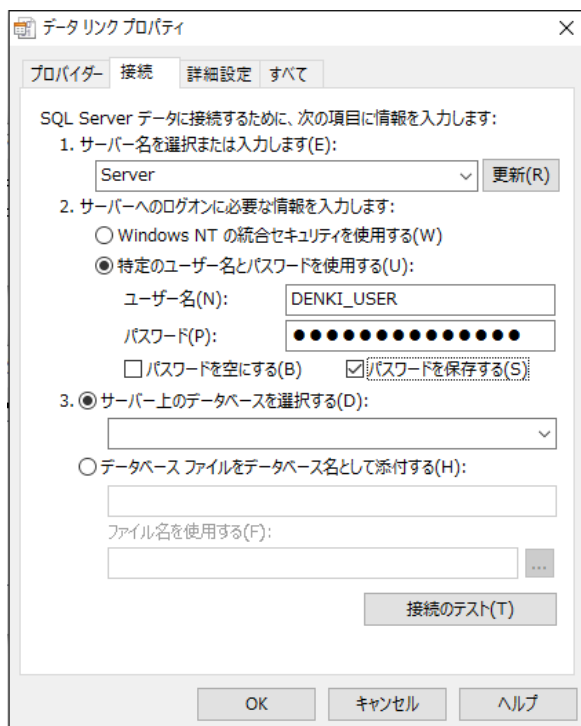


7. 「2. サーバーへのログオンに必要な情報を入力します」で「○特定のユーザー名とパスワードを使用する」を選択します。」

8. 「ユーザー名」、「パスワード」欄に、アルファテック製品用データベースの作成時に登録した専用ユーザーおよびそのパスワードを入力します。

ユーザー名 : ユーザー名 : DENKI_USER

パスワード : パスワード : DENKIDBPassV10



9. 「パスワードを空にする」はチェックなし、「パスワードを保存する」はチェックを入れます。

10. 「3. サーバー上のデータベースを選択する」で「DENKIBOM」を選択または入力します。

2. サーバーへのログインに必要な情報を入力します:

Windows NT の統合セキュリティを使用する(W)

特定のユーザー名とパスワードを使用する(U):

ユーザー名(N): DENKI_USER

パスワード(P): ●●●●●●●●●●●●●●

パスワードを空にする(B) パスワードを保存する(S)

3. サーバー上のデータベースを選択する(D):

DENCAB18

DENKIBOM

master

msdb

tempdb

接続のテスト(T)

OK キャンセル ヘルプ

11. [接続のテスト] をクリックします。

データリンク プロパティ

プロバイダー 接続 詳細設定 すべて

SQL Server データに接続するために、次の項目に情報を入力します:

1. サーバー名を選択または入力します(E):

Server 更新(R)

2. サーバーへのログインに必要な情報を入力します:

Windows NT の統合セキュリティを使用する(W)

特定のユーザー名とパスワードを使用する(U):

ユーザー名(N): DENKI_USER

パスワード(P): ●●●●●●●●●●●●●●

パスワードを空にする(B) パスワードを保存する(S)

3. サーバー上のデータベースを選択する(D):

DENKIBOM

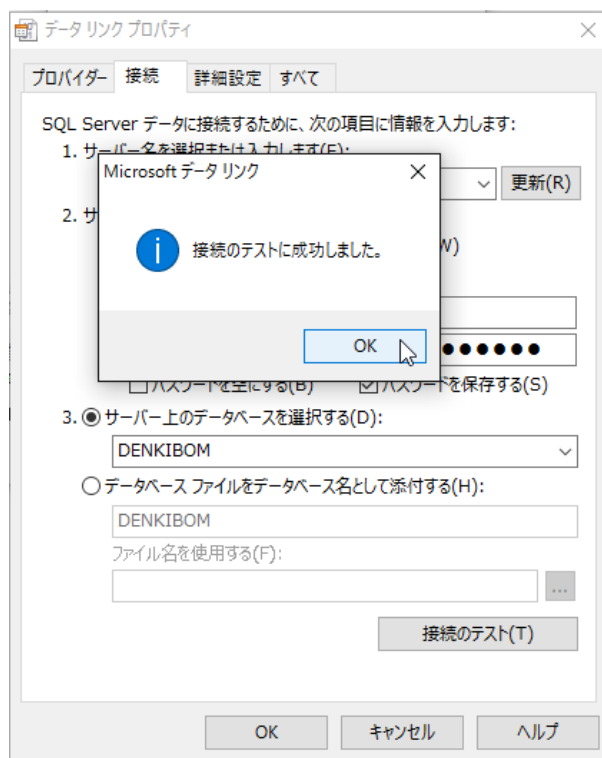
データベース ファイルをデータベース名として添付する(H):

ファイル名を使用する(F):

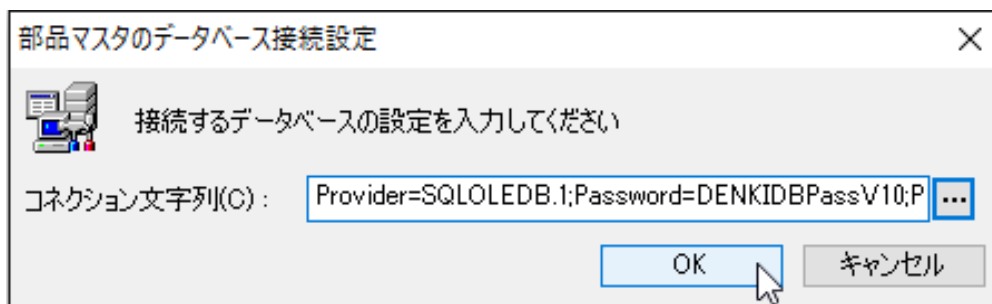
接続のテスト(T)

OK キャンセル ヘルプ

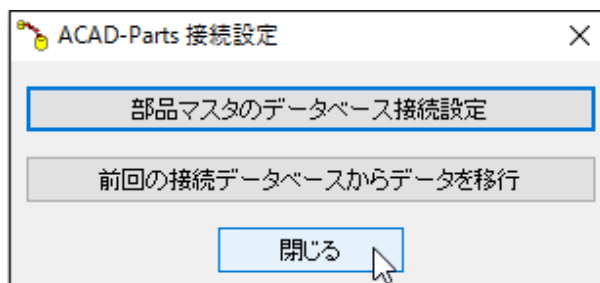
12. メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



13. [部品マスタのデータベース接続設定] 画面に戻ります。[OK] をクリックします。



14. [ACAD-Parts 接続設定] 画面に戻ります。[閉じる] をクリックします。接続設定が終了します。



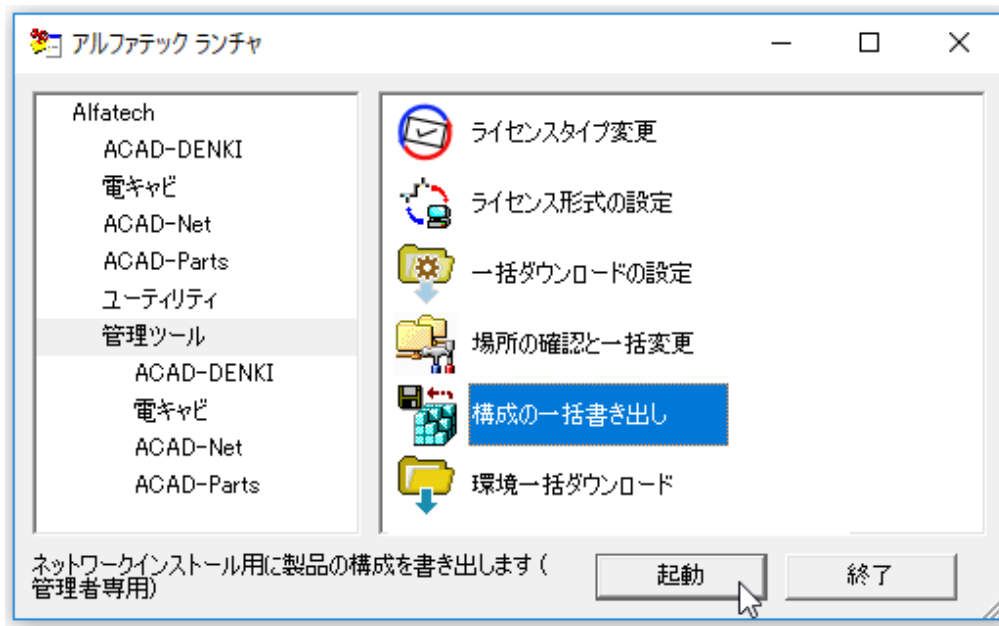
今まで使用していた部品マスタデータベースのデータを、[前回の接続データベースからデータを移行] ボタンをクリックしてください。移行処理が開始されます。

3.構成の一括書き出し

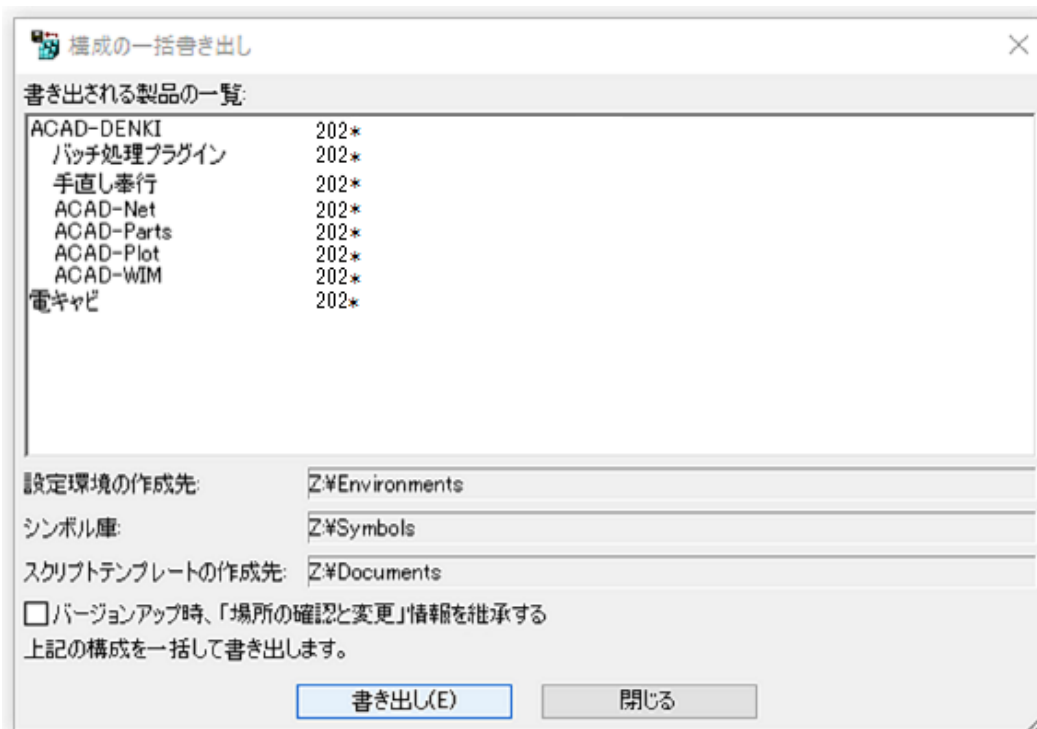
ライセンス形式の設定、環境設定の共有等の情報を設定された専用インストーラーを作成します。
差分パッチがリリースされている場合は最新の差分パッチをインストール後に行ってください。
構成の一括書き出しは、インストール構成（差分パッチ含む）、ライセンス形式の設定、接続設定、場所の確認と一括変更の情報 等 を書き出します。
複数の PC にインストールする時合、同じ設定を行うことを省略することが可能です。

1. 構成の一括書き出しの実行

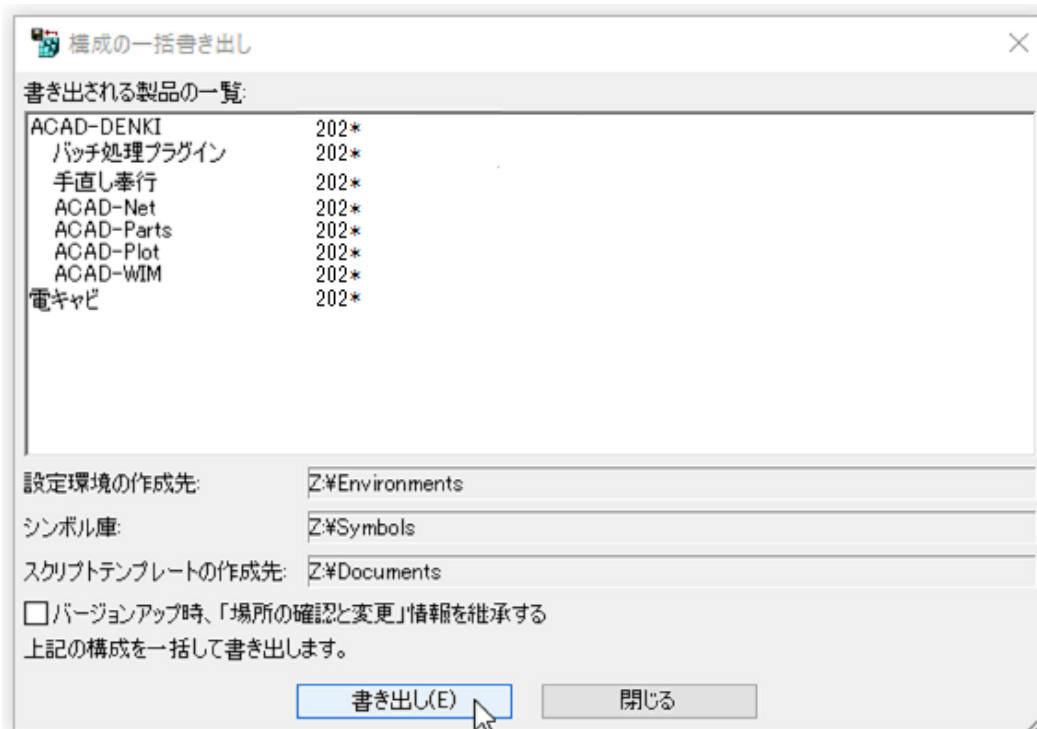
1. スタートアイコンから「A」の「Alfatech」からアルファテックランチャーを起動します。
2. 左ペインで「管理ツール」を選択し、右ペインで「構成の一括書き出し」を選択し、[起動] をクリックします。



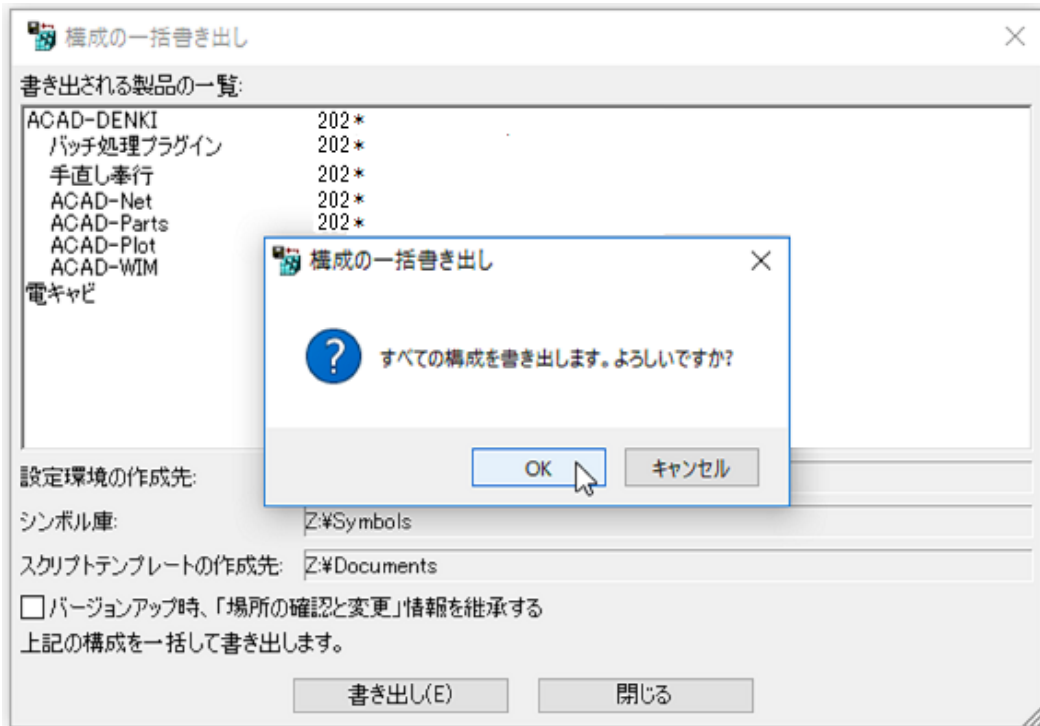
3. 構成の一括書き出しダイアログが表示されます。



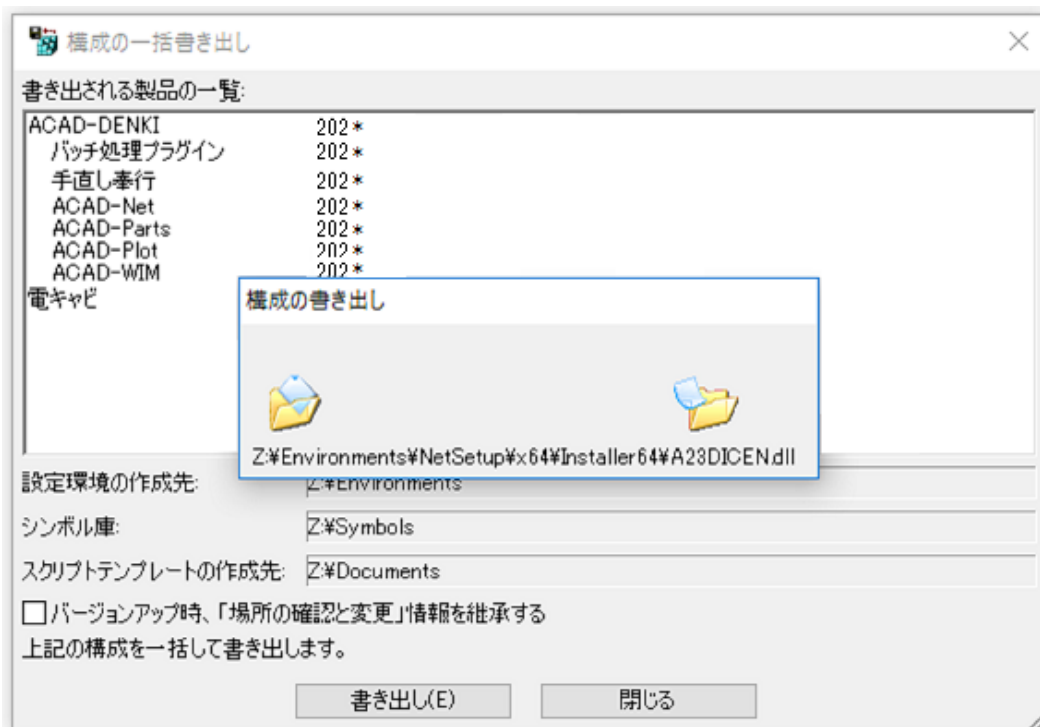
[書き出し] をクリックします。



4. 確認のメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



書き出し処理が始まります。



5. 書き出しのメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。

その他のクライアント PC には書き出した NetSetup_DENKI.exe を実行してインストールしてください。

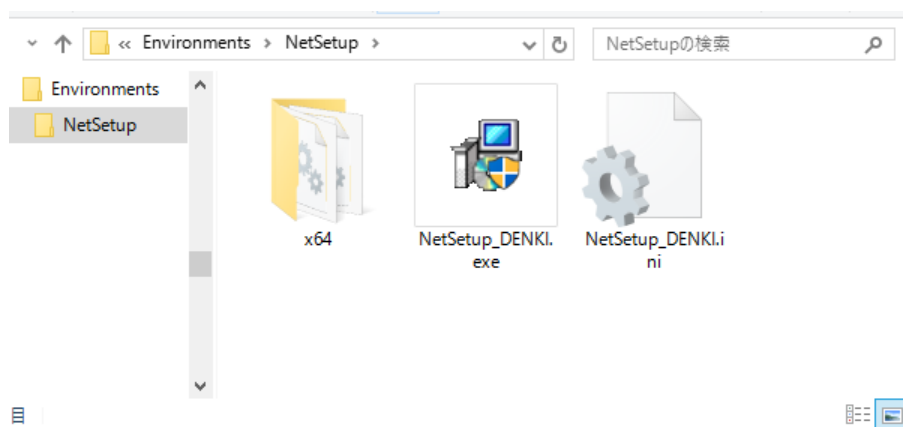


構成の一括書き出しを行った時点で製品にインストールされている差分パッチも書き出されます。

2. NetSetup_DENKI インストール構成の確認

構成の書き出しを行うと、設定環境の作成先に指定したパス以下に「NetSetup」フォルダが作成されます。

書き出し処理を行った後のフォルダ構成



他 PC にインストールする場合は「NetSetup_DENKI.exe」を実行します。

他 PC で NetSetup_DENKI.exe を実行する前に、共有ドライブが作成されているかを確認してください。共有ドライブ（本例では Z:¥）が作成されていない場合は、先に作成してください。

インストール構成は「NetSetup_DENKI.exe」と同じフォルダにある「NetSetup_DENKI.ini」に書き込まれます。

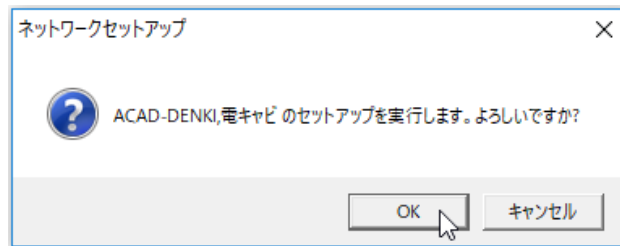
インストールされる差分パッチの情報を確認したい場合は、NetSetup_DENKI.ini の製品セクション [ServicePack] をご確認ください。

3. NetSetup_DENKI.exe の実行

インストール対象 PC に Administrator、または管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。使用中のアプリケーション、プログラムをすべて終了させてください。また、ウイルス チェック プログラムなどの常駐プログラムが稼働している場合は、終了していただくことを推奨いたします。

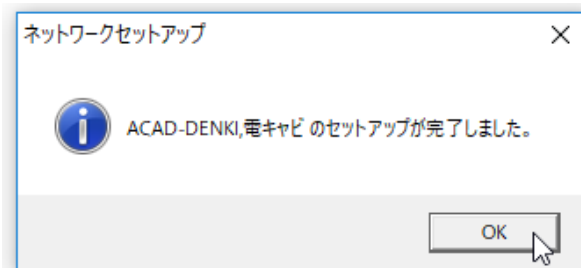
他 PC にインストールする場合は「NetSetup_DENKI.exe」を実行します。

実行した場合は、メッセージが表示されます。メッセージにはインストールする製品が表示されます。[OK] をクリックしてください。



インストールが実行されます。

インストール完了後、セットアップ完了のメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



<<このページは白紙です。>>

図研アルファテック製品 2025 インストールガイド

2024年12月 第1版 発行

発行者

図研アルファテック株式会社

<https://www.alfatech.jp/>
